

2023 年長崎県感染症発生動向調査年報

2024 年 9 月

長崎県感染症情報センター
(長崎県環境保健研究センター)

目 次

I 感染症発生動向調査事業の概要	1
1 感染症発生動向調査事業	2
2 対象感染症	2
(1) 全数把握の対象感染症	2
(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）	4
3 定点医療機関数（2023 年）	5
4 感染症情報の提供	5
5 報告週対応表（2023 年）	6
6 感染症発生動向調査事業に係る関連法規の主な改正	6
II 感染症発生動向調査結果	7
1 全数把握の対象感染症	8
(1) 一類感染症	8
(2) 二類感染症	8
(3) 三類感染症	11
(4) 四類感染症	13
(5) 五類感染症	21
感染症週報（全数把握の対象感染症）推移表 長崎県（2023 年）	32

2 定点把握の対象感染症	35
(1) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	35
(2) 新型コロナウイルス感染症	36
(3) RS ウイルス感染症	37
(4) 咽頭結膜熱	38
(5) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39
(6) 感染性胃腸炎	40
(7) 水痘	41
(8) 手足口病	42
(9) 伝染性紅斑	43
(10) 突発性発しん	44
(11) ヘルパンギーナ	45
(12) 流行性耳下腺炎	46
(13) 急性出血性結膜炎	47
(14) 流行性角結膜炎	48
(15) 細菌性髄膜炎	49
(16) 無菌性髄膜炎	50
(17) マイコプラズマ肺炎	51
(18) クラミジア肺炎（オウム病は除く）	52
(19) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）	53

3	STD 定点報告の対象感染症	54
	(1) 性器クラミジア感染症	54
	(2) 性器ヘルペスウイルス感染症	55
	(3) 尖圭コンジローマ	56
	(4) 淋菌感染症	57
4	基幹定点報告の対象感染症	58
	(1) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	58
	(2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	59
	(3) 薬剤耐性緑膿菌感染症	60
	感染症速報（定点把握の感染症）推移表 患者報告数 長崎県（2023 年）	61
	感染症速報（定点把握の感染症）推移表 定点当たり患者報告数 長崎県（2023 年）	63
	感染症月報推移表 患者報告数 長崎県（2023 年）	65
	感染症月報推移表 定点当たり患者数 長崎県（2023 年）	65

I 感染症発生動向調査事業の概要

Ⅰ 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業は、平成 11 年 4 月 1 日から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の第三章（第 12 条～16 条）に基づき、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」（平成 11 年 3 月 19 日健医発第 458 号）により国の施策として位置づけられた。

本県でも、県内の患者発生状況、病原体の検索等感染症に関する情報を迅速かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、医療機関における適切な初期診断に役立てるとともに、予防接種、集団生活の管理、衛生教育など適切な予防措置を講じ、感染症の発生及びまん延の未然防止、有効かつ的確な感染症対策に資することを目的として、「長崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」が定められている。

本調査では全数把握及び定点把握の感染症を対象とし、全数把握の対象感染症については、患者を診断した医師が最寄りの保健所に届出を行うよう義務づけられている。また、定点把握の対象感染症は、県内の感染症指定届出機関（定点医療機関）から毎週又は毎月、管轄保健所に患者数が報告されている。長崎県感染症情報センターでは、患者情報及び病原体情報について、週及び月単位で国への報告をおこない、国の集計を経て還元された情報を用いて収集・分析した結果を長崎県地域保健推進課、中核市保健所及び県立保健所、長崎県医師会などの関係機関に提供している。

なお、類型による医師からの届出・報告基準については下表のとおりである。

類 型	届出・報告	対 象
一類～四類感染症（全数）	直ちに	全医療機関
五類感染症（ 〃 ）	7 日以内 （侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん、麻しんは「直ちに」）	〃
指定感染症（ 〃 ）	直ちに	〃
五類感染症（定点）小児科	週単位	定点医療機関
〃 インフルエンザ	〃	〃
〃 眼科	〃	〃
〃 STD	月単位	〃
〃 基幹	週及び月単位	〃

2 対象感染症

（Ⅰ）全数把握の対象感染症

①一類感染症

（Ⅰ）エボラ出血熱、（Ⅱ）クリミア・コンゴ出血熱、（Ⅲ）痘そう、（Ⅳ）南米出血熱、（Ⅴ）ペスト、（Ⅵ）マールブルグ病、（Ⅶ）ラッサ熱

②二類感染症

(8) 急性灰白髄炎、(9) 結核、(10) ジフテリア、(11) 重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、(12) 中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、(13) 鳥インフルエンザ（H5N1）、(14) 鳥インフルエンザ（H7N9）

③三類感染症

(15) コレラ、(16) 細菌性赤痢、(17) 腸管出血性大腸菌感染症、(18) 腸チフス、(19) パラチフス

④四類感染症

(20) E型肝炎、(21) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、(22) A型肝炎、(23) エキノコックス症、(24) エムポックス、(25) 黄熱、(26) オウム病、(27) オムスク出血熱、(28) 回帰熱、(29) キャサヌル森林病、(30) Q熱、(31) 狂犬病、(32) コクシジオイデス症、(33) ジカウイルス感染症、(34) 重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る^{※1}。）、(35) 腎症候性出血熱、(36) 西部ウマ脳炎、(37) ダニ媒介脳炎、(38) 炭疽、(39) チクングニア熱、(40) つつが虫病、(41) デング熱、(42) 東部ウマ脳炎、(43) 鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。）、(44) ニパウイルス感染症、(45) 日本紅斑熱、(46) 日本脳炎、(47) ハンタウイルス肺症候群、(48) Bウイルス病、(49) 鼻疽、(50) ブルセラ症、(51) ベネズエラウマ脳炎、(52) ヘンドラウイルス感染症、(53) 発しんチフス、(54) ボツリヌス症、(55) マラリア、(56) 野兎病、(57) ライム病、(58) リッサウイルス感染症、(59) リフトバレー熱、(60) 類鼻疽、(61) レジオネラ症、(62) レプトスピラ症、(63) ロッキー山紅斑熱

⑤五類感染症（全数）

(64) アメーバ赤痢、(65) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、(66) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、(67) 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、(68) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、(69) クリプトスポリジウム症、(70) クロイツフェルト・ヤコブ病、(71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72) 後天性免疫不全症候群、(73) ジアルジア症、(74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症、(76) 侵襲性肺炎球菌感染症、(77) 水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、(78) 先天性風しん症候群、(79) 梅毒、(80) 播種性クリプトコックス症、(81) 破傷風、(82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84) 百日咳、(85) 風しん、(86) 麻しん、(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

⑥新型インフルエンザ等感染症

(113) 新型インフルエンザ、(114) 再興型インフルエンザ
(115) 新型コロナウイルス感染症、(116) 再興型コロナウイルス感染症

※1 現在は、フェヌイウイルス科バンダウイルス属に分類されている

(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）

①五類感染症（定点）

(88) R Sウイルス感染症、(89) 咽頭結膜熱、(90) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、(91) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92) 感染性胃腸炎、(93) 急性出血性結膜炎、(94) クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(95) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、(96) 新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）、(97) 水痘、(98) 性器クラミジア感染症、(99) 性器ヘルペスウイルス感染症、(100) 尖圭コンジローマ、(101) 手足口病、(102) 伝染性紅斑、(103) 突発性発しん、(104) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(105) ヘルパンギーナ、(106) マイコプラズマ肺炎、(107) 無菌性髄膜炎、(108) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(109) 薬剤耐性緑膿菌感染症、(110) 流行性角結膜炎、(111) 流行性耳下腺炎、(112) 淋菌感染症

②法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

(117) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

(3) 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。

3 定点医療機関数（2023 年）

患者定点

※（ ）内は報告単位を示す。

管轄保健所	インフルエンザ (週)	小児科 (週)	眼科 (週)	基幹 (週)	STD (月)	基幹 (月)	疑似症
長 崎 市	17	10	3	3	3	3	5
佐 世 保 市	11	6	1	1	2	1	5
西 彼	6	4	1	1	1	1	0
県 央	11	7	1	1	2	1	2
県 南	8	5	1	1	1	1	2
県 北	4	3	0	1	1	1	0
五 島	4	3	1	1	0	1	1
上 五 島	3	2	0	1	0	1	1
壱 岐	3	2	0	1	0	1	1
対 馬	3	2	0	1	0	1	1
合 計	70	44	8	12	10	12	18

病原体定点

管轄保健所	インフルエンザ 指定提出機関	小児科	眼科	基幹
長 崎 市	2	1	1	3
佐 世 保 市	3	1	0	1
西 彼	1	1	0	1
県 央	3	2	0	1
県 南	1	1	0	1
県 北	1	1	0	1
五 島	1	0	0	1
上 五 島	1	0	0	1
壱 岐	1	0	0	1
対 馬	1	0	0	1
合 計	15	7	1	12

4 感染症情報の提供

毎週、「長崎県感染症発生動向調査速報」を作成し、長崎県地域保健推進課、県立保健所、中核市保健所、長崎市保健環境試験所等に E メールで配信し、各保健所から関係機関へ情報提供をおこなっている。また、長崎県地域保健推進課を通じ、教育庁体育保健課等関係機関及び長崎県医師会に報告がなされている。さらに、一般県民及び医療機関の関係者に向けて感染症情報のホームページを開設し、感染症の予防及び拡大防止に寄与している。

5 報告週対応表（2023 年）

週	月	火	水	木	金	土	日
1月	1	2	3	4	5	6	7 8
	2	9	10	11	12	13	14 15
	3	16	17	18	19	20	21 22
	4	23	24	25	26	27	28 29
2月	5	30	31	1	2	3	4 5
	6	6	7	8	9	10	11 12
	7	13	14	15	16	17	18 19
	8	20	21	22	23	24	25 26
3月	9	27	28	1	2	3	4 5
	10	6	7	8	9	10	11 12
	11	13	14	15	16	17	18 19
	12	20	21	22	23	24	25 26
4月	13	27	28	29	30	31	1 2
	14	3	4	5	6	7	8 9
	15	10	11	12	13	14	15 16
	16	17	18	19	20	21	22 23
	17	24	25	26	27	28	29 30
5月	18	1	2	3	4	5	6 7
	19	8	9	10	11	12	13 14
	20	15	16	17	18	19	20 21
	21	22	23	24	25	26	27 28
6月	22	29	30	31	1	2	3 4
	23	5	6	7	8	9	10 11
	24	12	13	14	15	16	17 18
	25	19	20	21	22	23	24 25
	26	26	27	28	29	30	1 2

週	月	火	水	木	金	土	日
7月	27	3	4	5	6	7	8 9
	28	10	11	12	13	14	15 16
	29	17	18	19	20	21	22 23
	30	24	25	26	27	28	29 30
8月	31	31	1	2	3	4	5 6
	32	7	8	9	10	11	12 13
	33	14	15	16	17	18	19 20
	34	21	22	23	24	25	26 27
9月	35	28	29	30	31	1	2 3
	36	4	5	6	7	8	9 10
	37	11	12	13	14	15	16 17
	38	18	19	20	21	22	23 24
	39	25	26	27	28	29	30 1
10月	40	2	3	4	5	6	7 8
	41	9	10	11	12	13	14 15
	42	16	17	18	19	20	21 22
	43	23	24	25	26	27	28 29
11月	44	30	31	1	2	3	4 5
	45	6	7	8	9	10	11 12
	46	13	14	15	16	17	18 19
	47	20	21	22	23	24	25 26
12月	48	27	28	29	30	1	2 3
	49	4	5	6	7	8	9 10
	50	11	12	13	14	15	16 17
	51	18	19	20	21	22	23 24
	52	25	26	27	28	29	30 31

6 感染症発生動向調査事業に係る関連法規の主な改正

令和5年5月2日付け健感発0502第1号により、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）が5類感染症に位置づけられた。

令和5年5月26日付け健感発第0526第17号により、エムボックスおよびカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の名称変更に伴う届出様式の改正がなされた。

疾病名（項目）等	変更内容
新型コロナウイルス感染症	5類感染症に位置づけ、指定届出機関による届出対象疾病に追加
エムボックス、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	名称変更に伴う届出様式の変更

Ⅱ 感染症発生動向調査結果

I 全数把握の対象感染症

(1) 一類感染症

届出なし

(2) 二類感染症

① 結核

結核は、結核菌群による感染症で、主に飛沫核感染により気道を介して感染する。症状は咳、喀痰、微熱が典型的とされており、胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振等を伴うこともあるが、初期には無症状のことも多い。

2023 年は 153 件の届出があり、前年（196 件）に比べ 43 件少なかった（図 1）。届出を男女別にみると、男性が 83 件（54.2%）、女性が 70 件（45.8%）であった。

月の報告数は 8～18 件で推移した（図 2）。

類型別にみると、「患者」121 件（前年 137 件）、「無症状病原体保有者」32 件（前年 58 件）であった。

届出の年齢は 20 歳～102 歳で、60 歳代以上の届出数が多く、全体のおよそ 8 割を占めた（図 3）。類型別の年齢内訳は、「患者」では、80 歳以上が最も多く、57%を占めた（図 4）。また、患者のうち 20 歳代が約 1 割を占めているが、多くは留学生や技能実習生等の国外での感染が疑われる事例であった。

「患者」の職業をみると無職が 64%と最も多く、「無症状病原体保有者」の職業は、会社員・自営業等が 31%、医療・介護従事者が 28%を占めた（図 5）。

2023 年は集団感染の発生はなかったが、医療機関や介護施設における感染者と従事者や利用者の接触による感染事例が認められた。また、例年と同様に家族内での感染事例が散見された。

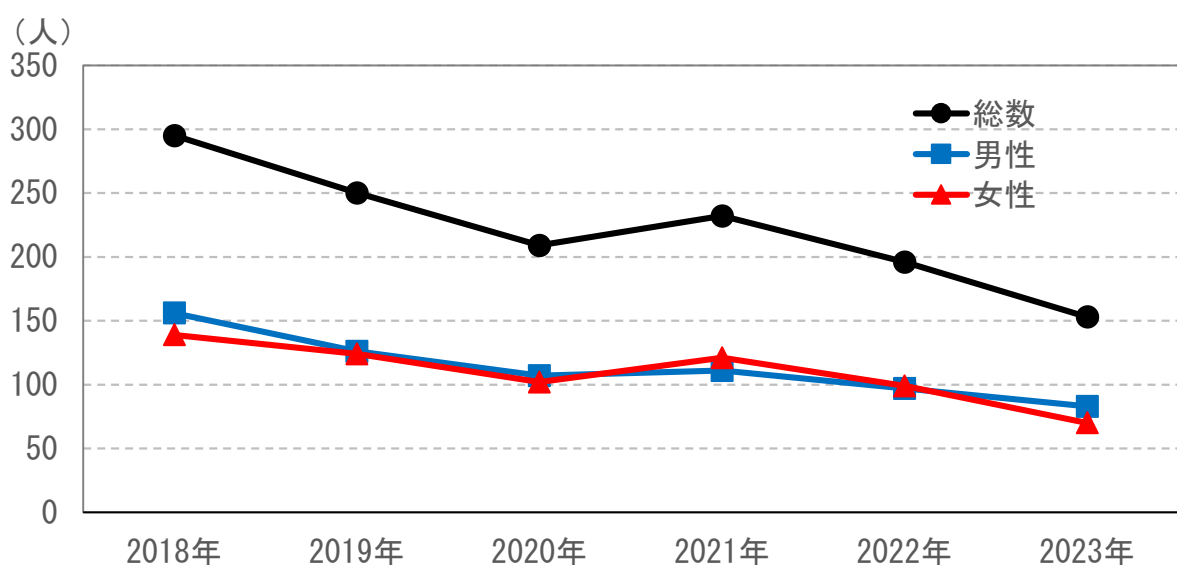


図 1 結核届出件数の推移

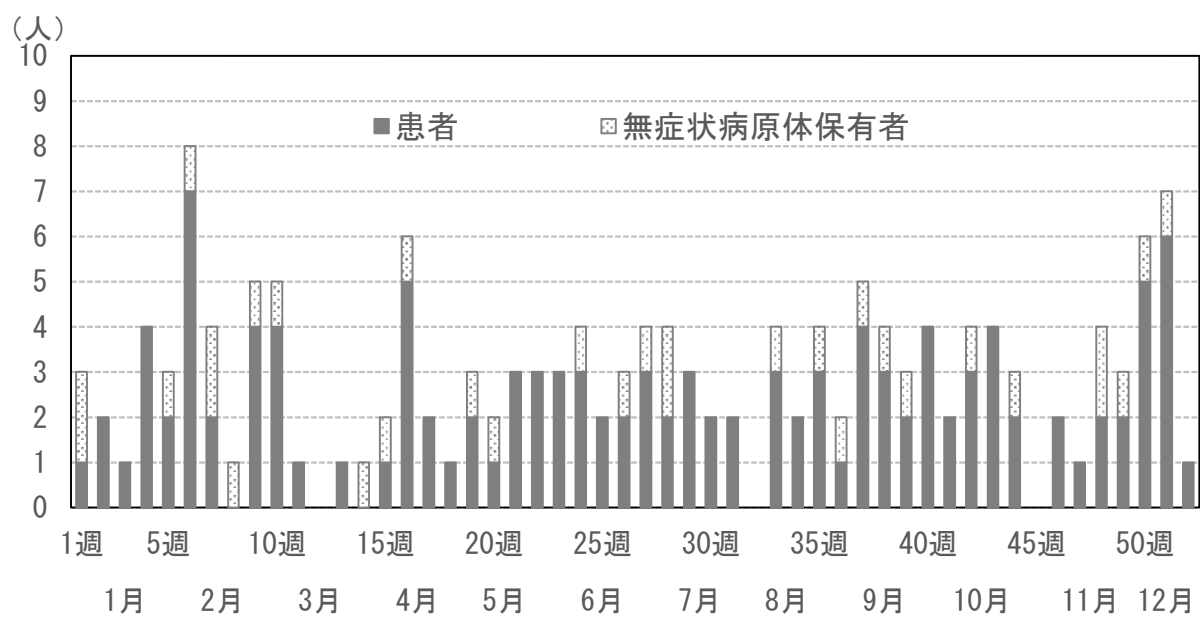


図2 結核 診断週別届出件数

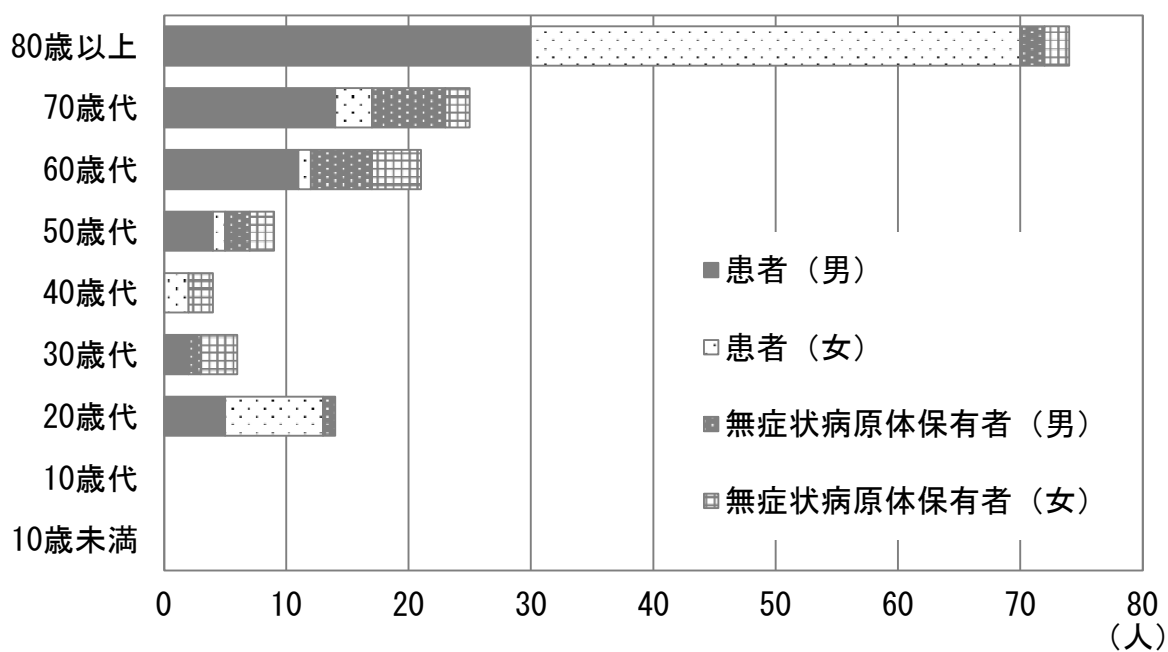
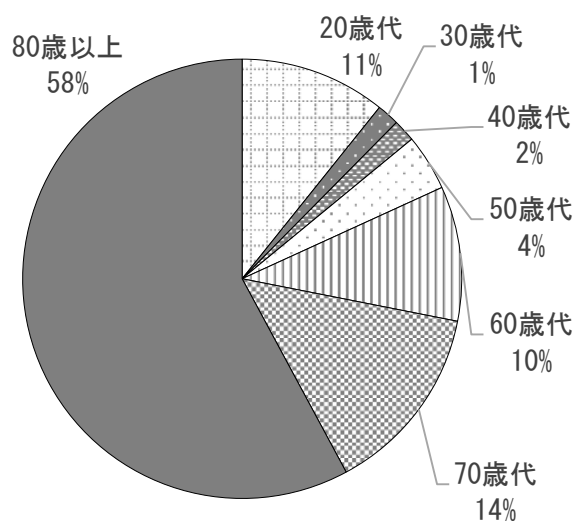
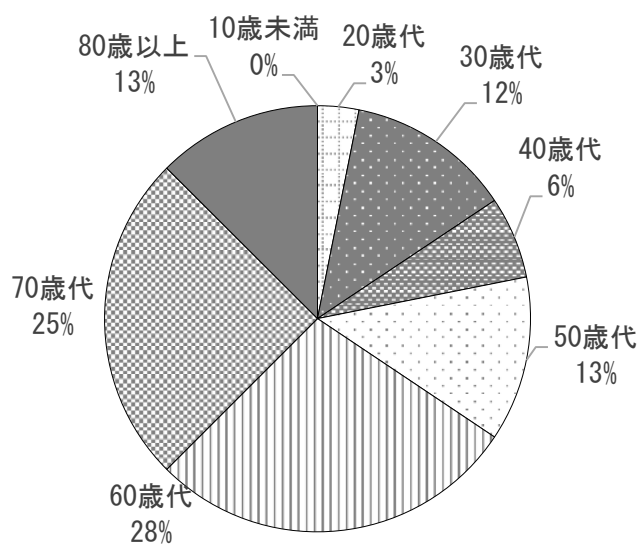


図3 結核 年代・類型別届出件数

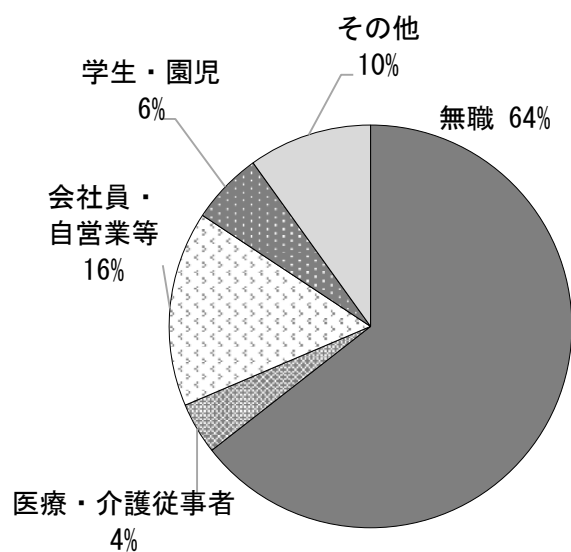


患者（121人）

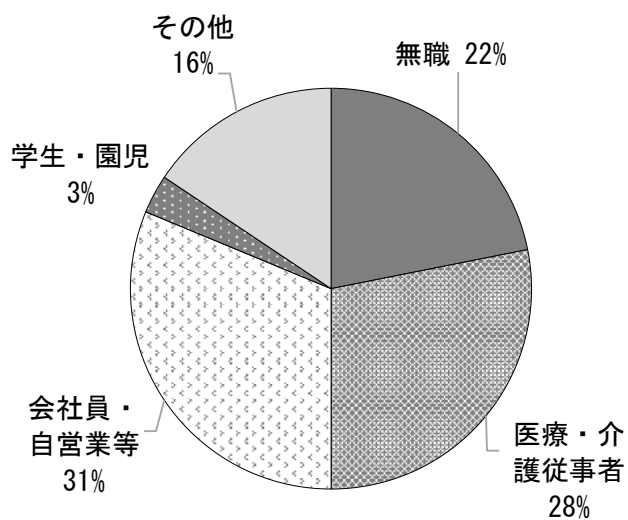


無症状病原体保有者（32人）

図4 結核 年代別割合



患者（121人）



無症状病原体保有者（32人）

図5 結核 職業別割合

(3) 三類感染症

① 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素（Verotoxin=VT）を産生する腸管出血性大腸菌の感染によって起こり、腹痛、水様性下痢及び血便を主症状とする全身性の疾患である。さらに、発症後数日から2週間以内に、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの重篤な合併症を引き起こすことがある。

本疾患の2023年の届出総数は62件で、前年63件から1件減少した。その内訳は「患者」が41件、「無症状病原体保有者」が21件であった。

それぞれの月別届出件数を表1に示す。

表1 腸管出血性大腸菌感染症 月別届出件数

(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
患者	0	0	0	0	6	8	5	11	4	3	2	2	41
無症状病原体保有者	1	0	0	0	6	5	3	1	1	1	0	3	21
月別合計	1	0	0	0	12	13	8	12	5	4	2	5	62

届出数が最も多かった月は、6月で13件、次いで5月および8月が12件ずつであった。また、病型別に見ると「患者」が最も多かった月は、8月（11件）で、「無症状病原体保有者」が最も多かった月は5月（6件）であった（表1及び図1）。年齢別では、5～9歳の届出が23件と最も多く、次いで10歳代（8件）の届出が多かった（図2）。

2023年に集団感染事例の報告はなかったが、家族内や保育園内での感染が疑われる事例が複数報告された。

血清型は、「患者」においてO157が25件と最も多く、次いでO111が10件であった。「無症状病原体保有者」においてO111が9件と最も多かった（表2）。

表2 腸管出血性大腸菌 血清型別内訳

(件)	O157	O26	O111	O103	その他
患者	25	1	10	2	2
無症状病原体保有者	4	2	9	3	3
合計	29	3	19	5	5

患者における臨床症状と発生割合を表3に示す。

患者の半数以上に認められた症状は、「腹痛」、「水様性下痢」および「血便」で、発生割合はそれぞれ75.6%、78.0%、63.4%であった。重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群を発症した事例は、4.9%であった。

表3 患者における臨床症状発生割合

症状	腹痛	水様性下痢	発熱	血便	嘔吐	溶血性尿毒症症候群	溶血性貧血	急性腎不全	その他
人数	31	32	12	26	5	2	0	2	6
発生割合(%)	75.6	78.0	29.3	63.4	12.2	4.9	0.0	4.9	14.6

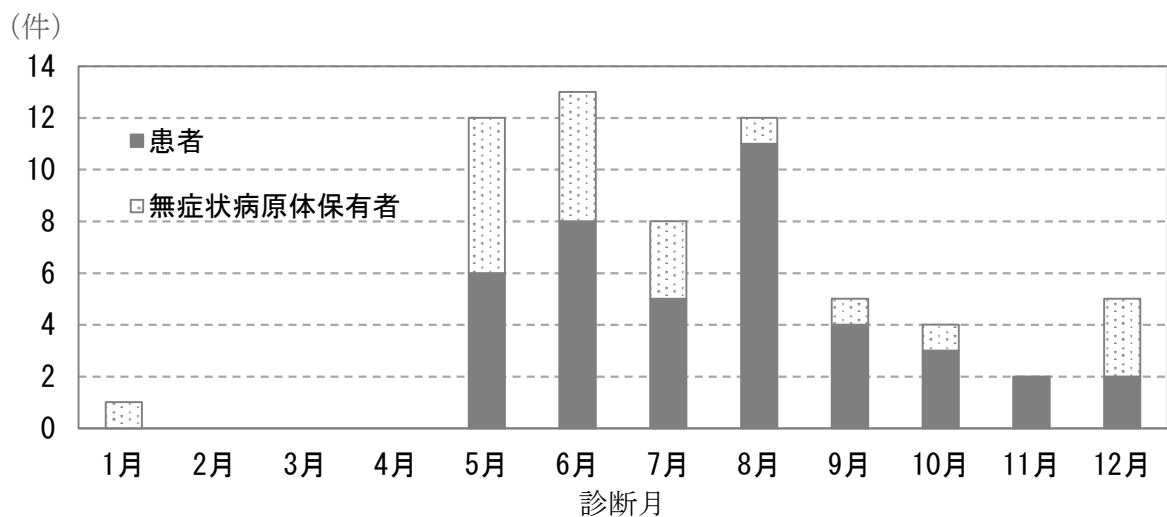


図1 腸管出血性大腸菌感染症 月別届出件数

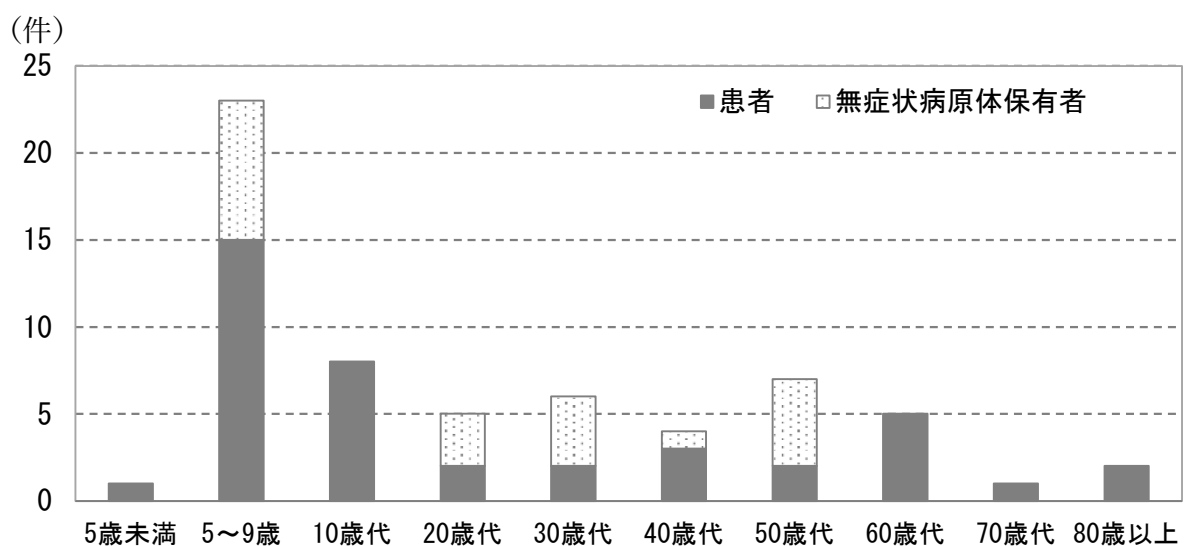


図2 腸管出血性大腸菌感染症 年代別届出件数

(4) 四類感染症

① E型肝炎

E型肝炎は、E型肝炎ウイルスによる感染症で、国内の主な感染経路は汚染された食品や水、動物の臓器や肉の生食による経口感染である。ほとんどが無症状と言われ、発症時は平均6週間の潜伏期を経て、発熱、全身倦怠感、悪心、食欲不振などの消化器症状、黄疸などの急性肝炎を呈する。慢性化することはなく、多くは一過性の急性肝炎の経過をとるが、まれに劇症化するケースもある。

2023年は、8月に1件の届出があった。感染経路は「経口感染」と推定されたが、原因は特定されなかった。

E型肝炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第33週 (8月)	西彼	50歳代 女性	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝腫大、その他(頭痛)	経口感染	県内

② 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る)

平成25年3月4日から四類感染症として追加された重症熱性血小板減少症候群(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS)は、フェヌイウイルス科バンダウイルス属に分類されるウイルスによるダニ媒介性感染症である。感染経路はマダニを介したものが中心だが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。主な症状は、発熱と消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢)で、ときに頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、痙攣、昏睡)、リンパ節腫脹なども見られる。

2023年は、4~12月にかけて合計13件の届出があった。ほとんどの患者にマダニによる刺咬歴、もしくはマダニとの接触が疑われる行動歴があった。

3~11月にかけては、ウイルスを媒介するマダニの活動が活発になるため、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、マダニによる刺咬に注意が必要である。

また、近年SFTSを発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されている。SFTS以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控えるよう呼びかけが必要である。

重症熱性血小板減少症候群 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第16週 (4月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、神経症状、下痢、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、消化管出血	動物・蚊・昆虫等からの感染 (ネコ・イヌ飼育歴あり)	県内
第17週 (4月)	西彼	70歳代 男性	発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (農作業中にダニに刺された)	県内

重症熱性血小板減少症候群 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第18週 (5月)	県央	80歳代 男性	発熱、筋肉痛、神経症状、腹痛、嘔吐、 食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、紫斑	不明(畑仕事を行っており、 その際にダニに刺された可能性はあり)	県内
第19週 (5月)	長崎市	60歳代 女性	発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少	動物・蚊・昆虫等からの感染 (自宅でネコを多頭飼っている。マダニにかまれたネコを看取った。)	県内
第19週 (5月)	長崎市	90歳代 女性	発熱、血小板減少、リンパ節腫脹、出血傾向、消化管出血、その他(意識障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (庭いじりを行った。)	県内
第20週 (5月)	県南	70歳代 男性	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑仕事)	県内
第22週 (5月)	県央	80歳代 男性	発熱、神経症状、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口	動物・蚊・昆虫等からの感染 (猪猟に行った際、右下腿をダニに刺された)	県内
第24週 (6月)	県央	60歳代 男性	発熱、神経症状、腹痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、その他(振戦、不随意運動)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (1週間ほど前に農作業)	県内
第25週 (6月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、神経症状、下痢、血小板減少、白血球減少	不明	県内
第40週 (10月)	壱岐	80歳代 女性	発熱、食欲不振、リンパ節腫脹、出血傾向、紫斑、その他(肝機能障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畜産業)	県内
第52週 (12月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑で草刈を行った)	県内
第52週 (12月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、頭痛、筋肉痛、神経症状、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少	不明	県内
第52週 (12月)	県央	70歳代 男性	発熱、腹痛、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口	動物・蚊・昆虫等からの感染 (1か月前、SFTS疑いで他界した猫に噛まれた。) (右下肢内側に痂皮化した刺し口を疑う箇所あり)	県内

③ つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するダニの一種「つつが虫」に刺咬されることで感染する。5～14日の潜伏期を経て、高熱や全身倦怠感、食欲不振、頭痛を伴って発症し、主要3徴候といわれる発熱、発疹、刺し口が9割以上の患者に認められる。つつが虫によって媒介される疾患であるため刺し口を確認することが診断の助けになる。

2023 年は、1～12 月に 15 件の届出があった。11 件で刺し口が確認され、ほとんどの患者にマダニとの接触が疑われる行動歴があった。

3～11 月にかけては、つつが虫病を媒介するつつが虫が活発になる時期であるため、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、つつが虫による刺咬に注意が必要である。

つつが虫病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 3 週 (1 月)	壱岐	80 歳代 女性	発熱、その他(急性脳梗塞)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 18 週 (5 月)	県北	60 歳代 男性	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、その他(全身倦怠感)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (みかん取りに山にはいっていた。)	県内
第 19 週 (5 月)	県央	60 歳代 女性	発熱、リンパ節腫脹、その他(口渇)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (みかん畑)	県内
第 33 週 (8 月)	長崎市	50 歳代 男性	発熱、刺し口、その他(全身倦怠感)	動物・蚊・昆虫等からの感染	台湾
第 34 週 (8 月)	壱岐	70 歳代 男性	発熱、その他(血小板減少、肝機能悪化)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (猫を飼っている)	県内
第 38 週 (9 月)	県北	70 歳代 女性	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、その他(鼠径部リンパ節腫脹)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 45 週 (11 月)	県北	80 歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 46 週 (11 月)	西彼	40 歳代 男性	頭痛、発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 46 週 (11 月)	県北	70 歳代 女性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 48 週 (11 月)	県北	50 歳代 男性	発熱、刺し口、その他(関節痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 49 週 (12 月)	五島	80 歳代 女性	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、その他(食欲不振、筋肉痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 50 週 (12 月)	五島	70 歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第 50 週 (12 月)	五島	60 歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

つつが虫病 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第51週 (12月)	県北	60歳代 男性	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、その他(肝機能障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (左前腕に刺し口)	県内
第52週 (12月)	対馬	70歳代 男性	発熱、リンパ節腫脹、発疹、その他(肝機能障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畜産寄生のダニを疑う)	県内

④ デング熱

デング熱は、主としてネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介されるデングウイルスによる感染症で、アジア、太平洋の諸島、オーストラリア北部、アフリカ、中南米の熱帯や亜熱帯地域で広く流行している。3～7日間の潜伏期の後に突然の発熱で発症し、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴うことが多い。患者の一部は、解熱の時期に血漿漏出や血小板減少による出血傾向に基づく症状（デング出血熱）が出現する。

2023年は、3月、10月に届出があった。いずれも海外における感染が疑われ、「病型」は「デング熱」であった。

わが国にはデングウイルスは常在していないとされているが、平成26年8月に、海外渡航歴がなく、東京都内の公園等で蚊に刺され感染したと考えられる国内感染例が多数発生した。これを受け、「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」が策定され、本県においても平成27年より感染症媒介蚊の調査を実施している。

デング熱 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第9週 (3月)	長崎市	30歳代 男性	発熱、2日以上続く発熱、頭痛、発疹、血小板減少、100,000/mm ³ 以下の血小板減少、白血球減少	動物・蚊・昆虫等からの感染	インドネシア
第43週 (10月)	長崎市	20歳代 男性	発熱、2日以上続く発熱、血小板減少、100,000/mm ³ 以下の血小板減少、白血球減少、出血、その他(後眼痛、嘔気、軟便、血尿)	動物・蚊・昆虫等からの感染	インド

⑤ 日本紅斑熱

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺咬されることで感染する。2～8日の潜伏期を経て、高熱や全身倦怠感、頭痛を伴って発症し、主要3徴候といわれる発熱、発疹、刺し口が9割以上の患者に認められる。つつが虫病同様、マダニによって媒介される疾患であるため、刺し口を確認することが診断の助けになる。

2023年の届出は14件であった。罹患した年齢層は20歳代1名を除いてすべて50歳代以上で、男性6件、女性8件であった。届出のうち8件で刺し口が確認され、ほとんどが野外活動や農作業中の感染と推定された。

森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、マダニによる刺咬に注意が必要である。

日本紅斑熱 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第16週 (4月)	西彼	70歳代 男性	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常、その他 (血小板減少、CRP高値)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (居住周辺環境に生息するマダニによる感染が疑われる) (過去何度も刺咬歴あり)	県内
第17週 (4月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑作業中にダニにかまれた) (職業上、草むらに入ることは多い)	県内
第19週 (5月)	県央	20歳代 女性	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第20週 (5月)	佐世保市	70歳代 女性	発熱、発疹、DIC、その他(食欲不振、 血圧低下)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (登山、草刈りなどでのマダニ咬傷の疑い)	県外
第23週 (6月)	西彼	60歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、発疹、その他(血 小板減少)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑で草刈りを行う、刈った 草を袋詰めした)	県内
第32週 (8月)	佐世保市	70歳代 女性	発熱、刺し口、DIC、肝機能異常、そ の他(腎機能障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第32週 (8月)	県央	70歳代 男性	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異 常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第32週 (8月)	五島	80歳代 男性	発熱、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第33週 (8月)	佐世保市	80歳代 女性	発熱、頭痛、発疹、DIC、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (隣家が猫をたくさん飼って おり、庭に来ることが多い。 猫との接触はないが、庭の手 入れは行っていた。)	県内
第35週 (8月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑作業)	県内
第35週 (9月)	長崎市	60歳代 男性	発熱、発疹、DIC、その他(意識障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

日本紅斑熱 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第39週 (9月)	長崎市	50歳代 男性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (登山中のダニとの接触)	県内
第40週 (10月)	西彼	70歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (農作業(みかん収穫)かイ ノシシ除け柵の修理時)	県内
第47週 (11月)	西彼	60歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、 その他(食欲低下)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

⑥ レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症である。本菌は、土壌などの自然環境中に存在する細菌であるため、汚染された土壌の砂塵や汚染された水(冷却塔水や給湯水など)のエアロゾルを吸入して空気感染または飛沫感染する。病型は、劇症型の「肺炎型」と一過性の「ポンティアック熱型」がある。肺炎を主徴とする「肺炎型」は、2～10日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒、高熱の急性感染症状に始まり、続いて乾性咳、喀痰、呼吸困難、胸痛などの呼吸器症状が出現する。意識障害や歩行障害などの中枢神経系の症状や腹痛、下痢等の消化器症状も見られる。「ポンティアック熱型」は、12時間から2～3日の潜伏期を経て集団で発症する傾向にあり、発熱を主徴とし、全身倦怠感、悪寒、頭痛、筋肉痛などを伴うが肺炎はみられない。

2023年の届出は25件であった。月別にみると、7月が6件で多かった。「病型」はすべて肺炎を主症状とする「肺炎型」であった。届出患者の年齢層は、50歳代以上で、男性が19件(76%)、女性が6件(24%)であった。

感染地域は、すべて「県内」と推定され、推定感染経路は、14件が「水系感染」、1件が「塵埃感染」、10件が「不明」であった。

レジオネラ症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第11週 (3月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎、その他(胸痛、 嘔気)	不明	県内
第11週 (3月)	佐世保市	90歳代 女性	発熱、肺炎	水系感染	県内
第15週 (4月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎	水系感染 (ウォッシャー 清掃)	県内
第21週 (5月)	県央	60歳代 男性	発熱、咳嗽、肺炎、その他(喀痰)	不明	県内
第21週 (5月)	県南	60歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎	水系感染 (温泉施設)	県内

レジオネラ症 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第23週 (6月)	長崎市	60歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	水系感染 (入浴施設の利用)	県内
第26週 (6月)	長崎市	60歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎、多臓器不全	水系感染 (農業)	県内
第26週 (6月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	水系感染 (温泉)	県内
第27週 (7月)	西彼	70歳代 女性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	水系感染 (ジムのプール)	県内
第27週 (7月)	長崎市	80歳代 女性	咳嗽、呼吸困難、肺炎	不明	県内
第28週 (7月)	佐世保市	50歳代 男性	発熱、咳嗽、肺炎	水系感染	県内
第28週 (7月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	不明	県内
第29週 (7月)	五島	60歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎	不明	県内
第31週 (7月)	長崎市	70歳代 女性	呼吸困難、意識障害、肺炎	不明	県内
第32週 (8月)	長崎市	90歳代 女性	呼吸困難、多臓器不全	不明	県内
第33週 (8月)	県央	80歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎	水系感染 (自宅の庭に水槽あり)	県内
第34週 (8月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	不明	県内
第34週 (8月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、肺炎	塵埃感染 (陶芸教室、自宅庭の除草作業)	県内
第37週 (9月)	西彼	80歳代 女性	発熱、下痢、肺炎	不明	県内
第37週 (9月)	長崎市	80歳代 男性	咳嗽、肺炎、その他(咽頭痛、声が出ない)	不明	県内
第37週 (9月)	佐世保市	50歳代 男性	発熱、呼吸困難、意識障害、肺炎、多臓器不全	水系感染 (農作業)	県内
第38週 (9月)	佐世保市	90歳代 男性	発熱、咳嗽、肺炎	水系感染	県内

レジオネラ症 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第42週 (10月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎	水系感染 (温泉又は自宅 のシャワー)	県内
第48週 (12月)	西彼	80歳代 男性	咳嗽、呼吸困難、肺炎、その他(胸膜炎)	水系感染	県内
第50週 (12月)	長崎市	80歳代 男性	発熱、肺炎	水系感染 (自宅で井戸水 使用、畑に雨水を貯めて撒 いている)	県内

⑦ レプトスピラ症

病原性レプトスピラ (*Leptospira interrogans* など) による急性の熱性疾患である。病原性レプトスピラを保有しているネズミ、イヌ、ウシ、ウマ、ブタなどの尿で汚染された下水や河川、泥などにより経皮的に、時には汚染された飲食物の摂取により経口的にヒトに感染する。潜伏期間は3～14日で、突然の悪寒、戦慄、高熱、筋肉痛、眼球結膜の充血が生じ、4～5病日後、黄疸や出血傾向が増強する場合もある。

2023年は10月に1件届出があった。県内では、5年ぶりに報告のあった2022年に続いた患者報告であった。感染地域は県内で、田んぼでの水系感染が疑われた。

レプトスピラ症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第43週 (10月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、腎不全、その他(意識障害)	水系感染 (田)	県内

(5) 五類感染症

① ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎（B型肝炎、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎）である。肝炎ウイルスは血液を介して感染し、特にB型肝炎ウイルスは、母子感染や性感染にも注意が必要である。症状は、一般に全身倦怠感、感冒様症状、食欲不振、悪感、嘔吐などの症状で急性に発症して、数日後に褐色尿や黄疸を伴うことが多い。発熱、肝機能異常、その他の全身症状を呈する発病後間もない時期には、かぜあるいは急性胃腸炎などと類似した症状を示すとされている。

2023年の届出は5月、10月に1件ずつの計2件であった。届出の「病型」はいずれも「サイトメガロウイルス」であった。推定感染地域は「県内」が1件、「不明」が1件であった。感染原因・感染経路としては、1件が家庭での感染と推定され、1件は「不明」であった。

ウイルス性肝炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第19週 (5月)	西彼	30歳代 男性	発熱、肝機能異常、その他(頭痛)	不明	不明
第43週 (10月)	西彼	30歳代 男性	全身倦怠感、発熱、肝機能異常	家庭	県内

② カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（Carbapenem-Resistant Enterobacterales：CRE）感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌目細菌による感染症であり、平成26年9月19日の感染症法施行規則の改正に伴い5類感染症に追加された。CREは、菌そのものの病原性は変化していないが、各種抗菌薬を用いた治療に抵抗性を示すため、難治感染を起こしやすく、重症感染に至ると致死率が高まるため注意が必要な疾患である。

2023年は、年間を通して28件の届出があった。患者は、70歳代が最も多く、36%を占めた（図1）。診断の根拠となる検査用検体は、「通常無菌的である」検体（血液、胆汁、腹水等）からの検出が13件、「通常無菌的ではない」検体（尿、喀痰等）からの検出が13件、無菌的である検体および無菌的でない検体の両方からの検出が2件であった（図2）。菌種別では、*Klebsiella aerogenes*が最も多かった（図3）。推定される感染原因・経路は、「医療器具関連感染」が最も多く、次いで「以前からの保菌」が多かった（図4）。

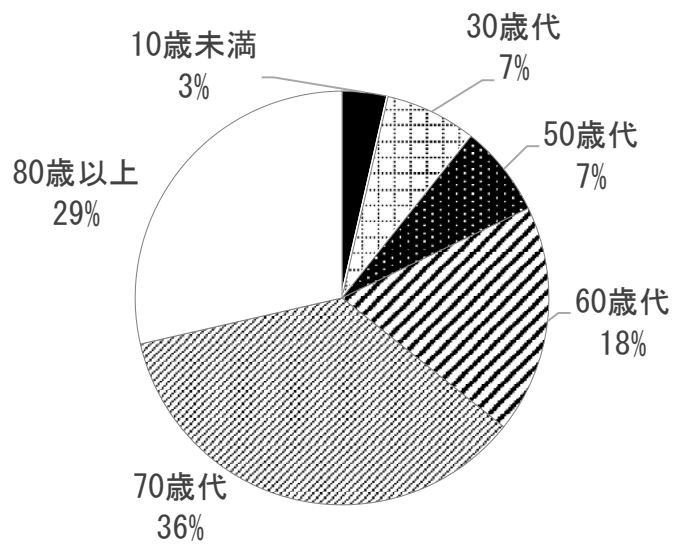


図1 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 年代別割合

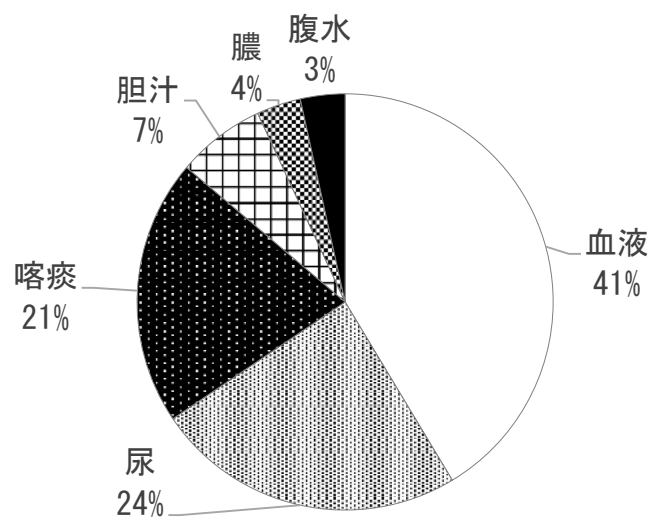


図2 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 検体内訳

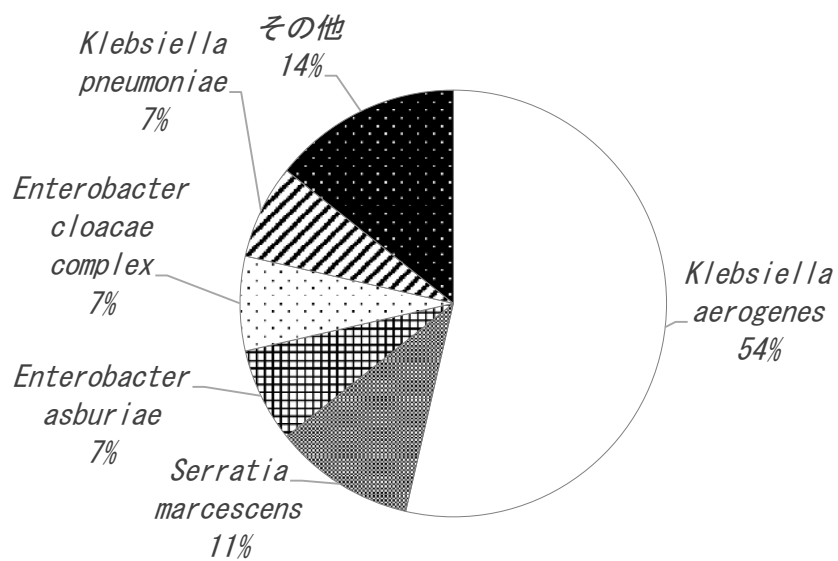


図3 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 菌種別割合

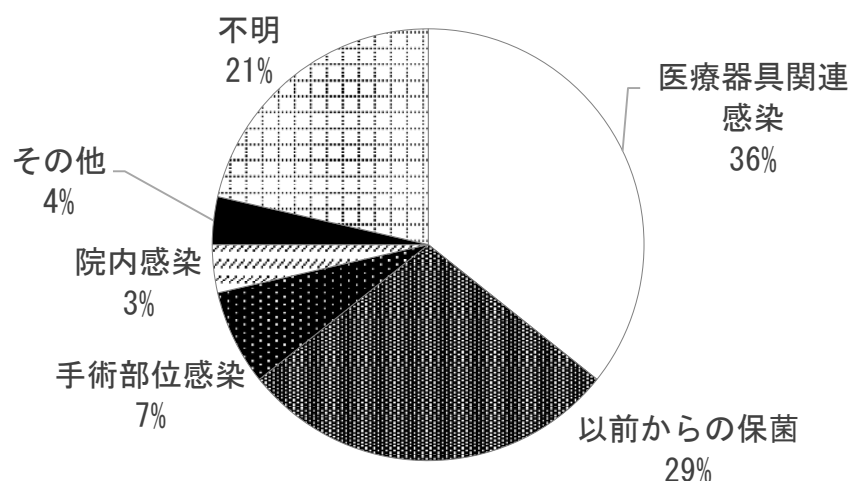


図4 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 感染原因・経路別割合

③ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）

急性脳炎は、ウイルスなど種々の病原体の感染による脳実質の感染症である。多くは何らかの先行感染を伴い、高熱に続き、意識障害や痙攣が突然出現し、持続する。炎症所見が明らかではないが、同様の症状を呈する脳症も含まれる。

2023 年は 1 件の届出があった。病原体は「インフルエンザウイルス A」であった。感染地域は「県内」で、感染経路は「飛沫・飛沫核感染」と推定された。

急性脳炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 51 週 (12 月)	県央	70 歳代 女性	発熱、意識障害	飛沫・飛沫核感染	県内

④ クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は、100 万人に 1 人の割合で孤発性または家族性に生じ、脳組織の海綿（スポンジ）状変性を特徴とする疾患である。感染因子は、異常プリオン蛋白と考えられており、不可逆的な致死性神経障害を生ずる。

2023 年は、2 件の届出があった。病型はいずれも「古典型クロイツフェルト・ヤコブ病」で、診断の確実度は 2 件とも「ほぼ確実」であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 20 週 (5 月)	佐世保市	50 歳代 女性	進行性認知症、ミオクロヌス、小脳症状、異常感覚		
第 27 週 (7 月)	県央	80 歳代 女性	進行性認知症、ミオクロヌス、無動性無言状態、記憶障害		

⑤ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は β 溶血を示すレンサ球菌を原因とし、突発的に発症して急激に進行する敗血症性ショック病態である。皮膚や粘膜から、通常は菌の存在しない筋肉、脂肪組織や血液に溶血性レンサ球菌が侵入することによって発症する。初期症状は咽頭痛、発熱、消化管症状、全身倦怠感、低血圧などの敗血症症状、筋痛などで、後発症状としては軟部組織病変、循環不全、呼吸不全、播種性血管内凝固症候群(DIC)、肝腎症状など多臓器不全をきたし、日常生活を営む状態から24時間以内に多臓器不全が完結する程度の進行を示す。

2023年は1月から11月にかけて9件の届出があった。感染経路は、5件が「創傷感染」、2件が「その他」、2件が「不明」であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第3週 (1月)	佐世保市	60歳代 男性	ショック、腎不全、DIC、その他(気道狭窄、頸部膿瘍)	その他 (慢性扁桃炎)	県内
第5週 (1月)	長崎市	70歳代 女性	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (左膝、下腿)	県内
第17週 (4月)	佐世保市	30歳代 男性	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹	創傷感染 (左側胸部)	県内
第20週 (5月)	佐世保市	90歳代 女性	ショック、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (左下腿)	県内
第25週 (6月)	対馬	80歳代 男性	ショック、肝不全、腎不全、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	創傷感染(右母趾に皮膚剥離創、両側足部に挫創多数あり)	県内
第31週 (7月)	長崎市	60歳代 女性	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	不明	県内
第34週 (8月)	佐世保市	30歳代 女性	ショック、DIC、軟部組織炎、その他(肝機能障害、腎機能障害)	その他(子宮感染)	県内
第37週 (9月)	佐世保市	70歳代 男性	ショック、肝不全、DIC	創傷感染(右大腿骨)	県内
第48週 (11月)	佐世保市	80歳代 男性	ショック、腎不全、DIC、その他(発熱)	不明	県内

⑥ 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)

後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の感染によって免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態である。HIVに感染した後、無症候性の時期(無治療で約10年以内)を経て、生体が高度の免疫不全症に陥る。主な感染経路には、性的接触、母子感染(経胎盤、経産道、経母乳感染)、血液によるもの(輸血、臓器移植、医療事故、麻薬等の静脈注射など)がある。

届出は、無症状であるがHIVに感染していると診断された場合(=「無症状病原体保有者」と、AIDS指標疾患(日和見疾患等)のうち1つ以上が明らかに認められ、かつHIVに感染し

ていると診断された場合（＝「患者」）に分類されている。

2023 年は、年間を通して 11 件の届出があった。類型は、「無症状病原体保有者」が 5 件、「患者」が 6 件で、「患者」の内訳は、「AIDS」が 4 件、「その他」が 2 件であった。推定感染経路は「性的接触（異性間）」が 4 件、「性的接触（同性間）」が 3 件、「性的接触（同性間・異性間）」が 1 件、「不明」が 3 件であった。推定感染地域は「国内」が 7 件、「国外」が 2 件、「不明」が 2 件であった。

後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む） 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定感染地域 (最近数年間の主 な居住地)
第 3 週 (1 月)	長崎市	40 歳代 男性	発熱、呼吸苦、咳、倦怠感	不明	国内
第 10 週 (3 月)	県央	20 歳代 男性	なし	性的接触 同性間、異性間	県外
第 12 週 (3 月)	佐世保市	40 歳代 男性	なし	不明	不明
第 26 週 (6 月)	佐世保市	20 歳代 男性	肺炎	性的接触 異性間	国内 (都道府県不明)
第 31 週 (7 月)	長崎市	20 歳代 男性	発熱、咽頭痛、下痢	性的接触 同性間	県内
第 42 週 (10 月)	県央	30 歳代 男性	発熱、咳嗽	性的接触 異性間	インドネシア
第 45 週 (11 月)	佐世保市	50 歳代 男性	肝膿瘍、感染性腸炎	性的接触 異性間	タイ
第 45 週 (11 月)	長崎市	30 歳代 男性	なし	性的接触 同性間	国内 (都道府県不明)
第 46 週 (11 月)	県央	30 歳代 男性	発熱・腹痛・嘔吐・下痢	不明	不明
第 51 週 (12 月)	県央	30 歳代 男性	なし	性的接触 異性間	県外
第 51 週 (12 月)	長崎市	20 歳代 男性	なし	性的接触 同性間	県内

⑦ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

平成 25 年 4 月 1 日から届出の対象となり、「*Haemophilus influenzae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。発症は一般に突発的であり、上気道炎や中耳炎を伴って発症する場合もある。

2023 年は 2 月から 12 月に 6 件の届出があった。感染経路は「飛沫・飛沫核感染」が 4 件、「不明」が 2 件であり、いずれも推定感染地域は「県内」であった。患者のワクチン接種歴は 1 件が「有」、1 件が「無」、4 件は「不明」であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第6週 (2月)	長崎市	70歳代 女性	発熱、菌血症	不明	県内
第30週 (7月)	県央	70歳代 男性	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・ 飛沫核感染	県内
第34週 (8月)	佐世保市	80歳代 女性	発熱、肺炎、菌血症、その他(肺炎随伴胸膜炎)	飛沫・ 飛沫核感染	県内
第45週 (11月)	長崎市	10歳未満 男性	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・ 飛沫核感染	県内
第49週 (12月)	県央	70歳代 男性	発熱、嘔吐、ショック、肺炎、菌血症	不明	県内
第50週 (12月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・ 飛沫核感染	県内

⑧ 侵襲性肺炎球菌感染症

平成25年4月1日から届出の対象となり、「*Streptococcus pneumoniae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。感染経路は飛沫感染がほとんどで、主な症状は、髄膜炎とそれ以外の菌血症を伴う肺炎や敗血症である。

2023年は24件の届出があった。0～93歳の報告があり、推定感染地域は不明の2件を除いてすべて県内であった。患者のワクチン接種歴は、9件が「有」、6件が「無」、9件が「不明」であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第8週 (2月)	長崎市	70歳代 女性	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第9週 (3月)	県央	80歳代 男性	発熱、肺炎、菌血症	不明	県内
第9週 (3月)	五島	90歳代 女性	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症	不明	県内
第11週 (3月)	県南	60歳代 男性	発熱、菌血症、その他(腰痛)	不明	不明
第12週 (3月)	長崎市	10歳未満 男性	発熱、中耳炎、菌血症	不明	県内
第13週 (3月)	長崎市	80歳代 女性	全身倦怠感、菌血症	不明	県内
第13週 (3月)	県北	40歳代 女性	発熱、全身倦怠感、菌血症、その他(体動困難)	不明	県内

侵襲性肺炎球菌感染症 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第15週 (4月)	県北	10歳未満 男性	発熱、咳、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第18週 (5月)	長崎市	80歳代 女性	その他(胸痛)	不明	県内
第21週 (5月)	県北	10歳未満 男性	発熱、嘔吐、意識障害、大泉門膨隆、髄膜炎	不明	県内
第21週 (5月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱、中耳炎、菌血症	中耳炎からの 感染	県内
第22週 (5月)	長崎市	90歳代 男性	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症、その他 (食欲不振、喀痰)	飛沫・飛沫核 感染	不明
第31週 (8月)	長崎市	10歳未満 男性	発熱、咳、痙攣、菌血症、その他(咽頭炎)	飛沫・飛沫核 感染	県内
第31週 (8月)	西彼	50歳代 男性	発熱、肺炎、腹痛、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第39週 (9月)	長崎市	80歳代 男性	発熱、痙攣、意識障害、項部硬直、肺炎、菌血症	不明	県内
第47週 (11月)	県央	90歳代 女性	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症	不明	県内
第48週 (11月)	県央	10歳未満 男性	発熱、菌血症、その他(鼻汁)	不明	県内
第48週 (12月)	佐世保市	60歳代 女性	発熱、菌血症	不明	県内
第49週 (12月)	佐世保市	10歳未満 女性	発熱、全身倦怠感、肺炎、菌血症	接触感染 (同居家族)	県内
第49週 (12月)	長崎市	10歳未満 男性	発熱、咳、肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第50週 (12月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、痙攣、意識障害、髄膜炎、菌血症、その他 (関節痛)	不明	県内
第51週 (12月)	長崎市	70歳代 女性	発熱、肺炎、菌血症、その他(低酸素血症)	飛沫・飛沫核 感染	県内
第51週 (12月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱、咳、肺炎、菌血症	接触感染	県内
第52週 (12月)	佐世保市	50歳代 男性	発熱、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内

⑨ 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)

平成26年9月19日から届出の対象となり、定義は「水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症のうち24時間以上入院を必要とするもの(他疾患で入院中に水痘を発症し、かつ、水痘発症後24時間以上経過した例を含む)」である。

2023年は5件の届出があった。推定感染地域はいずれも「県内」で、感染経路は、「接触

感染」が2件で、3件は「不明」であった。

水痘（入院例） 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第21週 (5月)	県央	30歳代 女性	発熱、発疹(口内びらん)	不明	県内
第23週 (6月)	長崎市	10歳代 男性	発熱、発疹	接触感染 (同居の同胞)	県内
第36週 (9月)	佐世保市	50歳代 男性	発熱、発疹	不明	県内
第38週 (9月)	佐世保市	20歳代 女性	発熱、発疹	接触感染 (同居家族)	県内
第45週 (11月)	長崎市	30歳代 男性	発熱、発疹	不明	県内

⑩ 梅毒

梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症である。感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する経路がある。早期顕症梅毒・I期では、感染局所に初期硬結や硬性下疳、無痛性の鼠径部リンパ節腫脹がみられ、早期顕症梅毒・II期では、皮膚や粘膜に梅毒性バラ疹や丘疹性梅毒疹、扁平コンジローマなどの特有な発疹が見られる。晩期顕症梅毒としてゴム腫、梅毒によると考えられる心血管症状、神経症状、眼症状などが認められることがある。先天梅毒では、梅毒疹、骨軟骨炎など早期先天梅毒の症状を呈する症例や学童期以後に Hutchinson3 徴候（実質性角膜炎、内耳性難聴、Hutchinson 歯）などの症状を呈する症例がある。

2023年の届出は、「患者」が122件、「無症状病原体保有者」が25件の計147件あった（図1）。現行の感染症法が施行された1999年以降、最多の報告数であった2022年の58件を大きく更新した。

性別は、「男性」が多く、年代別では20歳代が最も多かった（図2、3）。

類型別では、早期顕症梅毒・I期が最も多く、晩期顕症梅毒も1件報告があった（図4）。

感染地域は「県内」が90件、「県外」が28件、「国内（都道府県不明）」が9件、「国外」が2件、その他18件は「不明」と推定された。推定感染経路は、「不明」の14件を除き、全てが性的接触であった（図5）。性的接触のうち、41件（30.8%）に「性風俗産業の利用歴」、4件（3.0%）に「性風俗産業の従事歴」があった。

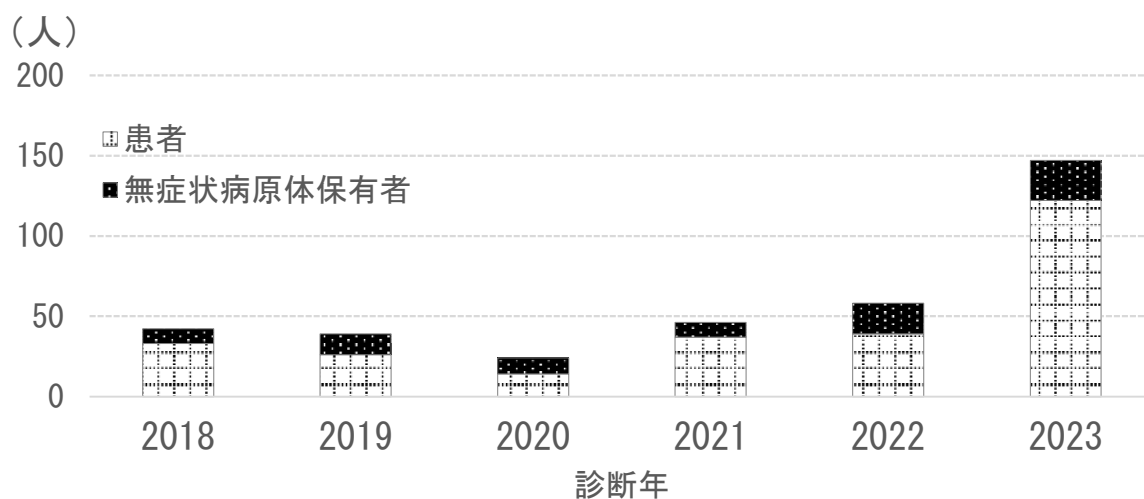


図1 梅毒 類型別患者報告数推移

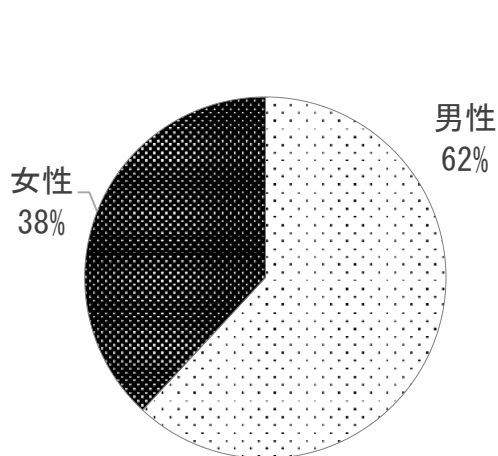


図2 梅毒 性別割合

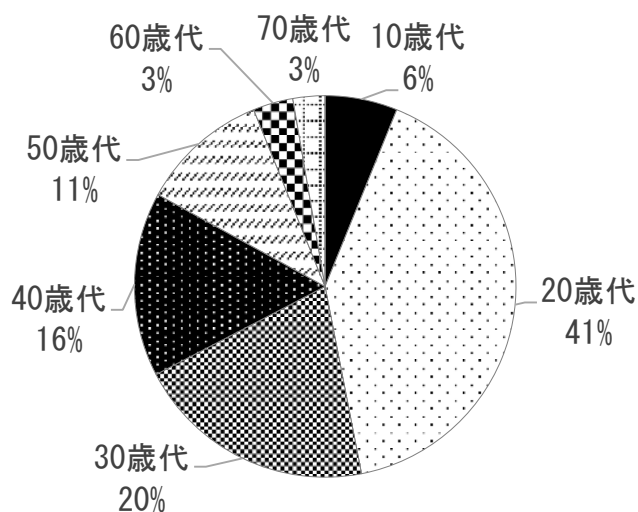


図3 梅毒 年代別割合

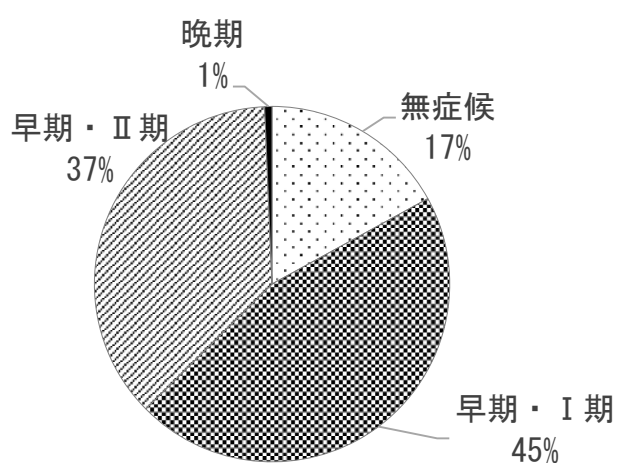


図4 梅毒 類型別割合

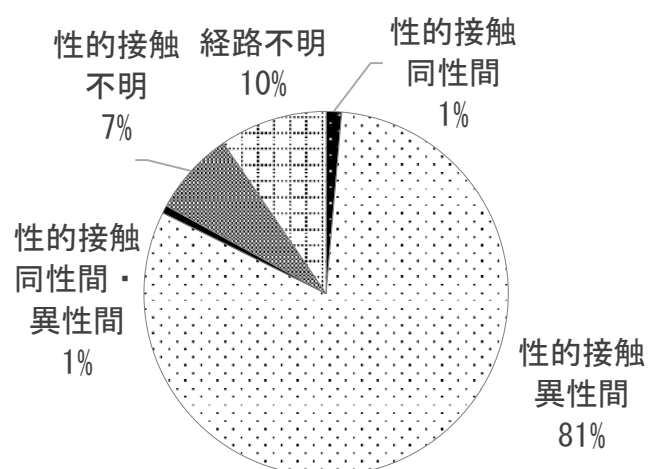


図5 梅毒 推定感染経路別割合

⑪ 播種性クリプトコックス症

Cryptococcus 属真菌による感染症で、ヒト-ヒト感染はなく、土壌など環境中の真菌の吸引により経気道感染する他、皮膚の創傷部位からの感染も起こりうる。糖尿病や HIV 感染、ステロイド剤・免疫抑制剤投与などによる免疫不全状態がリスク要因となるため、基礎疾患の有無は重要な情報となる。呼吸器や皮膚の感染部位から中枢神経系あるいは全身に播種した場合を、播種性クリプトコックス症といい、髄液、血液などの通常無菌的な臨床検体から検出されるか脳脊髄液のクリプトコックス莢膜抗原が陽性となった場合、法に基づく届出対象となる。

2023 年は 5 件の届出があった。感染原因・経路は、3 件は「免疫不全」に該当し、2 件は「不明」であった。

播種性クリプトコックス症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 3 週 (1 月)	長崎市	60 歳代 女性	頭痛、発熱、呼吸器症状、真菌血症	免疫不全(非代償性 肝硬変)	県内
第 3 週 (1 月)	長崎市	50 歳代 男性	頭痛、意識障害、麻痺、項部硬直、中枢神 経系病変	不明	県内
第 11 週 (3 月)	県央	60 歳代 女性	頭痛、発熱、意識障害、胸部異常陰影、真 菌血症	免疫不全(免疫抑 制剤の使用歴あり)	県内
第 24 週 (6 月)	佐世保市	80 歳代 女性	発熱、意識障害、痙攣、真菌血症	免疫不全(ステロイ ド使用)	県内
第 38 週 (9 月)	佐世保市	50 歳代 男性	皮疹、紅斑、真菌血症	不明	県内

⑫ 破傷風

破傷風は、破傷風菌が外傷部位などから組織内に侵入し、嫌気的な環境下で増殖した結果産生される破傷風毒素により、神経刺激伝達障害を起こす。感染巣近傍の筋肉のこわばり、顎から頸部のこわばり、開口障害、四肢の強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、刺激に対する興奮性の亢進、反弓緊張（opisthotonus）などの症状が出現する。

2023 年の届出は、3 月に 1 件であった。患者では破傷風の典型的な症状が認められた。推定感染地域は県内で、感染原因・感染経路は、針等の鋭利なものの刺入による感染および創傷感染であった。聞き取り調査の結果ワクチン接種歴は不明であった。

破傷風 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 11 週 (3 月)	県央	50 歳代 男性	痙攣	針等の鋭利なもの の刺入による感染 (家の畳のびよう で、左足を受傷) 創傷感染(左大2 趾)	県内

⑬ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシンに対して耐性を示す腸球菌（Vancomycin Resistant Enterococci：VRE）による感染症であり、基礎疾患を有する易感染状態の患者において、日和見感染症や術後感染症、カテーテル性敗血症などを引き起こす。発熱やショックなどの症状を呈し、死亡することもある。

2023 年は、3 月と 10 月に 2 件の届出があった。いずれも尿からの分離菌株で、菌種名 *Enterococcus faecium*、耐性遺伝子 *VanB* であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 10 週 (3 月)	上五島	90 歳代 女性	尿路感染症	不明	県内
第 44 週 (10 月)	長崎市	70 歳代 女性	発熱、尿路感染症、呼吸不全、意識障害、腎機能低下	接触感染(尿、膀胱カテーテル、尿管ステント)	県内

⑭ 百日咳

百日咳は、潜伏期が通常 5～10 日（最大 3 週間程度）であり、かぜ様症状で始まるが、次第に咳が著しくなり、百日咳特有の咳が始まる。乳児（特に新生児や乳児早期）ではまれに咳が先行しない場合がある。

典型的な臨床像は、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく発作性に咳き込み（スタッカート）、最後にヒューと音を立てて息を吸う発作（ウープ）である。また、嘔吐や無呼吸発作（チアノーゼの有無は問わない）を伴うことがある。血液所見としては、白血球数増多が認められることがある。乳児では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに致死的となることがある。

2023 年は、2 件の届出があった。年代は 20 歳代、50 歳代で、いずれも感染地域は「県内」と推測された。感染原因については、1 件が職場内での感染が疑われ、もう 1 件は「不明」であった。

百日咳 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 6 週 (2 月)	県南	20 歳代 女性	持続する咳	職場の同僚	県内
第 16 週 (4 月)	県北	50 歳代 男性	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、その他(胸痛、不眠)	不明	県内

週	期 間	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘 瘡	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	急性灰白髄炎	ラッサ熱	結核	ジフテリア	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限り）	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限り）	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	A型肝炎	エキノコックス症	エムボックス	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キャサヌル森林病	
1	23.1.2-23.1.8									3																					
2	23.1.9-23.1.15									2																					
3	23.1.16-23.1.22									1																					
4	23.1.23-23.1.29									4								1													
5	23.1.30-23.2.5									3																					
6	23.2.6-23.2.12									8																					
7	23.2.13-23.2.19									4																					
8	23.2.20-23.2.26									1																					
9	23.2.27-23.3.5									5																					
10	23.3.6-23.3.12									5																					
11	23.3.13-23.3.19									1																					
12	23.3.20-23.3.26																														
13	23.3.27-23.4.2									1																					
14	23.4.3-23.4.9									1																					
15	23.4.10-23.4.16									2																					
16	23.4.17-23.4.23									6																					
17	23.4.24-23.4.30									2																					
18	23.5.1-23.5.7									1																					
19	23.5.8-23.5.14									3								1													
20	23.5.15-23.5.21									2								1													
21	23.5.22-23.5.28									3																					
22	23.5.29-23.6.4									3								1													
23	23.6.5-23.6.11									3								4													
24	23.6.12-23.6.18									4								3													
25	23.6.19-23.6.25									2								1													
26	23.6.26-23.7.2									3								4													
27	23.7.3-23.7.9									4								2													
28	23.7.10-23.7.16									4								3													
29	23.7.17-23.7.23									3								1													
30	23.7.24-23.7.30									2								1													
31	23.7.31-23.8.6									2								2													
32	23.8.7-23.8.13																	6													
33	23.8.14-23.8.20									4								3			1										
34	23.8.21-23.8.27									2								2													
35	23.8.28-23.9.3									4								1													
36	23.9.4-23.9.10									2																					
37	23.9.11-23.9.17									5								1													
38	23.9.18-23.9.24									4								2													
39	23.9.25-23.10.1									3								1													
40	23.10.2-23.10.8									4																					
41	23.10.9-23.10.15									2								3													
42	23.10.16-23.10.22									4																					
43	23.10.23-23.10.29									4																					
44	23.10.30-23.11.5									3								1													
45	23.11.6-23.11.12																														
46	23.11.13-23.11.19									2								2													
47	23.11.20-23.11.26									1																					
48	23.11.27-23.12.3									4																					
49	23.12.4-23.12.10									3								4													
50	23.12.11-23.12.17									6								1													
51	23.12.18-23.12.24									7																					
52	23.12.25-23.12.31									1																					
合 計										153								62			1										

週	期 間	Q 熱	狂犬病	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（病原体が フレボウイルス属SFTSウイルスで あるものに限る）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭 痘	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニバウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻 痘	ブルセラ症	ペネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発疹チフス	ポツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症
1	23.1.2-23.1.8																													
2	23.1.9-23.1.15																													
3	23.1.16-23.1.22											1																		
4	23.1.23-23.1.29																													
5	23.1.30-23.2.5																													
6	23.2.6-23.2.12																													
7	23.2.13-23.2.19																													
8	23.2.20-23.2.26																													
9	23.2.27-23.3.5											1																		
10	23.3.6-23.3.12																													
11	23.3.13-23.3.19																													
12	23.3.20-23.3.26																													
13	23.3.27-23.4.2																													
14	23.4.3-23.4.9																													
15	23.4.10-23.4.16																													
16	23.4.17-23.4.23					1											1													
17	23.4.24-23.4.30					1											1													
18	23.5.1-23.5.7					1					1																			
19	23.5.8-23.5.14					2					1						1													
20	23.5.15-23.5.21					1											1													
21	23.5.22-23.5.28																													
22	23.5.29-23.6.4					1																								
23	23.6.5-23.6.11																1													
24	23.6.12-23.6.18					1																								
25	23.6.19-23.6.25					1																								
26	23.6.26-23.7.2																													
27	23.7.3-23.7.9																													
28	23.7.10-23.7.16																													
29	23.7.17-23.7.23																													
30	23.7.24-23.7.30																													
31	23.7.31-23.8.6																													
32	23.8.7-23.8.13																3													
33	23.8.14-23.8.20										1						1													
34	23.8.21-23.8.27										1																			
35	23.8.28-23.9.3																2													
36	23.9.4-23.9.10																													
37	23.9.11-23.9.17																													
38	23.9.18-23.9.24											1																		
39	23.9.25-23.10.1																1													
40	23.10.2-23.10.8					1											1													
41	23.10.9-23.10.15																													
42	23.10.16-23.10.22																													
43	23.10.23-23.10.29											1																		
44	23.10.30-23.11.5																													
45	23.11.6-23.11.12											1																		
46	23.11.13-23.11.19											2																		
47	23.11.20-23.11.26																1													
48	23.11.27-23.12.3											1																		
49	23.12.4-23.12.10											1																		
50	23.12.11-23.12.17											2																		
51	23.12.18-23.12.24											1																		
52	23.12.25-23.12.31					3						1																		
合 計						13					15	2				14														

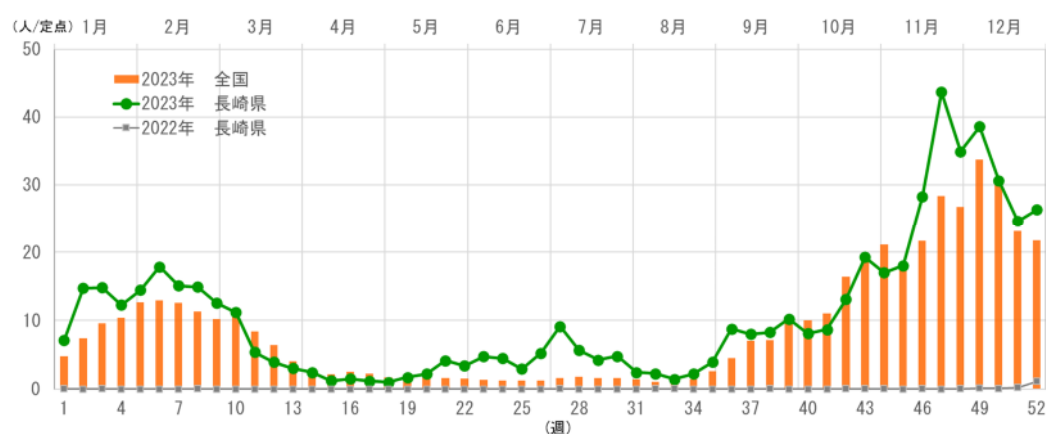
週	期 間	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎およびA型肝炎を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	エラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎）	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限り）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネタバクター感染症
1	23.1.2-23.1.8																					1								
2	23.1.9-23.1.15							1														3								
3	23.1.16-23.1.22													1	1							1	2							
4	23.1.23-23.1.29																					3								
5	23.1.30-23.2.5													1								3								
6	23.2.6-23.2.12							2									1													
7	23.2.13-23.2.19																					3								
8	23.2.20-23.2.26							1											1			2								
9	23.2.27-23.3.5							1											2			6								
10	23.3.6-23.3.12							1							1							3						1		
11	23.3.13-23.3.19			2															1			2	1	1						
12	23.3.20-23.3.26														1				1			2								
13	23.3.27-23.4.2																		2			2								
14	23.4.3-23.4.9							2														3								
15	23.4.10-23.4.16			1															1			2								
16	23.4.17-23.4.23																					3						1		
17	23.4.24-23.4.30														1							3								
18	23.5.1-23.5.7																		1			2								
19	23.5.8-23.5.14							1														2								
20	23.5.15-23.5.21													1	1							3								
21	23.5.22-23.5.28			2				1											2		1	1								
22	23.5.29-23.6.4							4											1			2								
23	23.6.5-23.6.11			1																1		3								
24	23.6.12-23.6.18							1														1	1							
25	23.6.19-23.6.25													1								1								
26	23.6.26-23.7.2			2												1						2								
27	23.7.3-23.7.9			2										1								3								
28	23.7.10-23.7.16			2				2														1								
29	23.7.17-23.7.23			1				1														5								
30	23.7.24-23.7.30																					5								
31	23.7.31-23.8.6			1				1							1				2			4								
32	23.8.7-23.8.13			1				1														1								
33	23.8.14-23.8.20			1																		2								
34	23.8.21-23.8.27			2																		4								
35	23.8.28-23.9.3																					4								
36	23.9.4-23.9.10																					4								
37	23.9.11-23.9.17			3				1							1							4								
38	23.9.18-23.9.24			1																		5	1							
39	23.9.25-23.10.1																		1			4								
40	23.10.2-23.10.8							1														4								
41	23.10.9-23.10.15							1														5								
42	23.10.16-23.10.22			1											1															
43	23.10.23-23.10.29				1			1														2								
44	23.10.30-23.11.5							1														3						1		
45	23.11.6-23.11.12														2					1		5								
46	23.11.13-23.11.19															1						4								
47	23.11.20-23.11.26							2											1			1								
48	23.11.27-23.12.3			1				1							1				2			5								
49	23.12.4-23.12.10							1										1	2			7								
50	23.12.11-23.12.17			1														1	1			2								
51	23.12.18-23.12.24									1					2				2			1								
52	23.12.25-23.12.31							1											1			3								
合 計				25	1			2	28		1		2	9	11	6	24	5	147	5	1		2	2						

2 定点把握の対象感染症

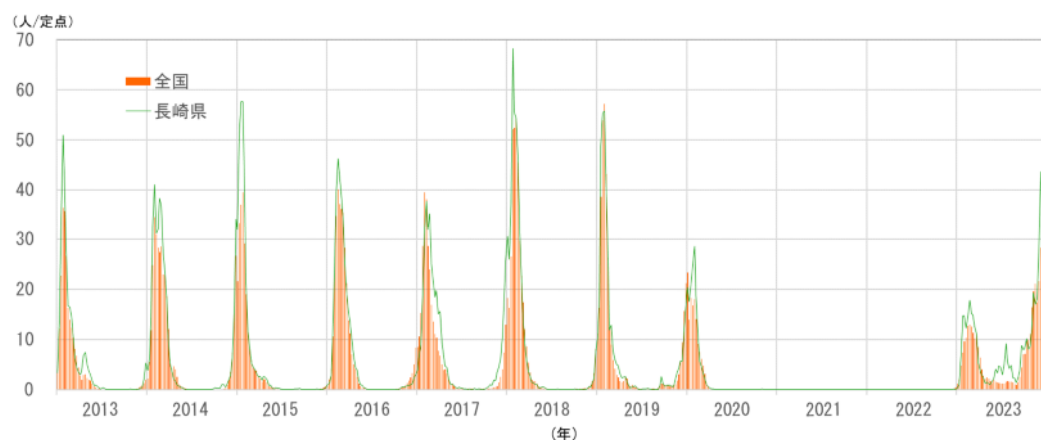
(1) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）

2023 年の年間患者報告数は 39,616 人で、前年（127 人）より大きく増加した。2022/2023 シーズンは 3 年ぶりに流行期入りし、9 週続けて注意報レベルの報告数となった。2023/2024 シーズンは、前シーズンから流行期の目安となる「1.0」を超えた値を維持したままシーズン入りし、第 47 週（43.67）に警報レベル開始基準値を超えた。県内では 5 シーズンぶりの警報発令となった。

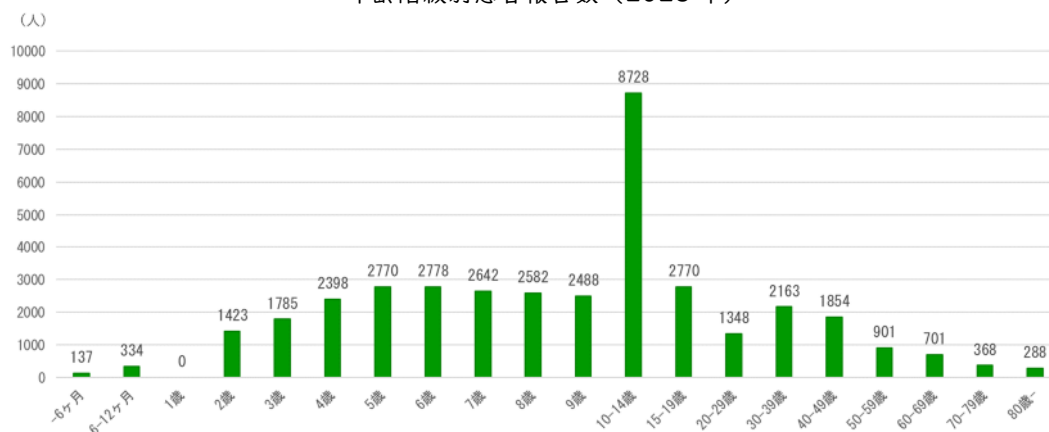
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）



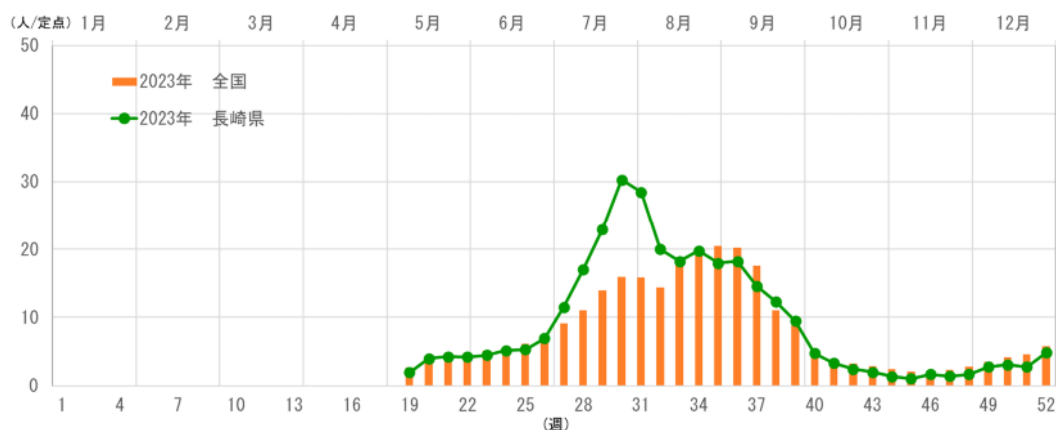
(2) 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月 8 日より定点把握の 5 類感染症に位置づけられた。

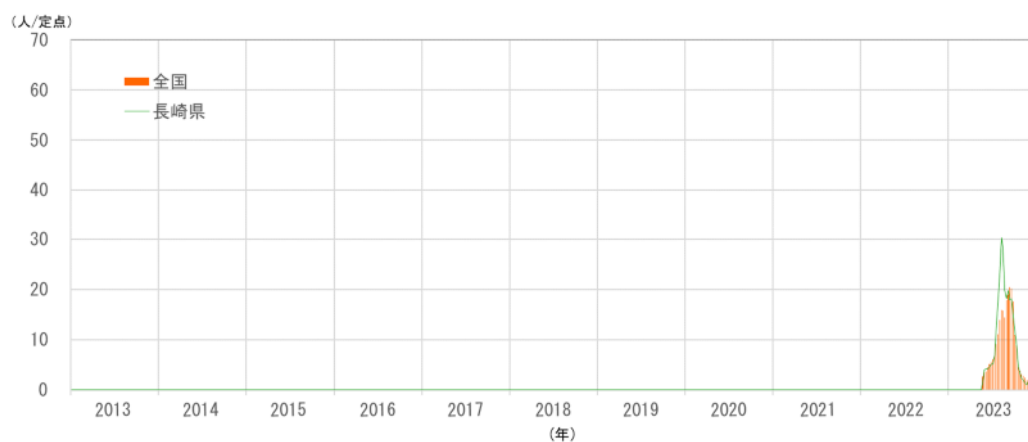
2023 年は第 19 週から報告が開始され、患者数は 21,675 人であった。県内では 7 月から 9 月に報告数の増加がみられ、第 30 週にピーク「30.29」を迎えた。

年齢階級別では、10～14 歳が最も多かった。

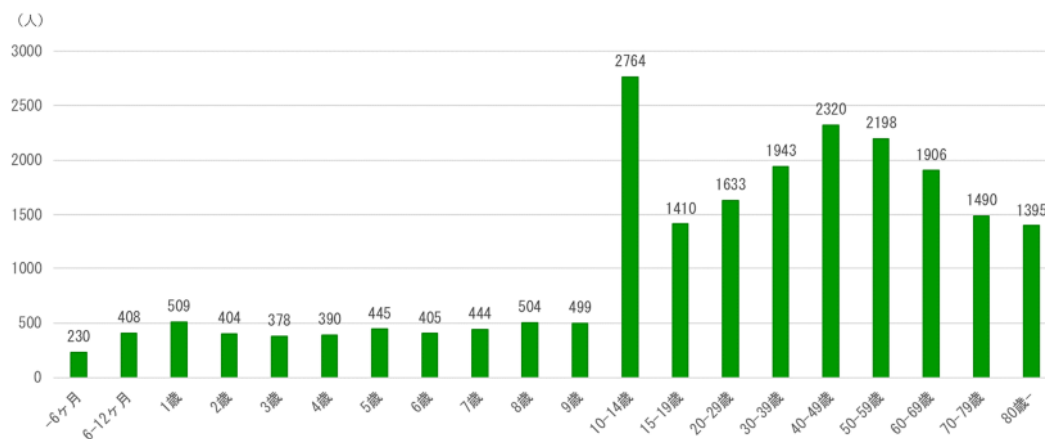
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）

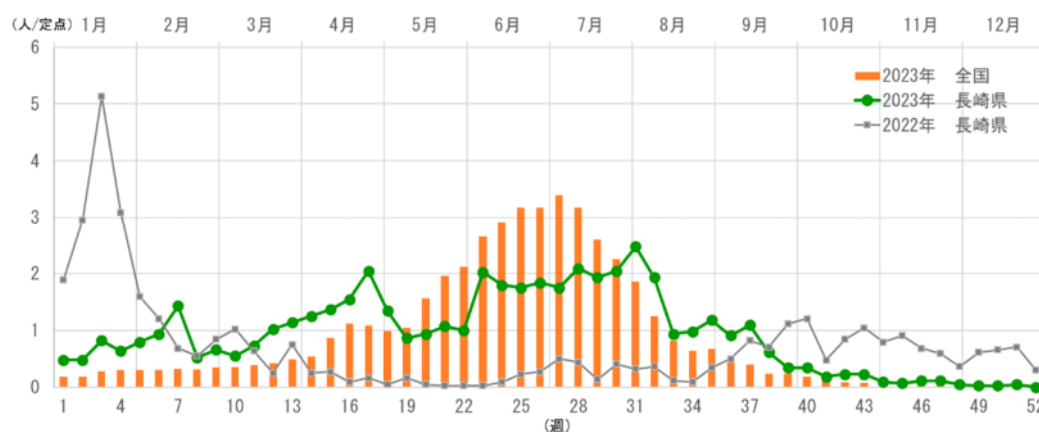


(3) RS ウイルス感染症

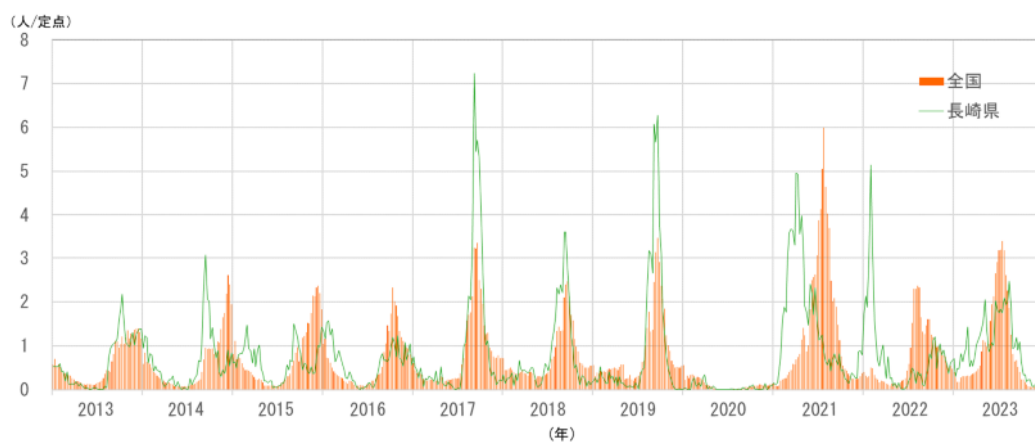
2023 年の年間患者報告数は 2,146 人で、前年（1,641 人）より増加した。6 月、7 月に患者数の増加を示したが、全国より低い値で推移した。

年齢階級別では、1 歳が最も多く、2 歳以下で 85% を占めた。

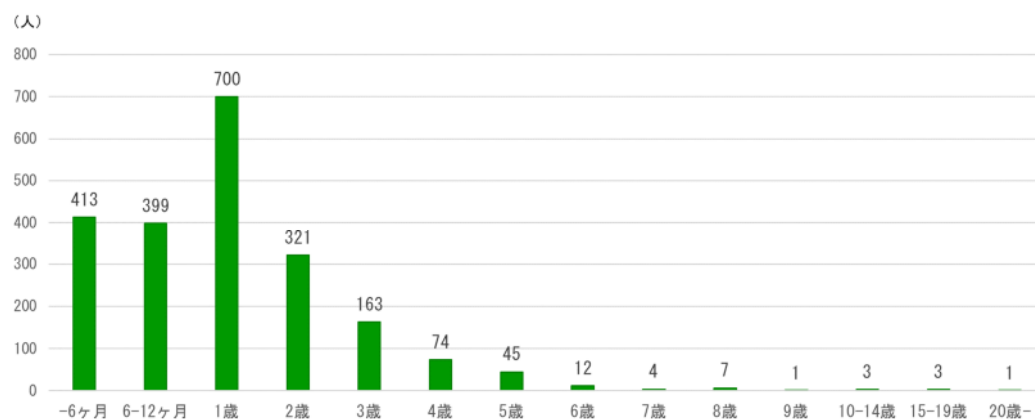
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）

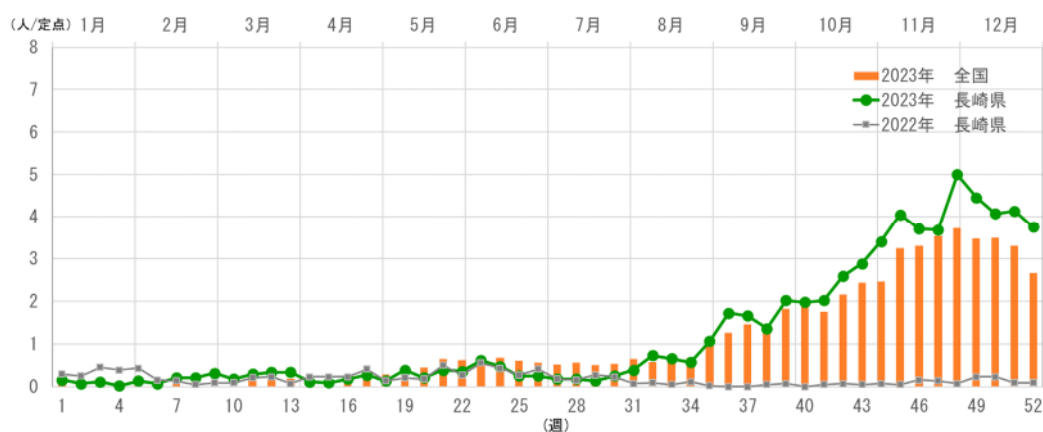


(4) 咽頭結膜熱

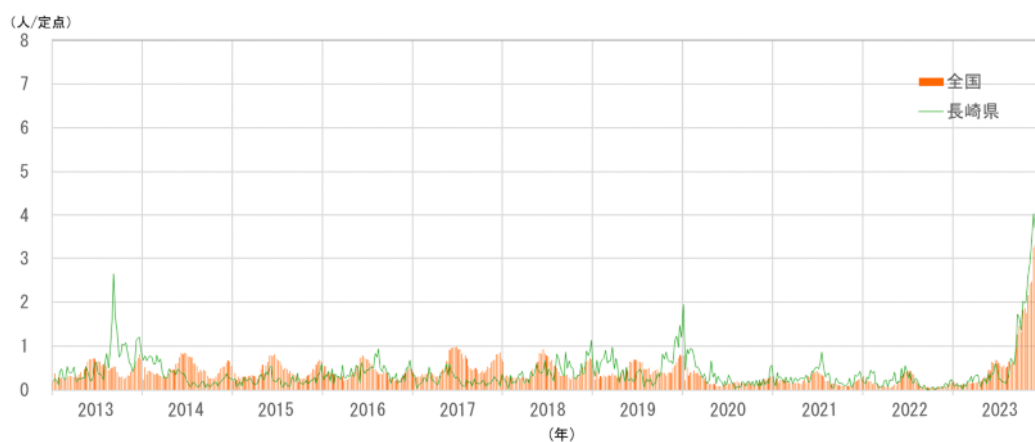
2023 年の年間患者報告数は 2,765 人で、前年（417 人）より大きく増加した。9 月以降報告数が増加し、第 44 週（3.41）に警報レベル「3.0」を超え、2024 年第 7 週まで警報レベルの報告数が続いた。

年齢階級別では、1 歳～5 歳が多かった。

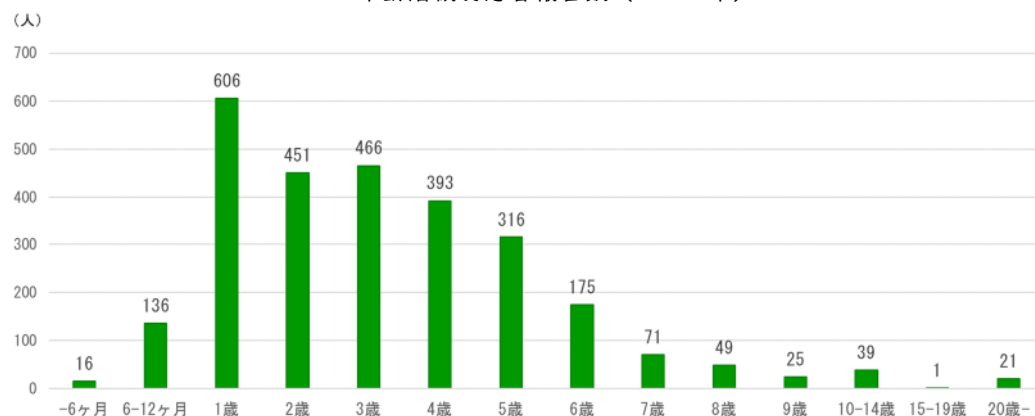
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）

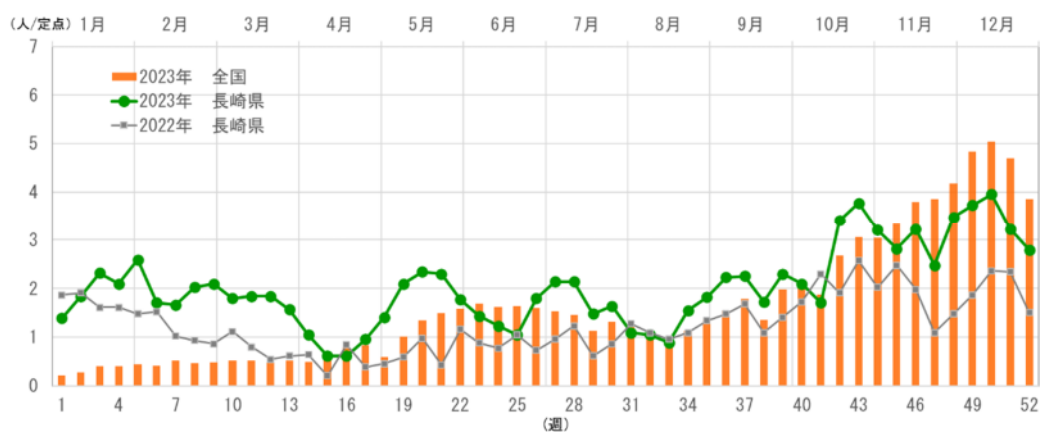


(5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

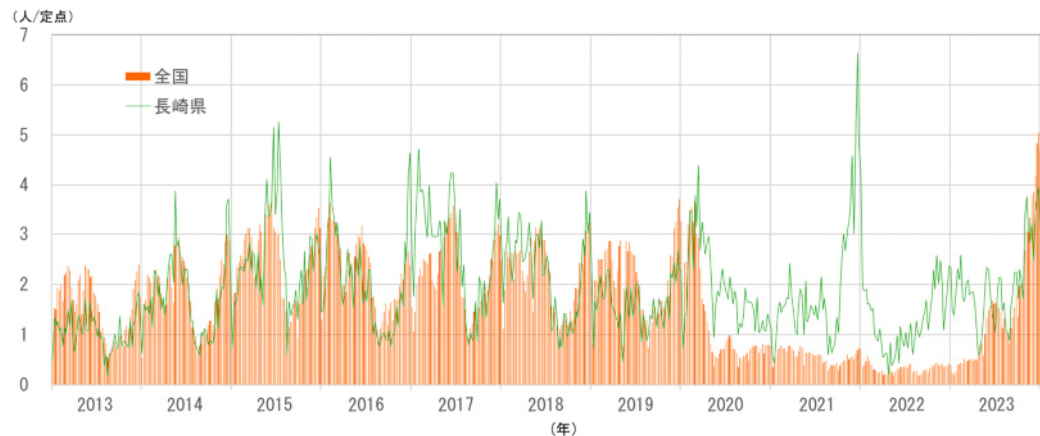
2023年の年間患者報告数は4,644人で、前年(2,889人)より増加した。年間を通して患者の報告があり、2020年以降2023年3月まで全国より高い値で推移していた。5月以降全国でも報告数が増加し、特に、県内、全国ともに10月～12月に報告が多かった。

年齢階級別では、10-14歳が最も多かった。

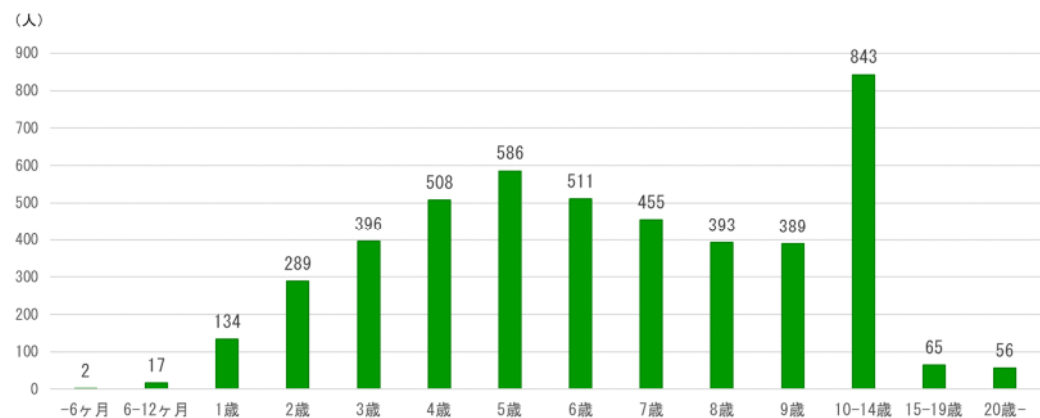
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)



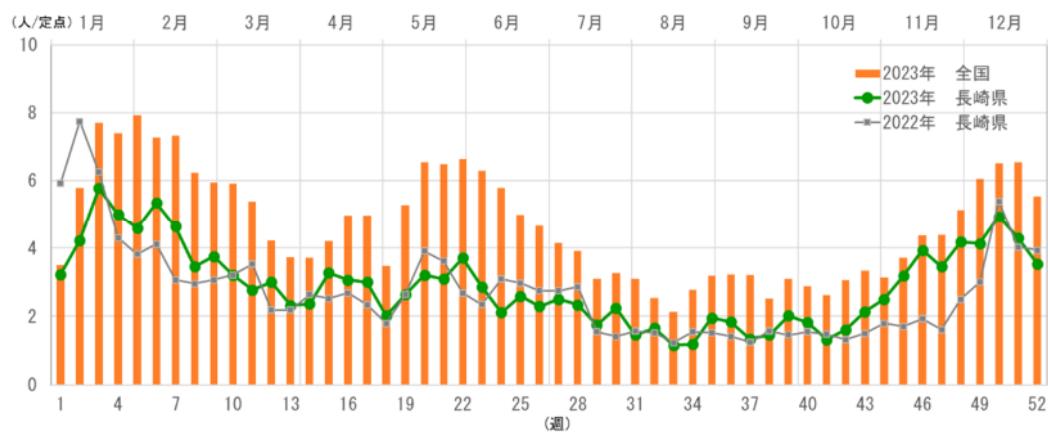
年齢階級別患者報告数 (2023年)



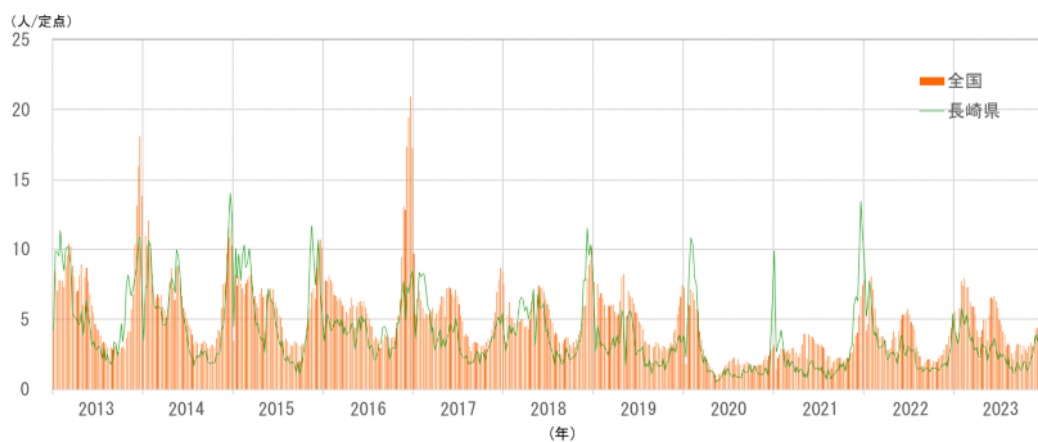
(6) 感染性胃腸炎

2023年の年間患者報告数は6,664人で、前年(6,244人)より増加した。1月と12月に患者数が増加したが、警報レベル開始基準値の「20」を超えた週はなかった。年齢階級別では、1歳が最も多く、5歳以下で全体の約7割を占めた。

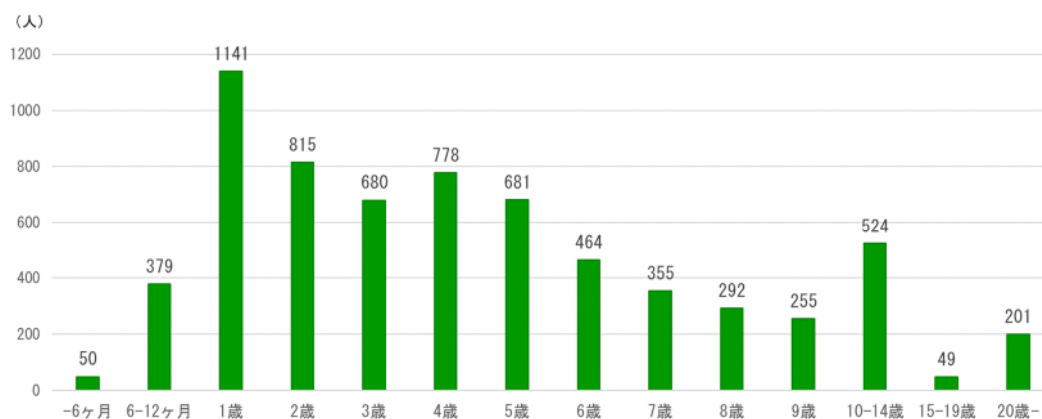
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移(2013年～2023年)



年齢階級別患者報告数(2023年)

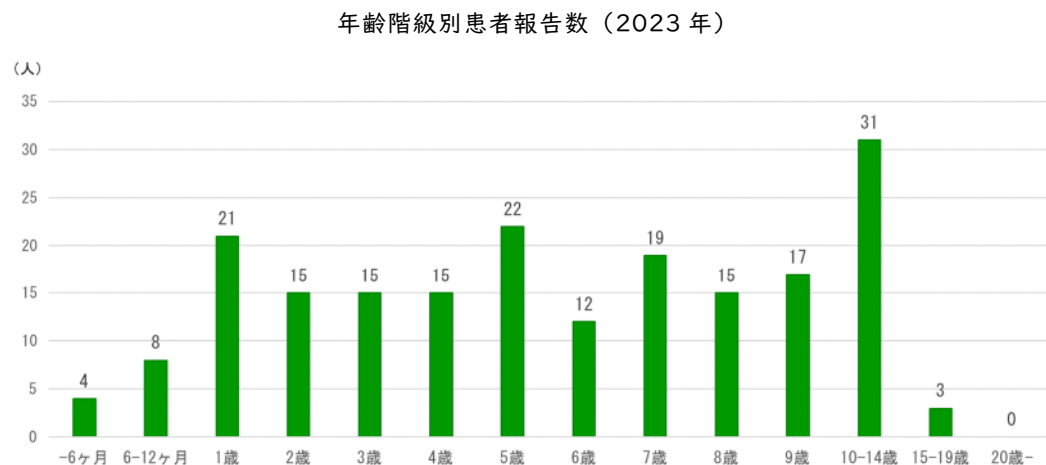
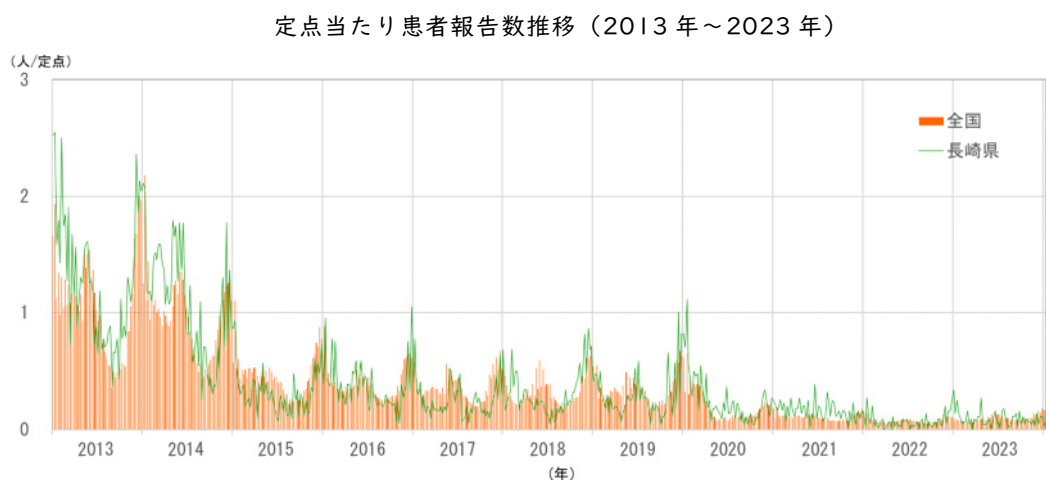
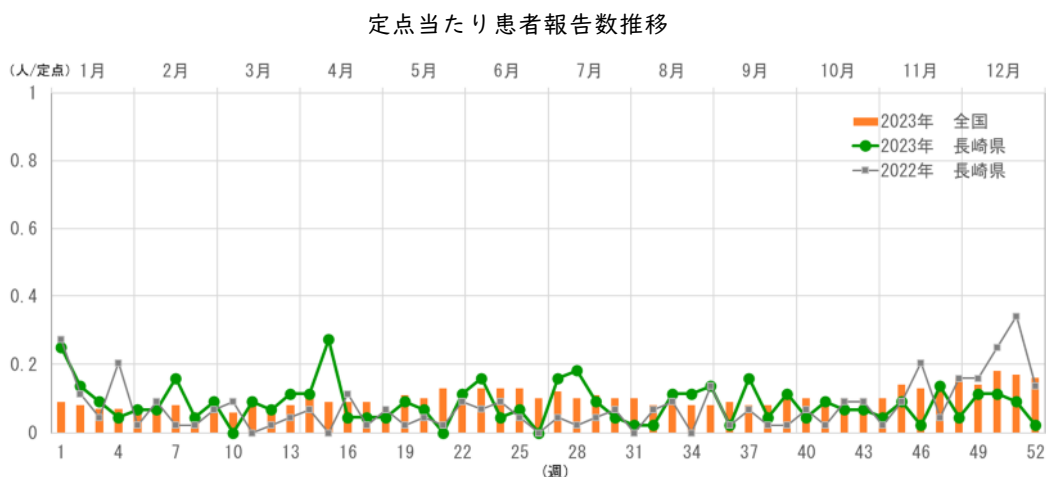


(7) 水痘

2023年の年間患者報告数は197人で、前年(175人)より増加した。県内、全国ともに大きな流行はなく、年間を通して低い値で推移した。

過去10年で比較すると、水痘ワクチンが2014年に定期予防接種に追加された翌年以降、年間患者数の減少傾向が顕著に認められる。

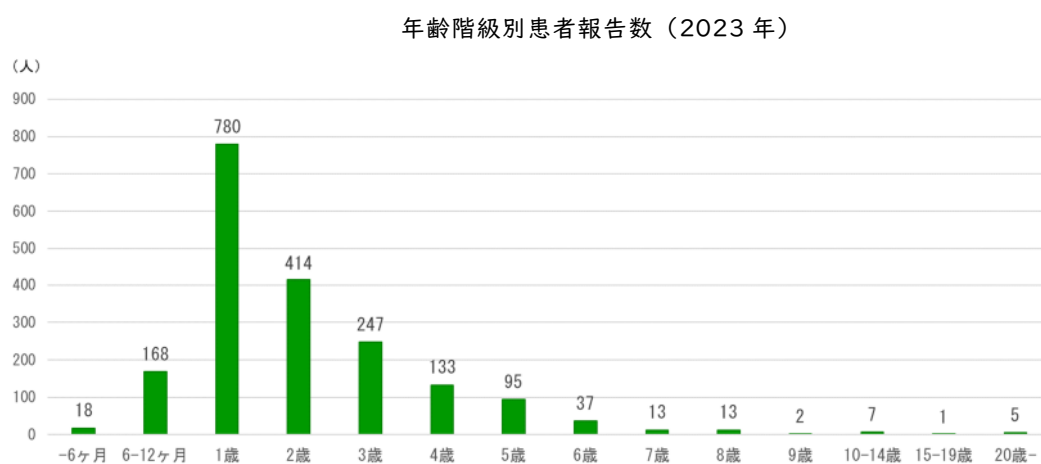
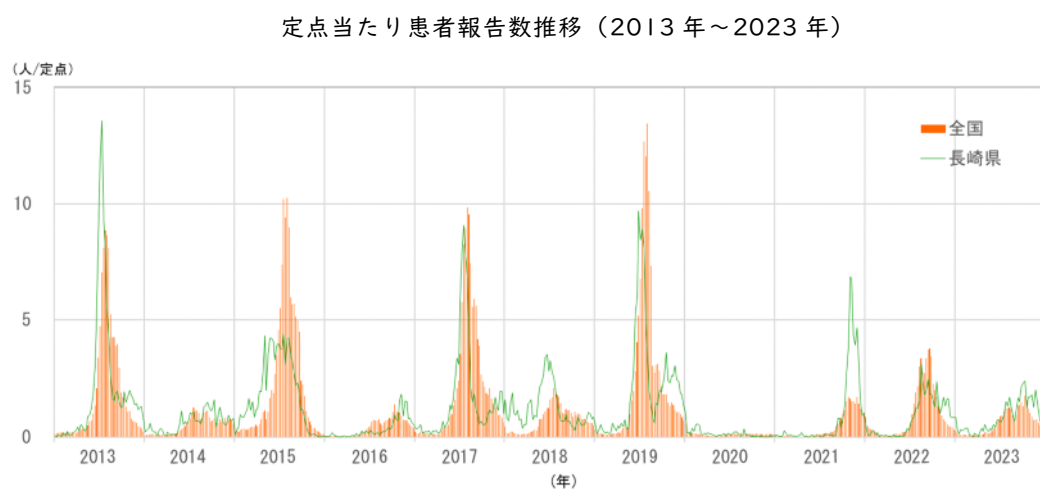
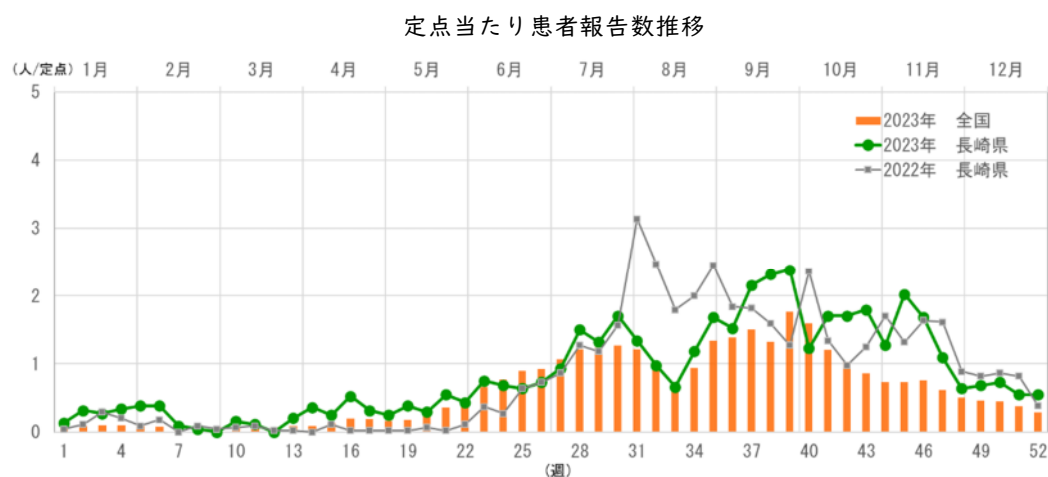
年齢階級別では、10～14歳が最も多かった。



(8) 手足口病

2023 年の年間患者報告数は 1,933 人で、前年 (1,890 人) より増加した。長崎県、全国ともに、7 月と 9 月に患者数の増加がみられた。12 月まで患者報告があったが、警報レベル基準値「6.0」を超えることはなかった。

年齢階級別では、1 歳が最も多く、2 歳以下で全体の 7 割を占めた。

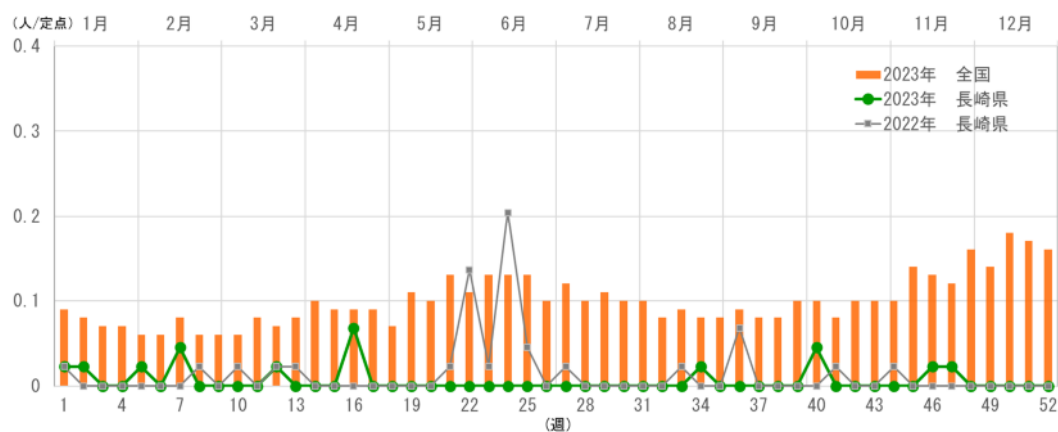


（９）伝染性紅斑

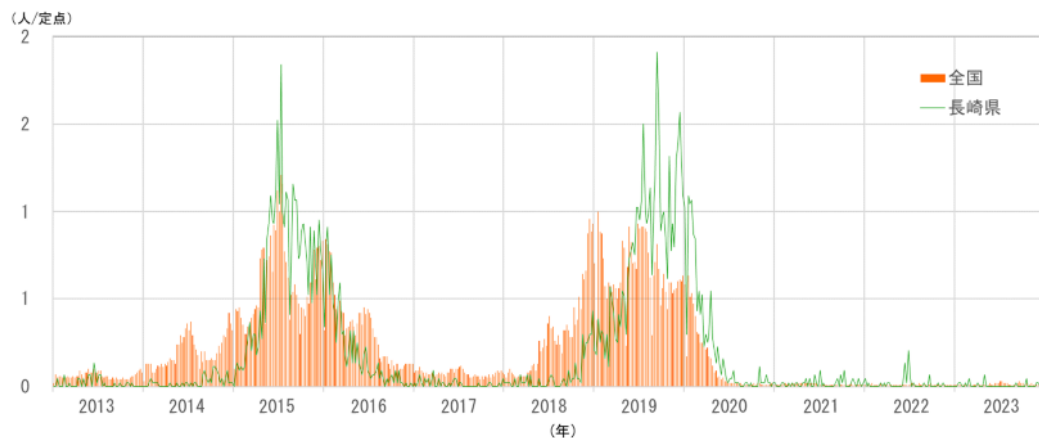
2023 年の年間患者報告数は 14 人で、前年（31 人）より減少した。県内、全国ともに年間を通して低い値で推移した。

年齢階級別では、4 歳が最も多かった。

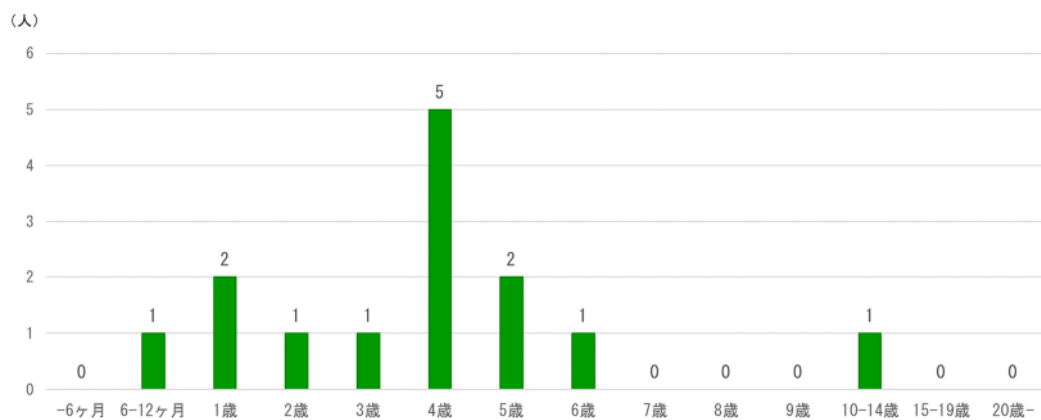
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）

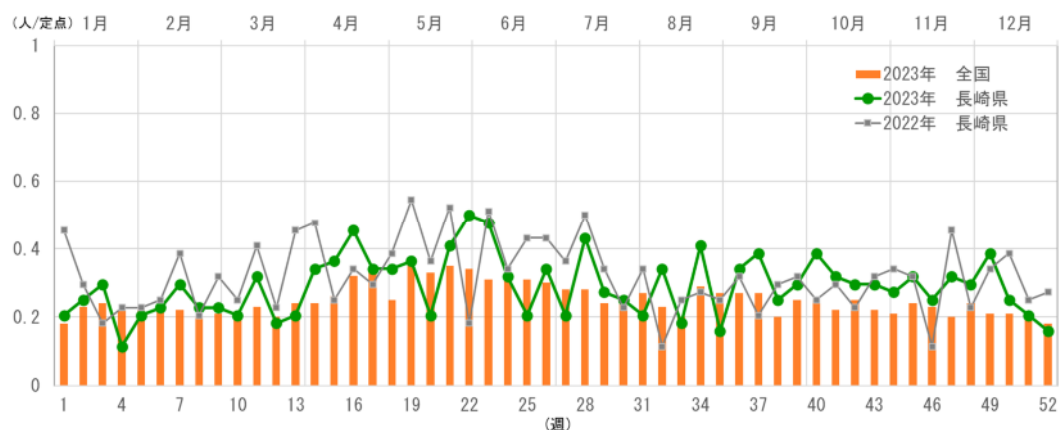


(10) 突発性発しん

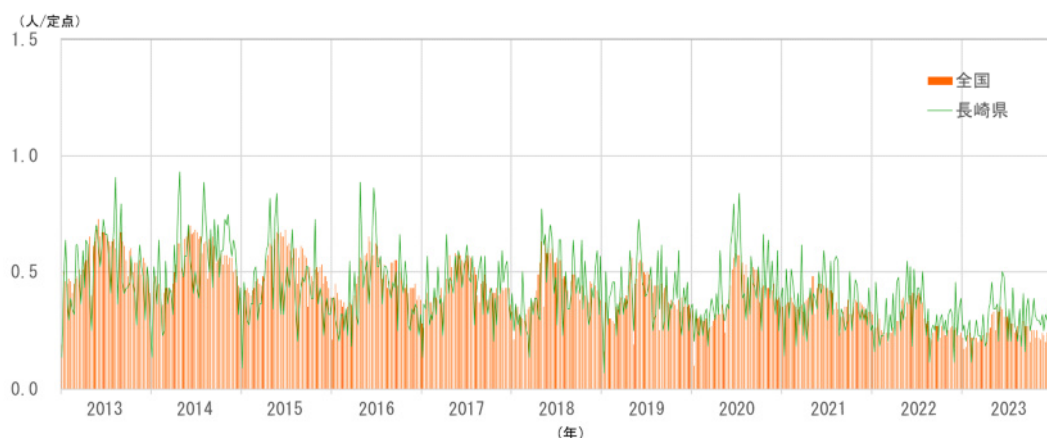
2023 年の年間患者報告数は 664 人で、前年（732 人）より減少した。年間を通じて増減を繰り返しながら推移した。

年齢階級別では、1 歳が最も多く約 6 割を占めた。

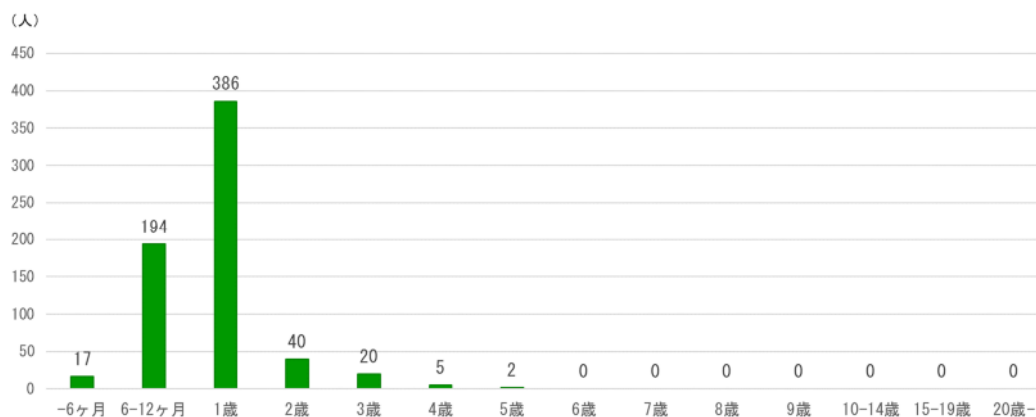
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）

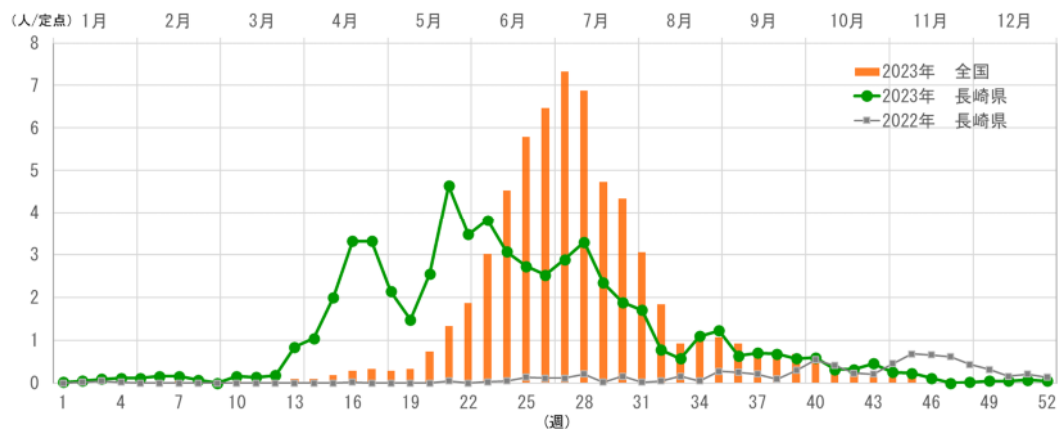


(11) ヘルパンギーナ

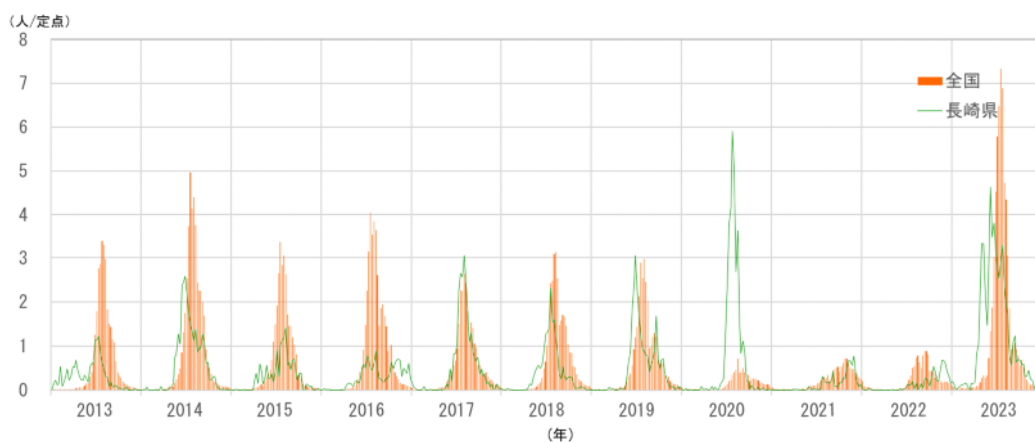
2023 年の年間患者報告数は 2,598 人で、前年（327 人）より大幅に増加した。県内では、全国より早い 4 月頃から報告数が増加し、過去 10 年で最多の報告数となった。全国では、警報レベル開始基準値「6.0」を超え大きな流行となった。

年齢階級別では、1 歳が最も多く、3 歳以下で約 7 割を占めた。

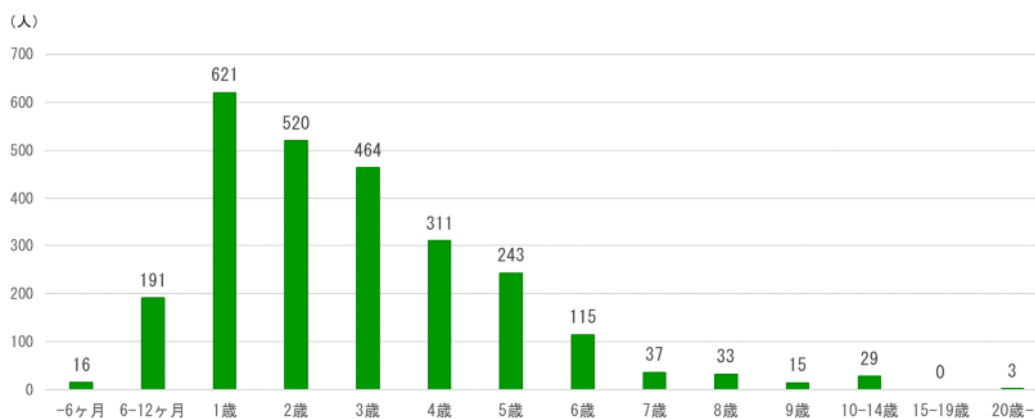
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



年齢階級別患者報告数（2023 年）

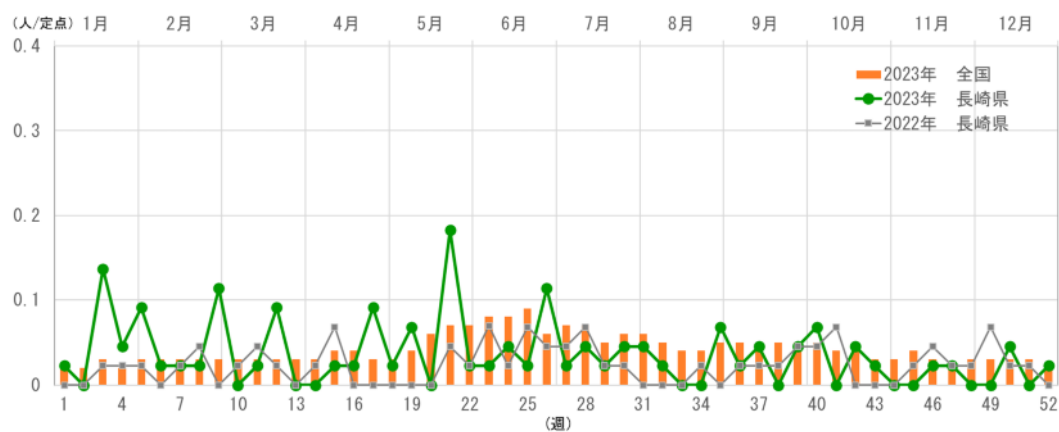


(12) 流行性耳下腺炎

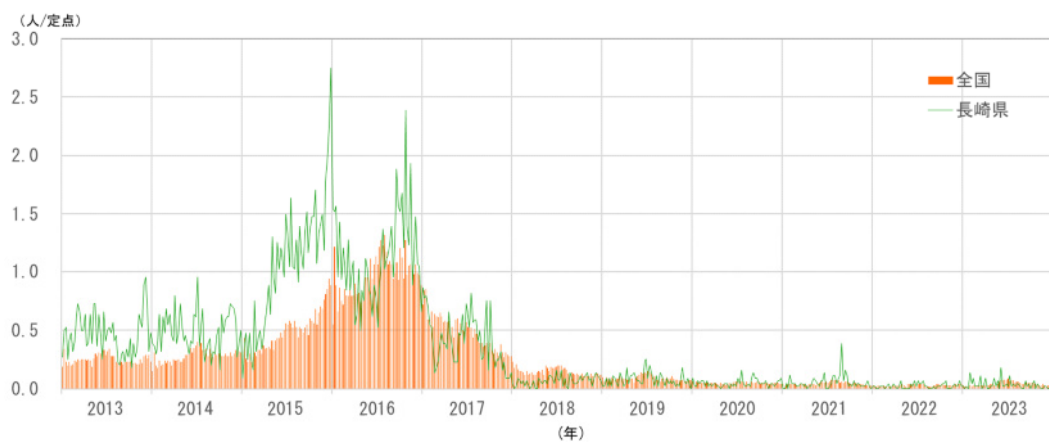
2023 年の年間患者報告数は 82 人で、前年（54 人）より増加した。年間を通じて概ね全国と同様、低い値で推移した。

年齢階級別では、6 か月から 10～14 歳までどの階級でも患者の報告があった。

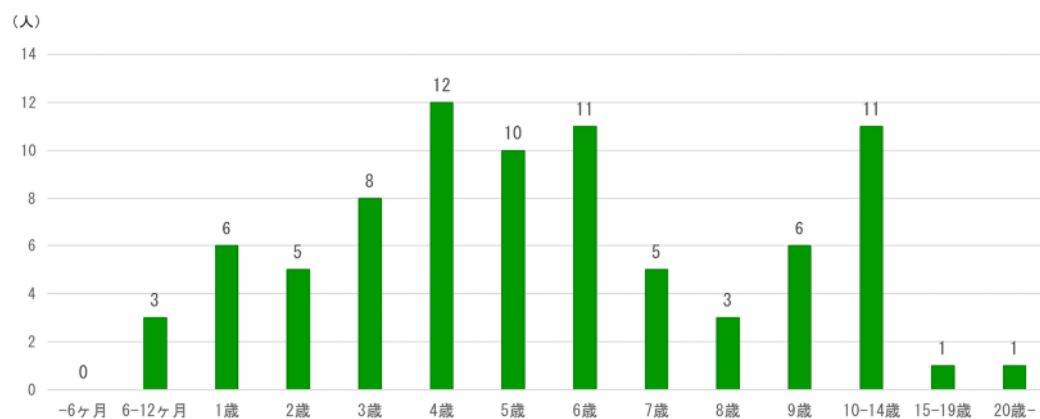
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



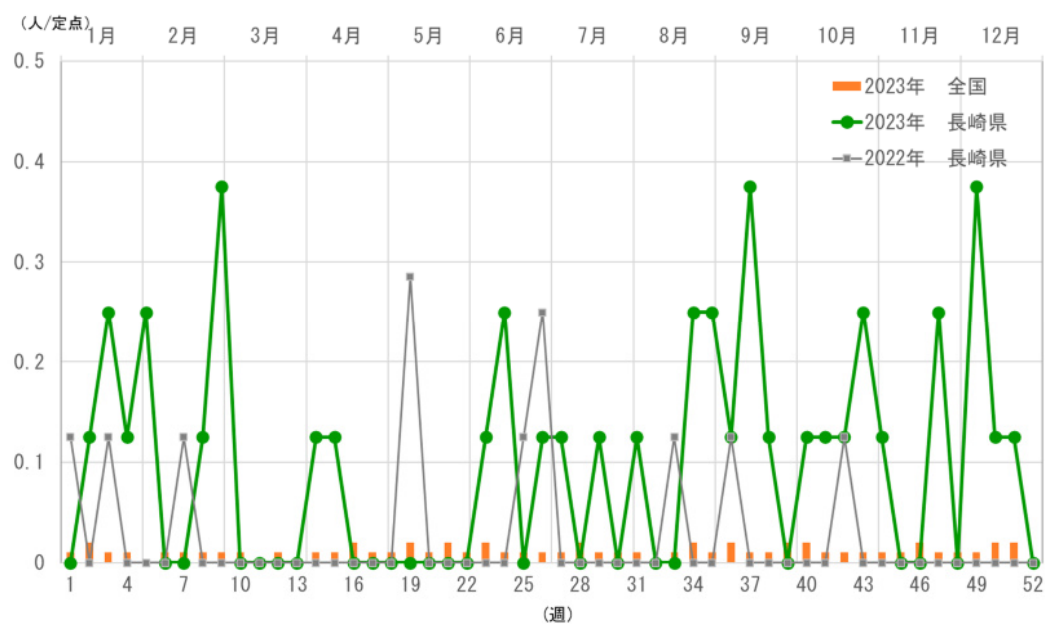
年齢階級別患者報告数（2023 年）



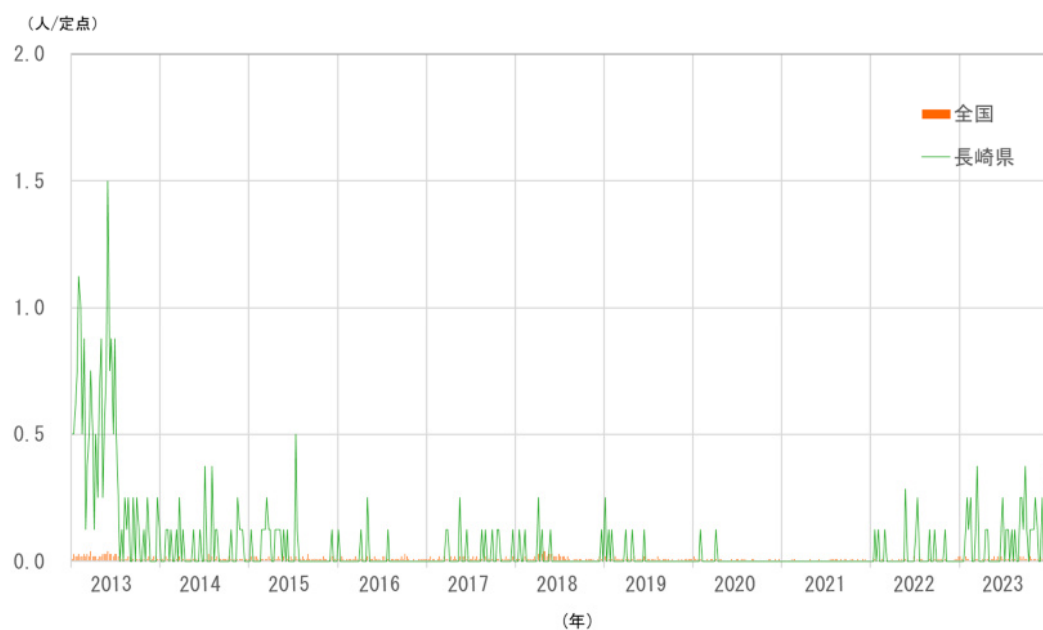
(13) 急性出血性結膜炎

2023 年の年間患者報告数は 41 人で、前年（11 人）より増加した。年間を通して、全国よりも高い値で推移した。約 8 割が県南保健所管内からの報告であった。

定点当たり患者報告数推移



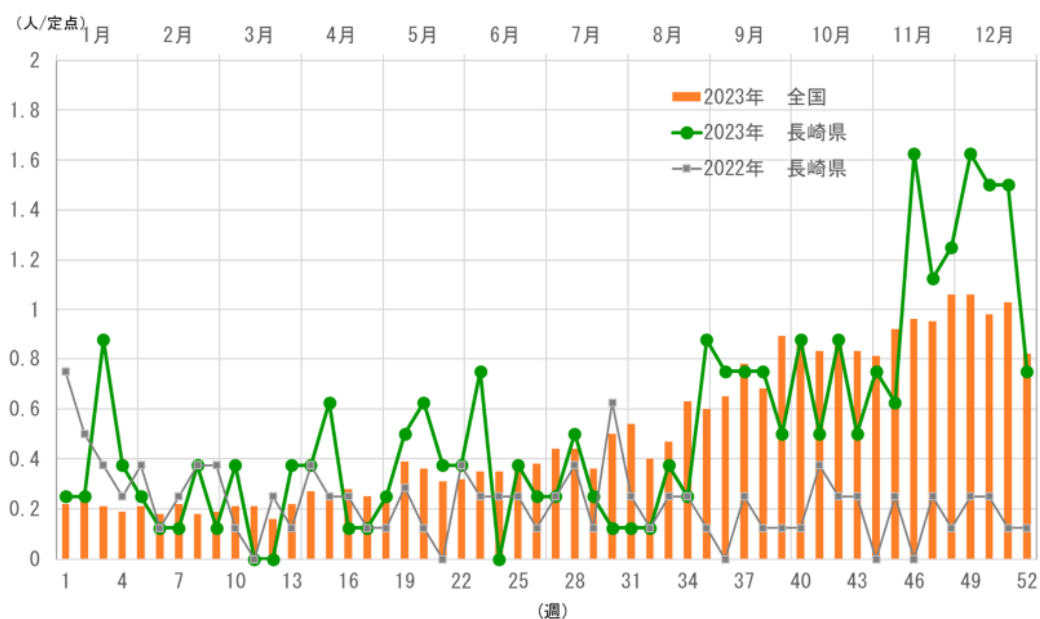
定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



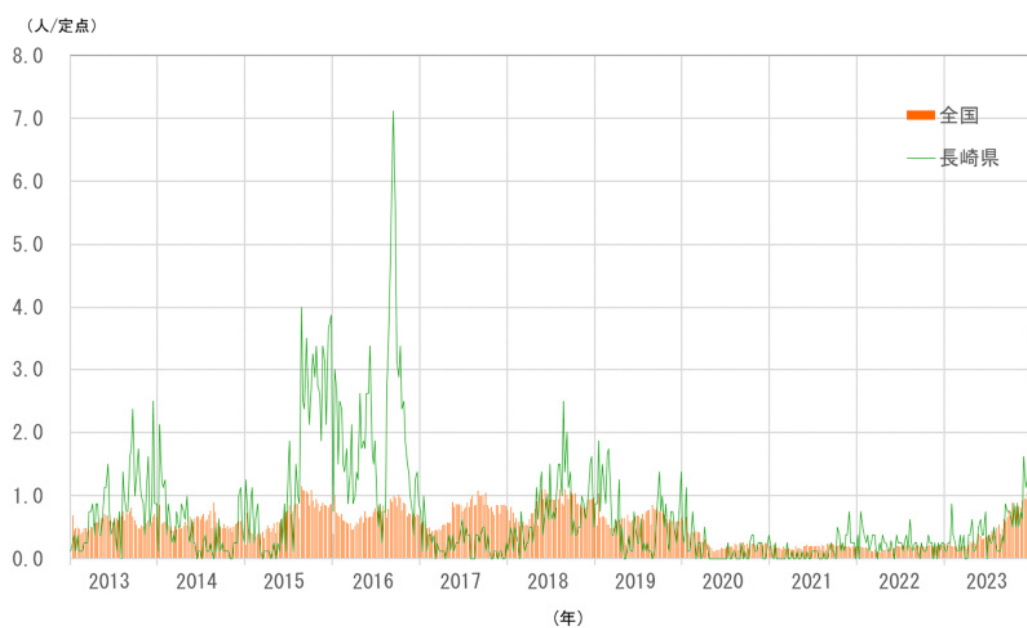
(14) 流行性角結膜炎

2023年の年間患者報告数は219人で、前年(96人)より大きく増加した。長崎県、全国ともに9月から報告数が増加した。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)

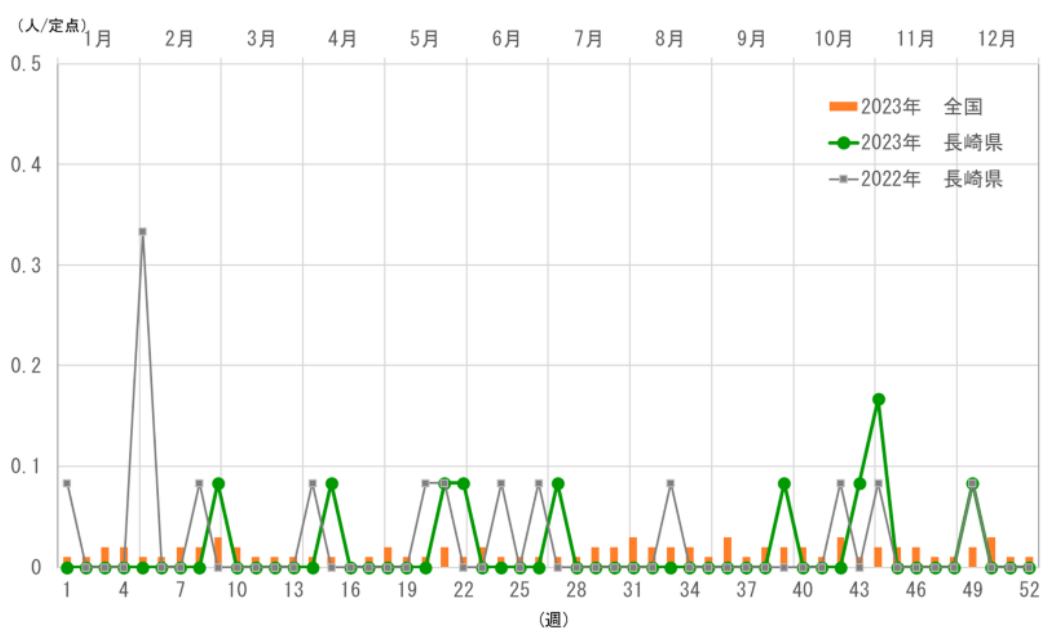


(15) 細菌性髄膜炎

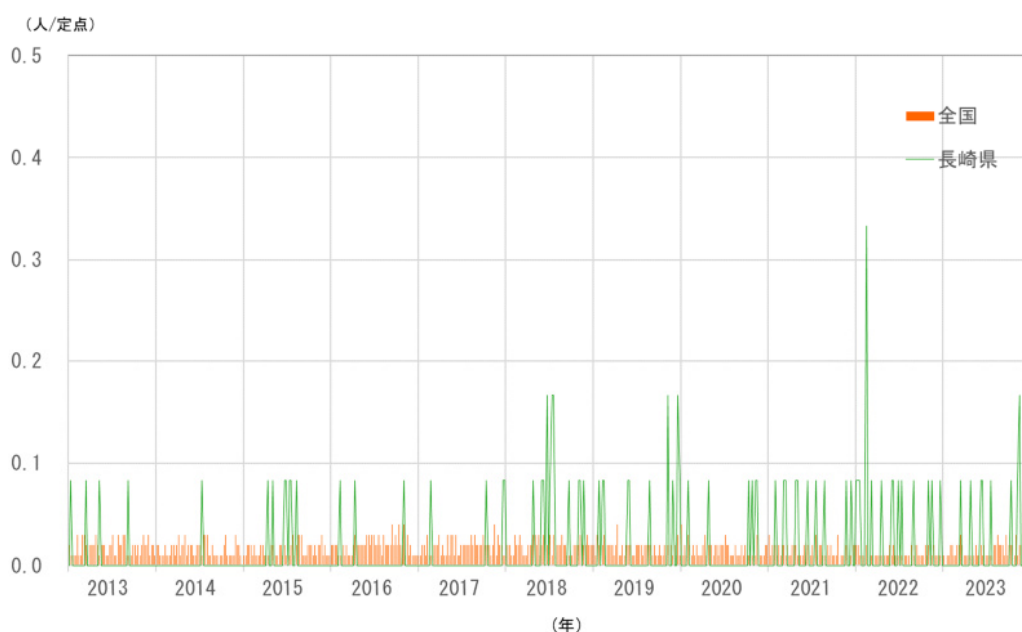
2023 年の年間患者報告数は 10 人で、前年 (15 人) より減少した。検査結果として、「大腸菌」、「B 群溶血性レンサ球菌」、「ノカルジア」、「*Staphylococcus epidermidis*」、「*Staphylococcus capitis*」、「*Streptococcus agalactiae*」が各 1 件報告された。

報告患者の年齢は、0～74 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013 年～2023 年)

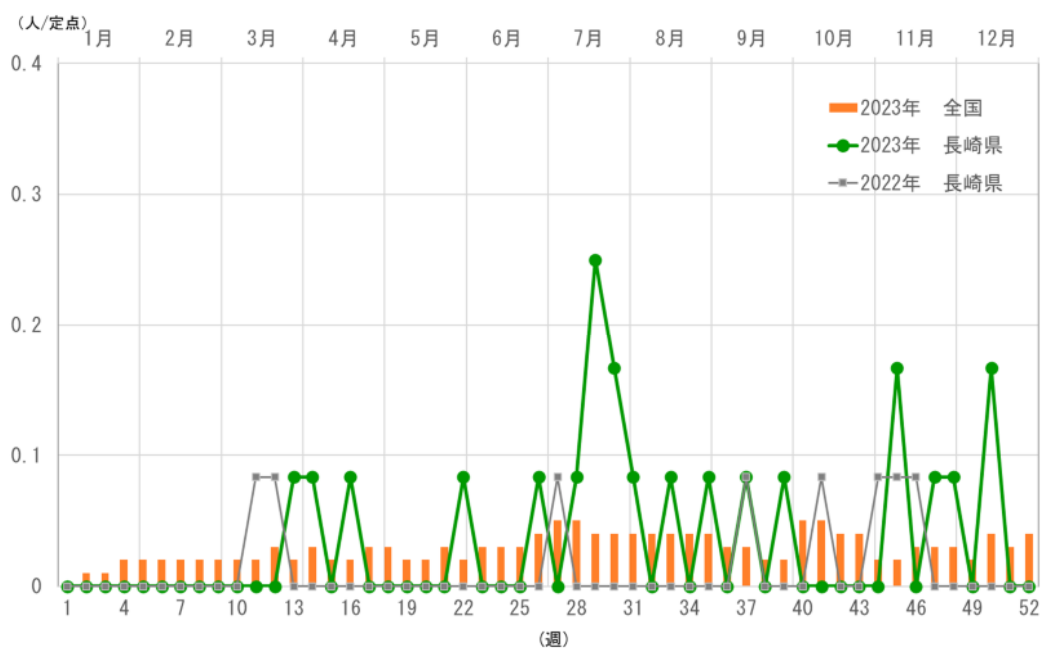


(16) 無菌性髄膜炎

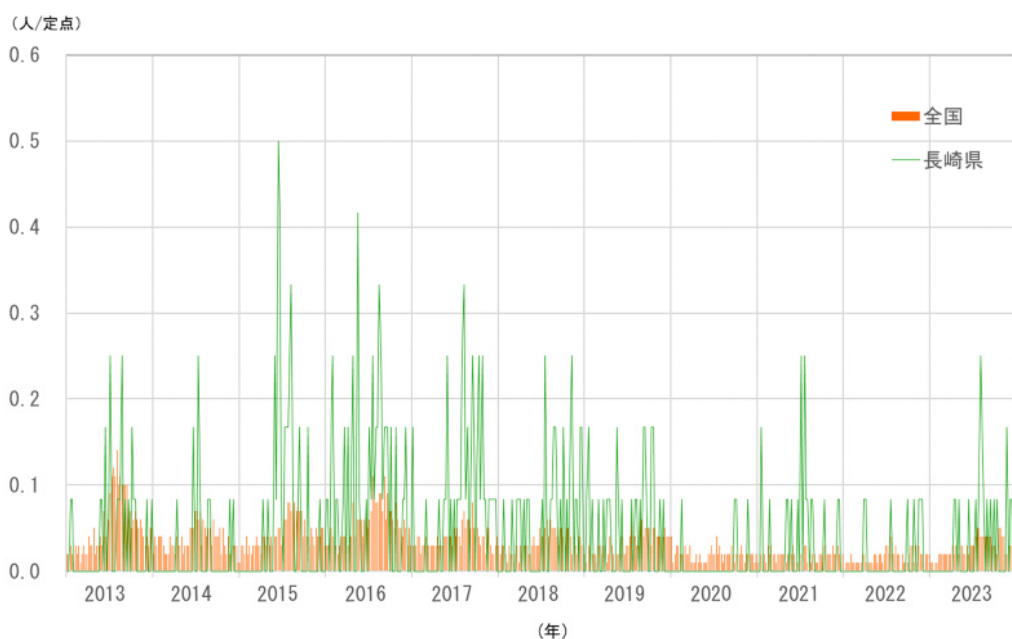
2023年の年間患者報告数は22人で、前年(8人)より増加した。本疾患の原因については、水痘・帯状疱疹ウイルスが4件、エンテロウイルスが2件、結核菌が1件検出され、その他については、検体から細菌が見出されないことによる「菌の不検出」であった。

報告のあった患者の年齢は、0～85歳であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)

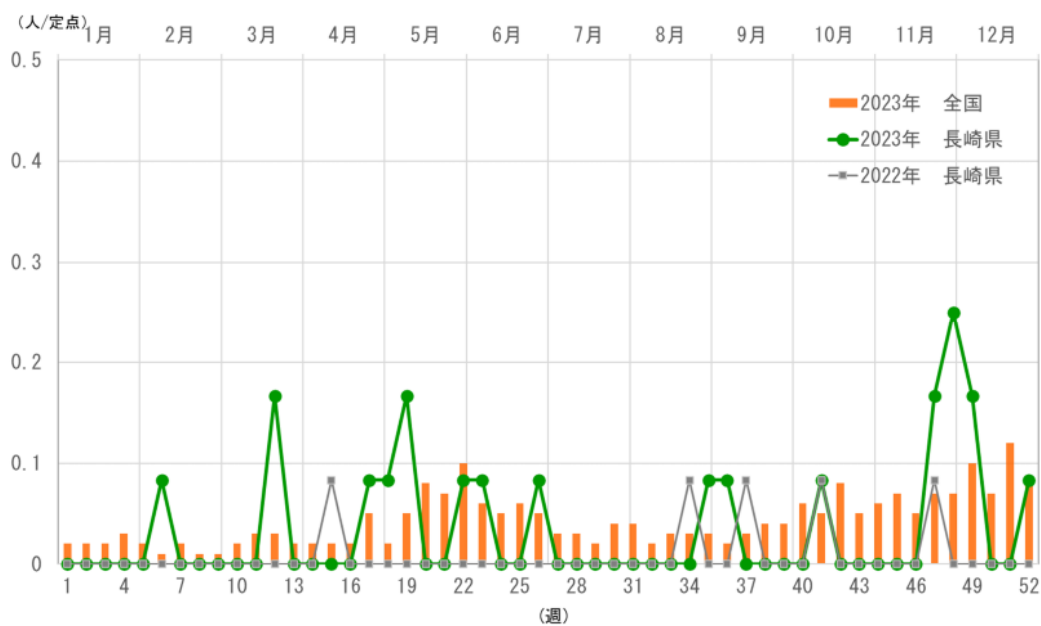


(17) マイコプラズマ肺炎

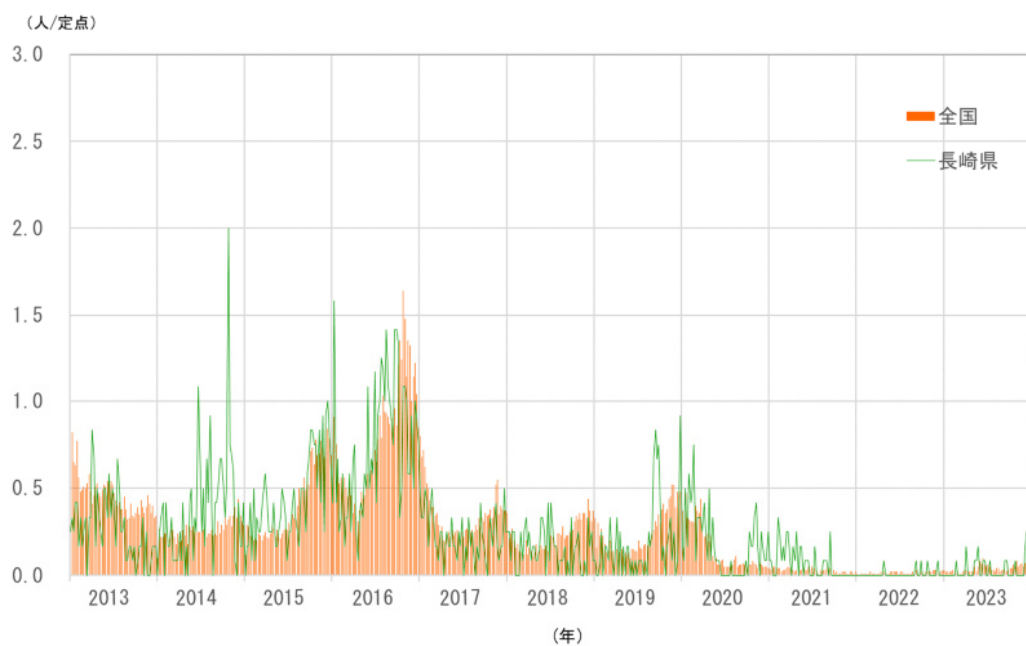
2023 年の年間患者報告数は 21 人で、前年（5 人）より増加した。2022 年に引き続き、年間を通じて低い値で推移した。

報告患者の年齢は、1～88 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



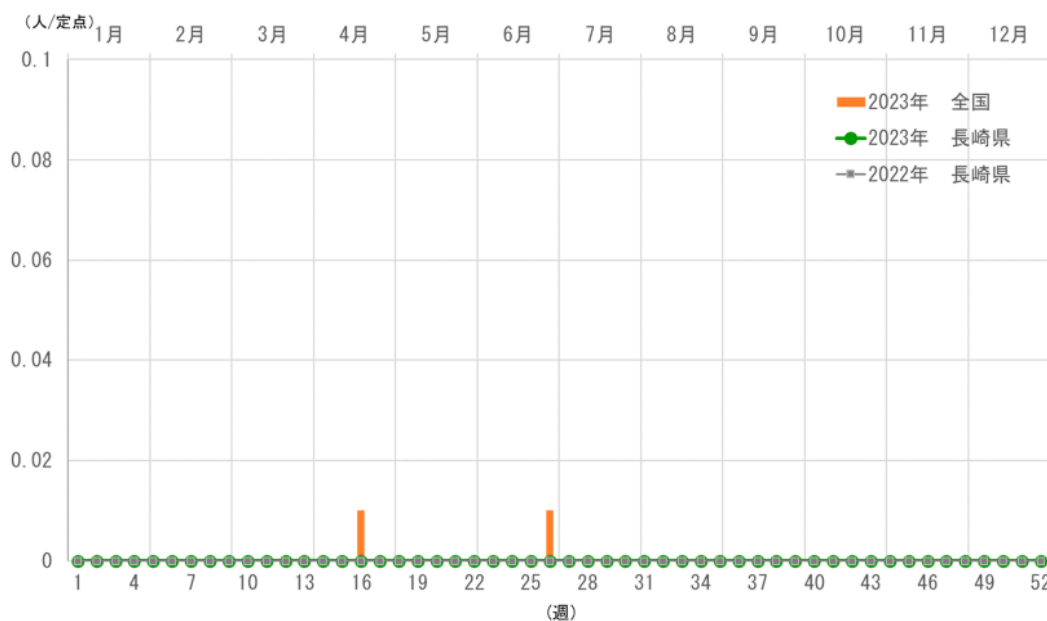
定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



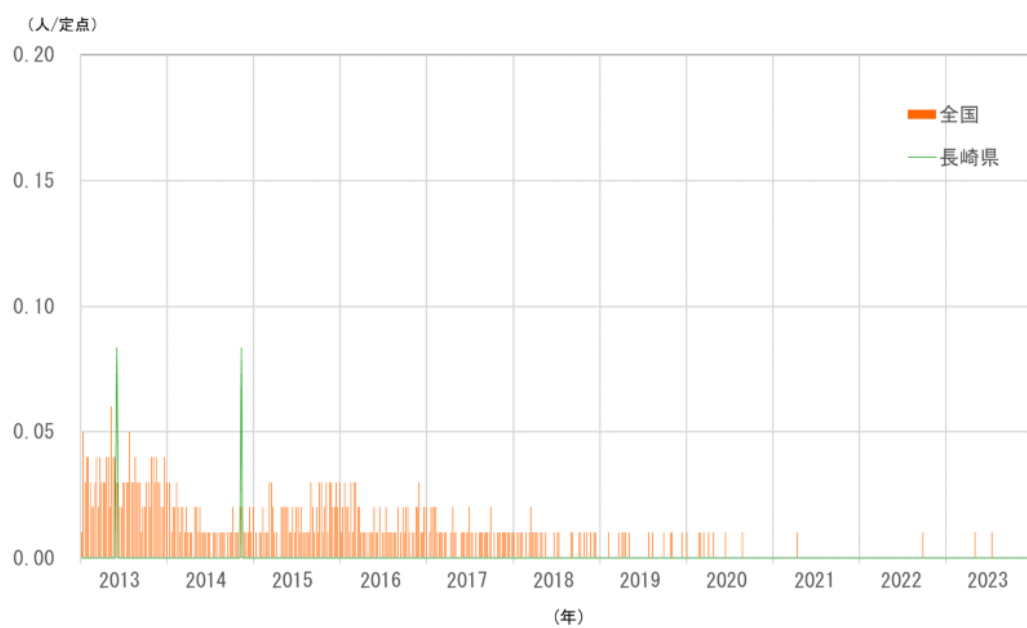
(18) クラミジア肺炎（オウム病は除く）

2023 年は患者の報告はなかった。全国でも年間報告数は 26 人で、定点当たり患者数 0～0.01 人と低い値で推移した。2015 年以降県内で患者は報告されていない。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）

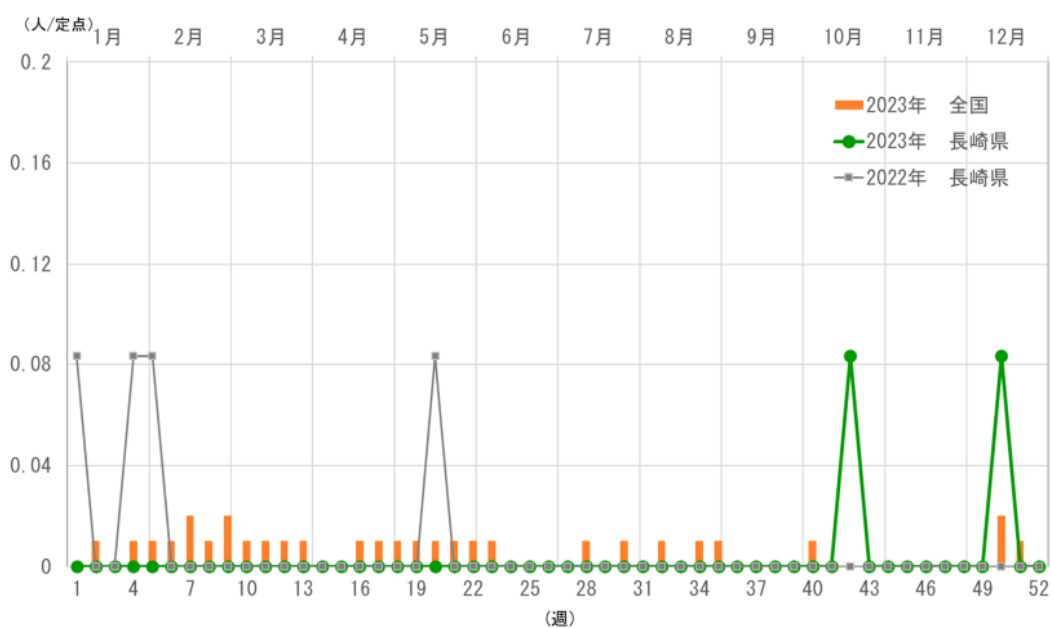


(19) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）

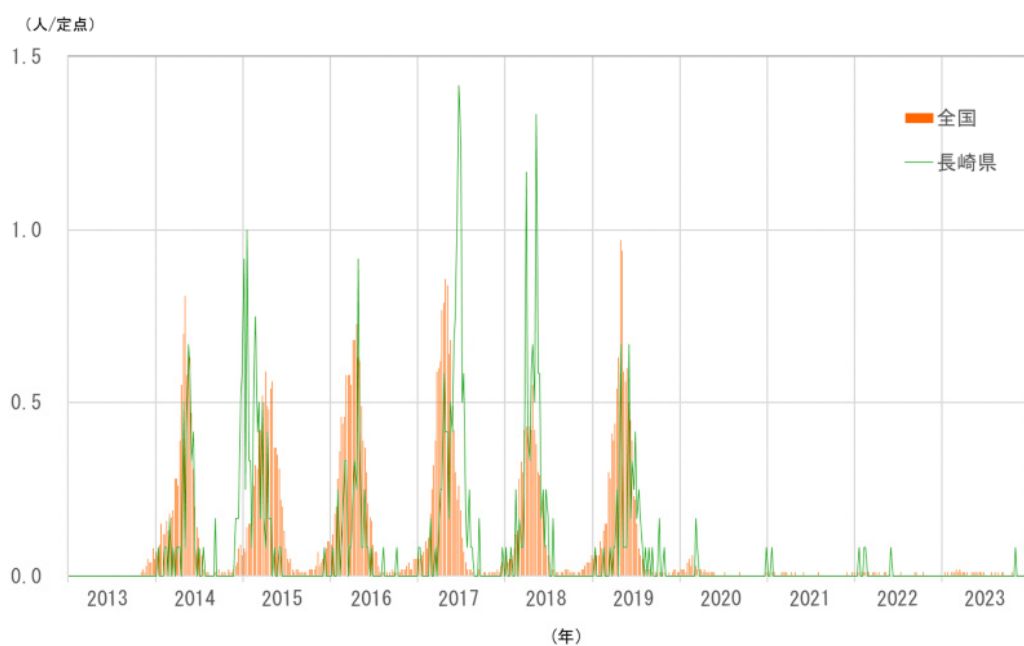
2023 年の年間患者報告数は 2 人で、前年（4 人）より減少した。全国の年間患者報告数は 152 人で、前年よりわずかに増加した。

報告患者の年齢は、0 歳および 1 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）

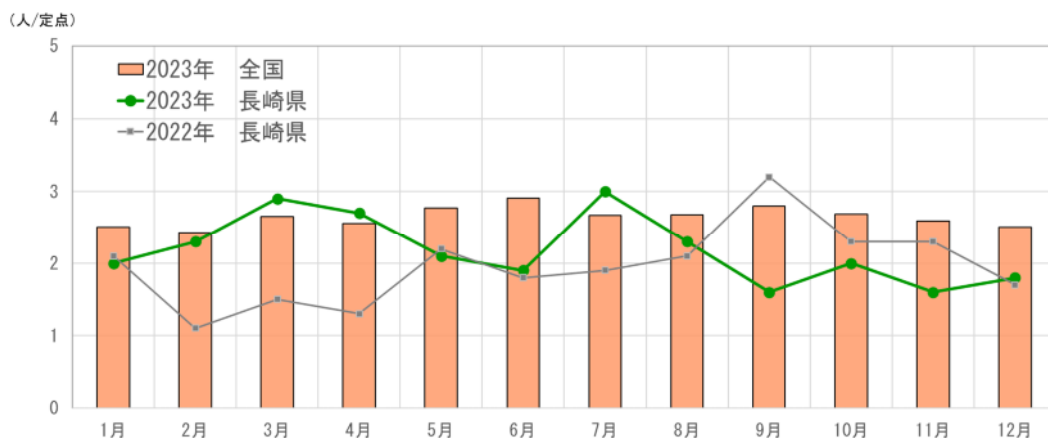


3 STD 定点報告の対象感染症

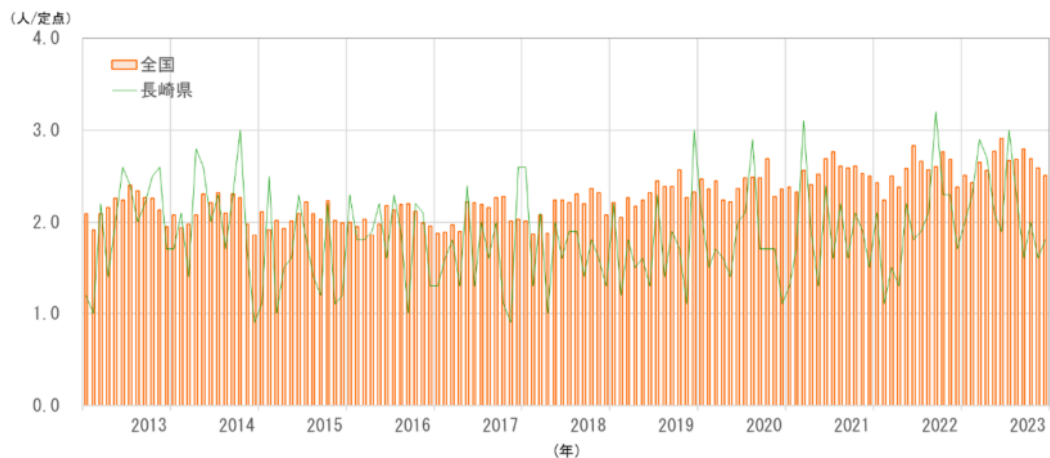
(1) 性器クラミジア感染症

2023年の年間患者報告数は262人で、前年(235人)より増加した。男女比は男性47.3%(124人)、女性52.7%(138人)と、女性の割合が多かった。年齢階級別では、20～24歳が最も多かった。

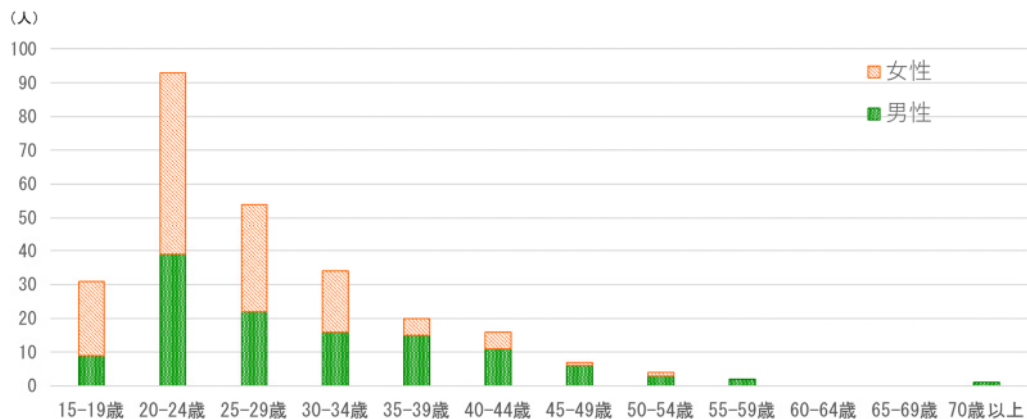
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)



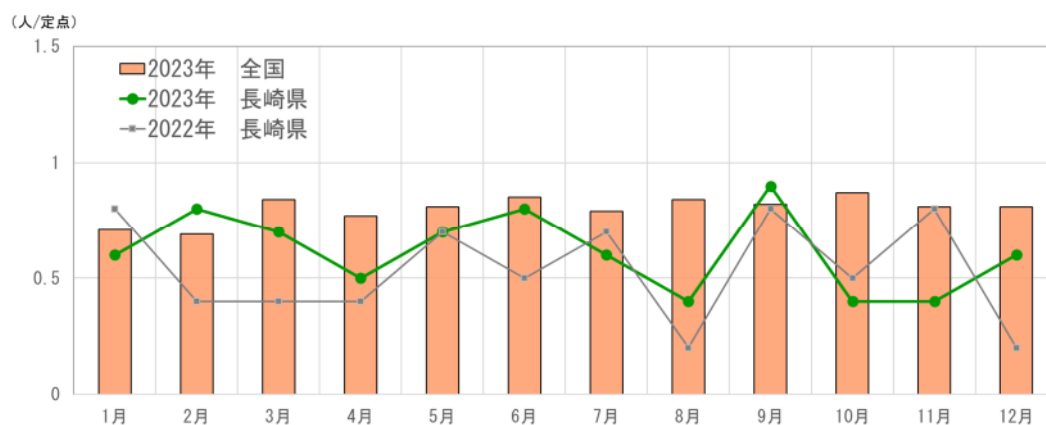
年齢階級別患者報告数 (2023年)



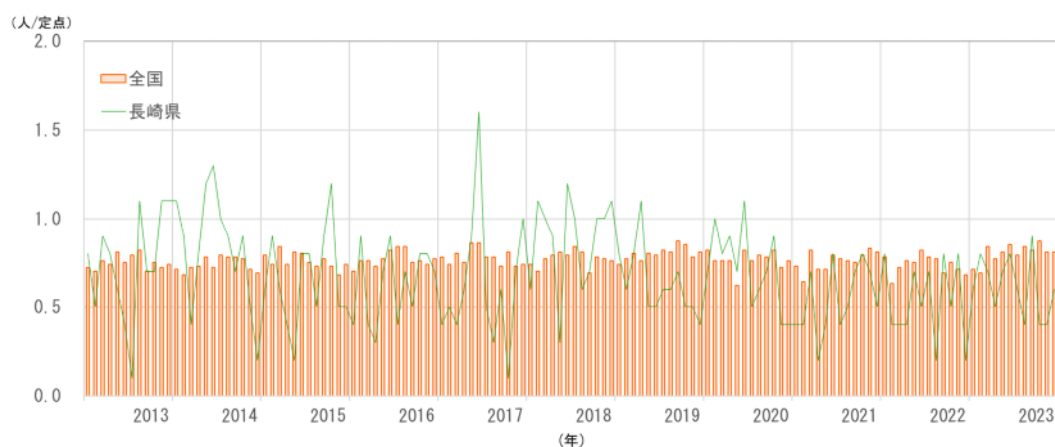
(2) 性器ヘルペスウイルス感染症

2023年の年間患者報告数は74人で、前年(64人)より増加した。男女比は男性12.2%(9人)、女性87.8%(65人)と、女性の割合が多かった。年齢階級別では、20～24歳が最も多かった。

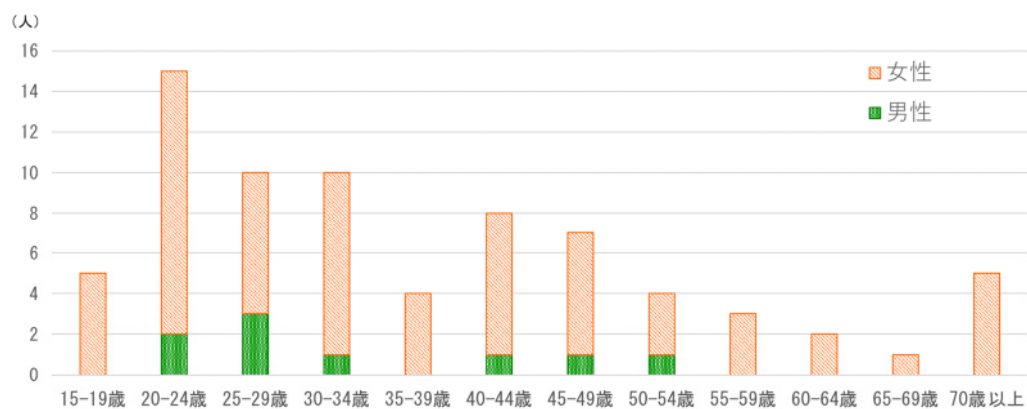
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)



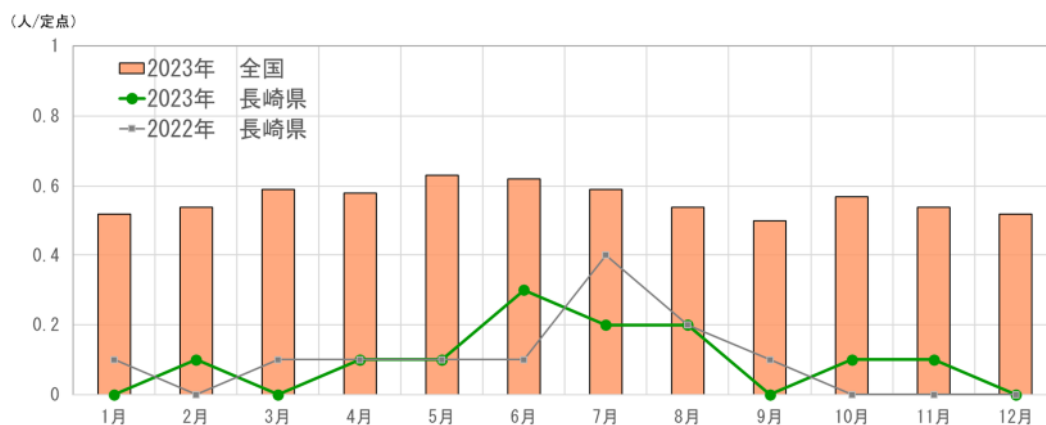
年齢階級別患者報告数 (2023年)



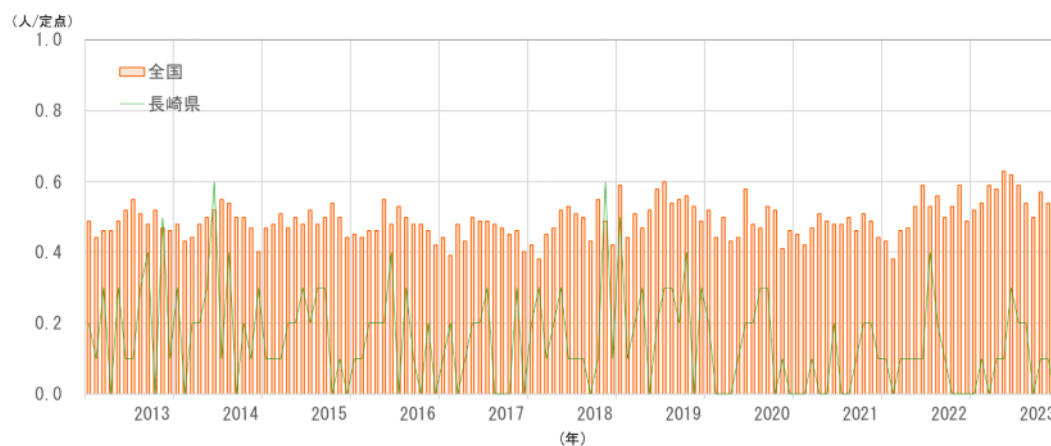
(3) 尖圭コンジローマ

2023年の年間患者報告数は12人で、前年(12人)と同数であった。男女比は男性16.7%(2人)、女性83.3%(10人)と、女性の割合が多かった。年齢階級別では、20～24歳が最も多かった。

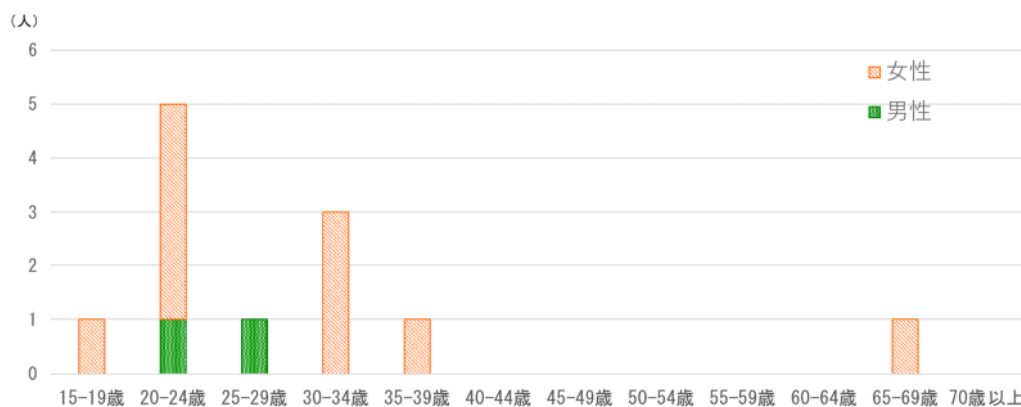
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移(2013年～2023年)



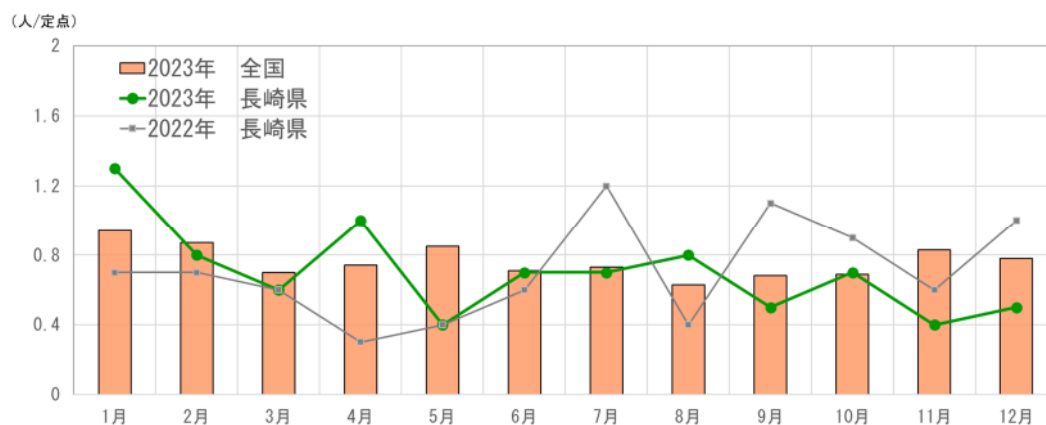
年齢階級別患者報告数(2023年)



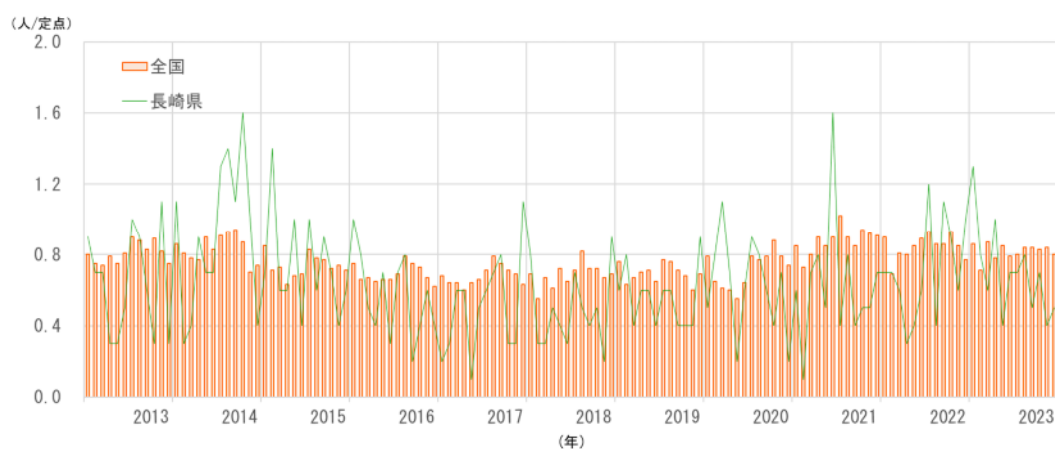
(4) 淋菌感染症

2023年の年間患者報告数は84人で、前年(85人)とほぼ同数であった。男女比は男性75.0%(63人)、女性25.0%(21人)と、男性の割合が多かった。年齢階級別では、20～24歳が最も多かった。

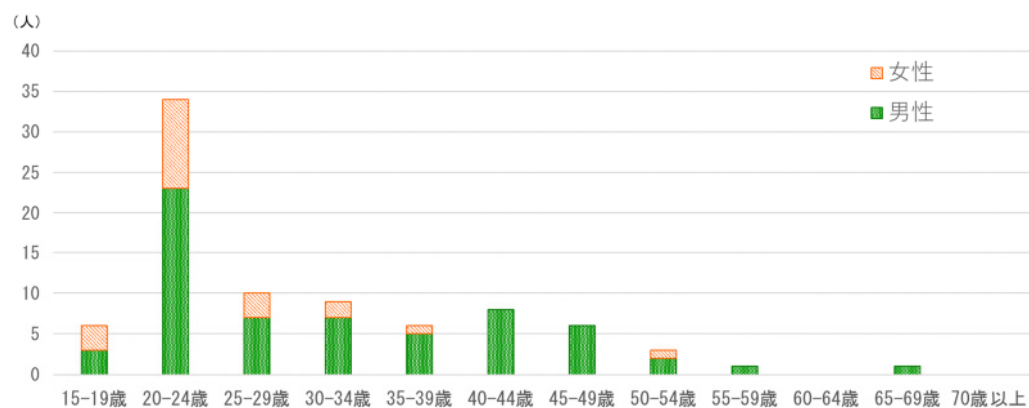
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)



年齢階級別患者報告数 (2023年)



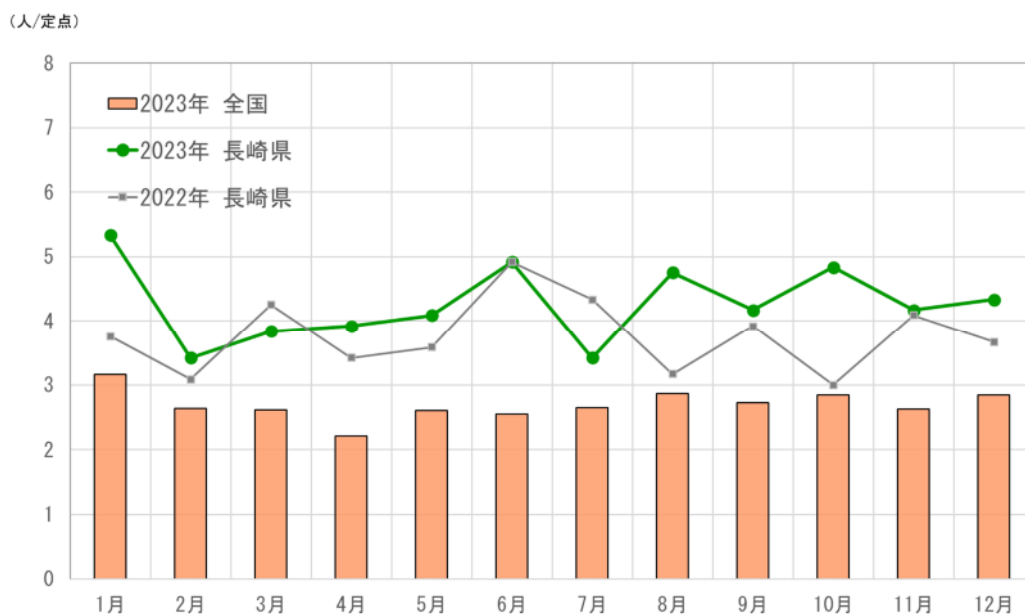
4 基幹定点報告の対象感染症

(1) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

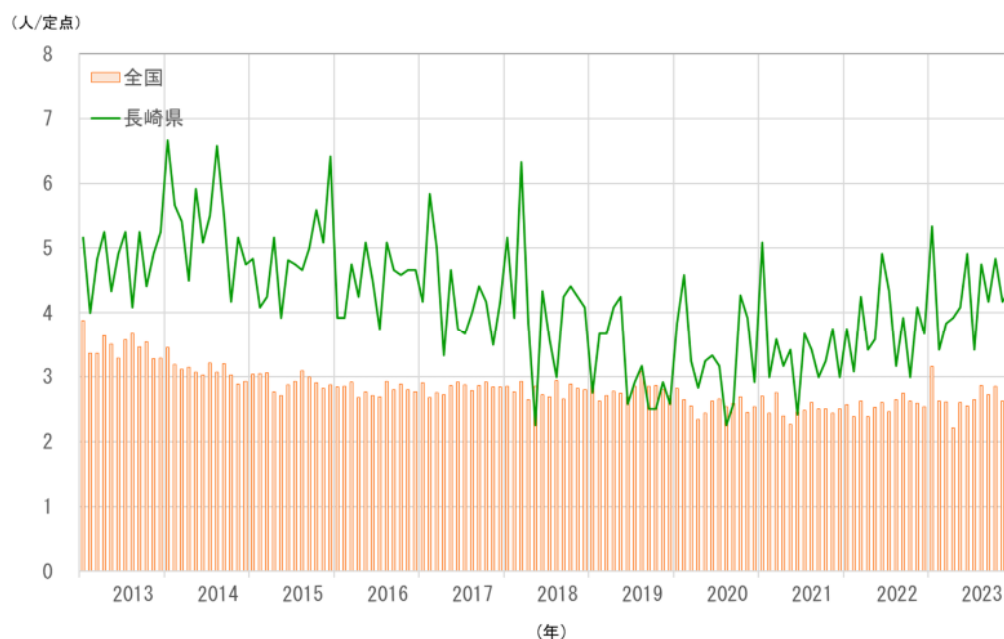
2023 年の年間患者報告数は 614 人で、前年（542 人）より増加した。年間を通して、全国より高い値で推移した。

過去 10 年をみると、全国平均を上回って推移し、2014 年をピークに減少傾向であったが、2020 年からは増加が続いている。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2013 年～2023 年）



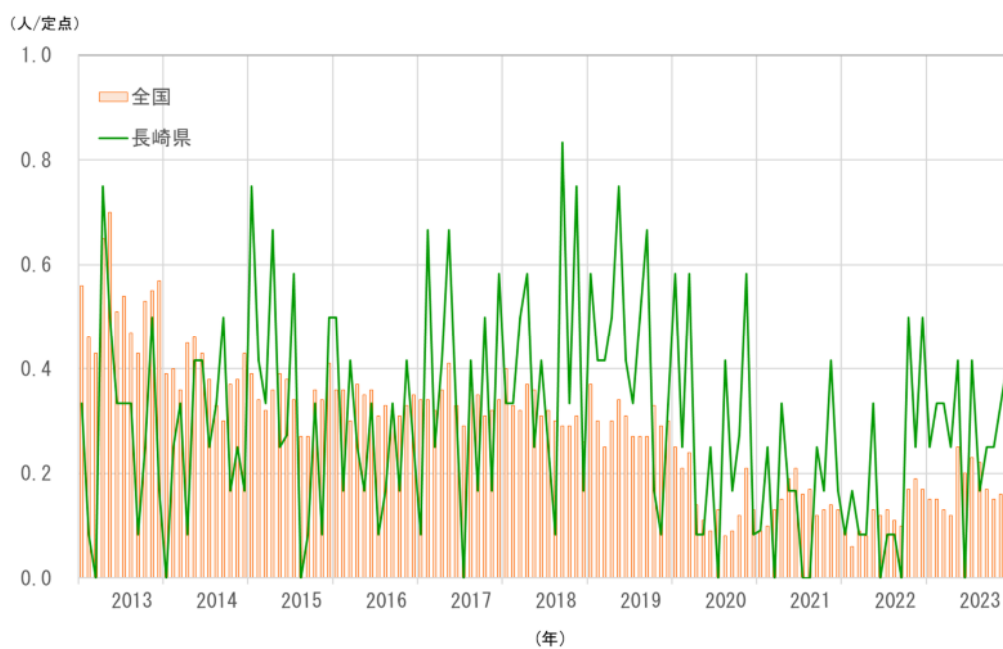
(2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2023年の年間患者報告数は41人で、前年(26人)より増加した。6月を除くすべての月で報告があった。

定点当たり患者報告数推移



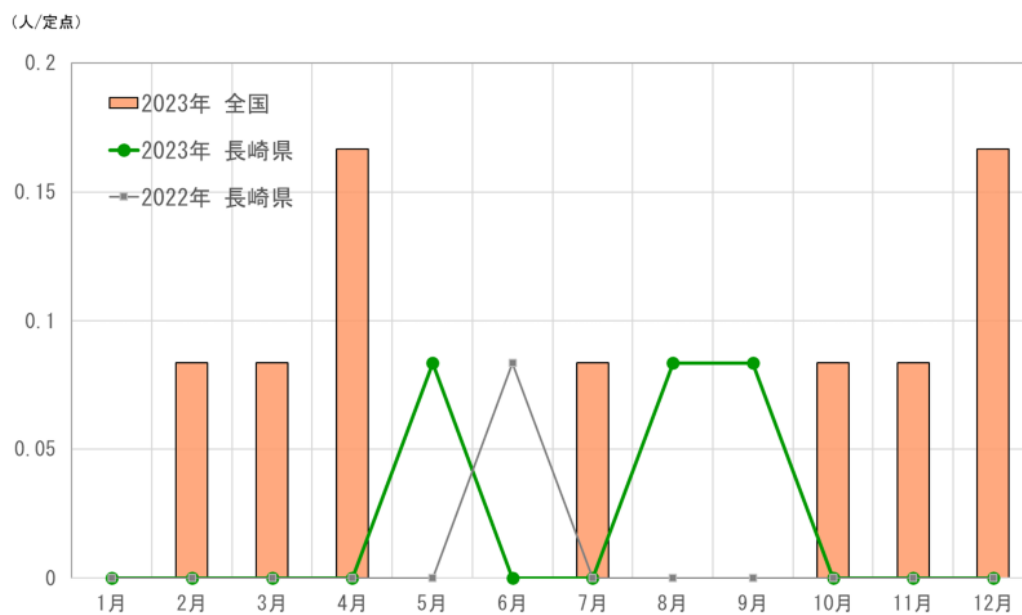
定点当たり患者報告数推移(2013年~2023年)



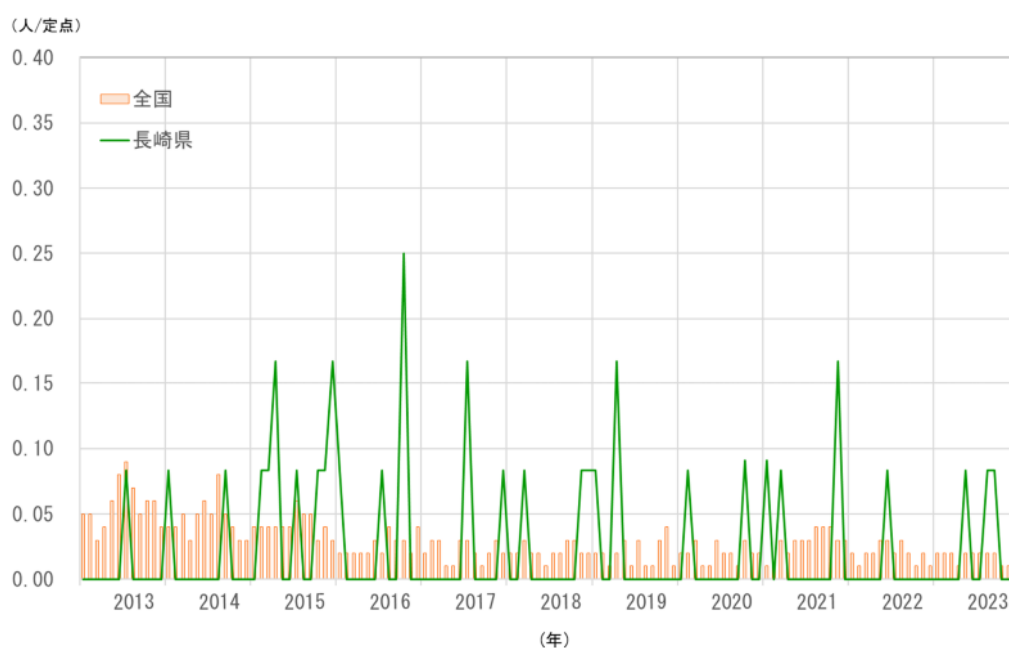
(3) 薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年の年間患者報告数は3人で、前年(1人)より多かった。5月、8月、9月に報告があった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2013年～2023年)



感染症週報（定点把握の感染症）推移表 患者報告数 長崎県（2023 年）

1/2

		定点数				疾患名								
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	インフル エンザ	新型コロナ ウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑
1	23.1.2-23.1.8	70	44	8	12	498	-	21	7	61	142	11	6	1
2	23.1.9-23.1.15	70	44	8	12	1,032	-	21	3	81	186	6	14	1
3	23.1.16-23.1.22	70	44	8	12	1,036	-	36	5	102	254	4	12	0
4	23.1.23-23.1.29	70	44	8	12	858	-	28	1	92	220	2	15	0
5	23.1.30-23.2.5	70	44	8	12	1,013	-	35	6	114	202	3	17	1
6	23.2.6-23.2.12	70	44	8	12	1,250	-	41	3	75	235	3	17	0
7	23.2.13-23.2.19	70	44	8	12	1,055	-	63	9	73	204	7	4	2
8	23.2.20-23.2.26	70	44	8	12	1,045	-	23	9	89	152	2	2	0
9	23.2.27-23.3.5	70	44	8	12	880	-	29	14	92	165	4	0	0
10	23.3.6-23.3.12	70	44	8	12	782	-	24	8	79	141	0	7	0
11	23.3.13-23.3.19	70	44	8	12	377	-	32	13	81	122	4	5	0
12	23.3.20-23.3.26	70	44	8	12	275	-	45	15	81	132	3	0	1
13	23.3.27-23.4.2	70	44	8	12	211	-	50	15	69	102	5	9	0
14	23.4.3-23.4.9	70	44	8	12	169	-	55	5	46	104	5	16	0
15	23.4.10-23.4.16	70	44	8	12	86	-	60	4	27	144	12	11	0
16	23.4.17-23.4.23	70	44	8	12	105	-	68	8	27	135	2	23	3
17	23.4.24-23.4.30	70	44	8	12	83	-	90	12	42	132	2	14	0
18	23.5.1-23.5.7	70	44	8	12	68	-	59	6	62	89	2	11	0
19	23.5.8-23.5.14	70	44	8	12	118	135	38	17	92	116	4	17	0
20	23.5.15-23.5.21	70	44	8	12	155	277	41	9	103	141	3	13	0
21	23.5.22-23.5.28	70	44	8	12	290	298	47	17	101	136	0	24	0
22	23.5.29-23.6.4	70	44	8	12	237	293	44	16	78	163	5	19	0
23	23.6.5-23.6.11	70	44	8	12	331	312	89	27	63	126	7	33	0
24	23.6.12-23.6.18	70	44	8	12	313	360	79	21	54	93	2	30	0
25	23.6.19-23.6.25	70	44	8	12	206	370	77	11	46	114	3	28	0
26	23.6.26-23.7.2	70	44	8	12	368	485	81	11	79	101	0	32	0
27	23.7.3-23.7.9	70	44	8	12	639	805	77	8	94	110	7	41	0
28	23.7.10-23.7.16	70	44	8	12	395	1,193	92	8	94	103	8	66	0
29	23.7.17-23.7.23	70	44	8	12	296	1,606	85	6	65	77	4	58	0
30	23.7.24-23.7.30	70	44	8	12	336	2,120	90	11	72	99	2	75	0
31	23.7.31-23.8.6	70	44	8	12	169	1,992	109	17	48	64	1	59	0
32	23.8.7-23.8.13	69	44	8	12	156	1,379	85	32	46	73	1	43	0
33	23.8.14-23.8.20	70	44	8	12	101	1,276	41	29	39	51	5	29	0
34	23.8.21-23.8.27	70	44	8	12	156	1,385	43	25	68	52	5	52	1
35	23.8.28-23.9.3	70	44	8	12	274	1,258	52	47	80	86	6	74	0
36	23.9.4-23.9.10	70	44	8	12	616	1,277	40	76	98	81	1	67	0
37	23.9.11-23.9.17	70	44	8	12	560	1,023	48	73	99	59	7	95	0
38	23.9.18-23.9.24	70	44	8	12	579	860	27	60	76	64	2	102	0
39	23.9.25-23.10.1	70	44	8	12	716	662	15	89	101	89	5	105	0
40	23.10.2-23.10.8	70	44	8	12	566	331	15	87	92	80	2	54	2
41	23.10.9-23.10.15	70	44	8	12	608	231	8	89	75	58	4	75	0
42	23.10.16-23.10.22	70	44	8	12	916	171	10	114	150	71	3	75	0
43	23.10.23-23.10.29	70	44	8	12	1,349	139	10	127	166	94	3	79	0
44	23.10.30-23.11.5	70	44	8	12	1,189	95	4	150	141	110	2	56	0
45	23.11.6-23.11.12	70	44	8	12	1,262	72	3	178	124	140	4	89	0
46	23.11.13-23.11.19	70	44	8	12	1,976	115	5	163	142	173	1	74	1
47	23.11.20-23.11.26	70	44	8	12	3,057	97	5	162	109	152	6	48	1
48	23.11.27-23.12.3	70	44	8	12	2,443	117	2	220	153	184	2	28	0
49	23.12.4-23.12.10	70	44	8	12	2,700	194	1	196	164	182	5	30	0
50	23.12.11-23.12.17	70	44	8	12	2,147	215	1	179	174	217	5	32	0
51	23.12.18-23.12.24	70	44	8	12	1,724	194	2	182	142	189	4	24	0
52	23.12.25-23.12.31	70	44	8	12	1,845	338	0	165	123	155	1	24	0
合 計						39,616	21,675	2,146	2,765	4,644	6,664	197	1,933	14

感染症週報（定点把握の感染症）推移表 患者報告数 長崎県（2023 年）

2/2

		定点数				疾患名									
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性胃腸 炎（ロタウ イルス）
1	23.1.2-23.1.8	70	44	8	12	9	1	1	0	2	0	0	0	0	0
2	23.1.9-23.1.15	70	44	8	12	11	2	0	1	2	0	0	0	0	0
3	23.1.16-23.1.22	70	44	8	12	13	4	6	2	7	0	0	0	0	0
4	23.1.23-23.1.29	70	44	8	12	5	5	2	1	3	0	0	0	0	0
5	23.1.30-23.2.5	70	44	8	12	9	5	4	2	2	0	0	0	0	0
6	23.2.6-23.2.12	70	44	8	12	10	7	1	0	1	0	0	1	0	0
7	23.2.13-23.2.19	70	44	8	12	13	7	1	0	1	0	0	0	0	0
8	23.2.20-23.2.26	70	44	8	12	10	3	1	1	3	0	0	0	0	0
9	23.2.27-23.3.5	70	44	8	12	10	0	5	3	1	1	0	0	0	0
10	23.3.6-23.3.12	70	44	8	12	9	7	0	0	3	0	0	0	0	0
11	23.3.13-23.3.19	70	44	8	12	14	6	1	0	0	0	0	0	0	0
12	23.3.20-23.3.26	70	44	8	12	8	8	4	0	0	0	0	2	0	0
13	23.3.27-23.4.2	70	44	8	12	9	37	0	0	3	0	1	0	0	0
14	23.4.3-23.4.9	70	44	8	12	15	46	0	1	3	0	1	0	0	0
15	23.4.10-23.4.16	70	44	8	12	16	88	1	1	5	1	0	0	0	0
16	23.4.17-23.4.23	70	44	8	12	20	146	1	0	1	0	1	0	0	0
17	23.4.24-23.4.30	70	44	8	12	15	146	4	0	1	0	0	1	0	0
18	23.5.1-23.5.7	70	44	8	12	15	94	1	0	2	0	0	1	0	0
19	23.5.8-23.5.14	70	44	8	12	16	65	3	0	4	0	0	2	0	0
20	23.5.15-23.5.21	70	44	8	12	9	112	0	0	5	0	0	0	0	0
21	23.5.22-23.5.28	70	44	8	12	18	204	8	0	3	1	0	0	0	0
22	23.5.29-23.6.4	70	44	8	12	22	153	1	0	3	1	1	1	0	0
23	23.6.5-23.6.11	70	44	8	12	21	168	1	1	6	0	0	1	0	0
24	23.6.12-23.6.18	70	44	8	12	14	135	2	2	0	0	0	0	0	0
25	23.6.19-23.6.25	70	44	8	12	9	120	1	0	3	0	0	0	0	0
26	23.6.26-23.7.2	70	44	8	12	15	111	5	1	2	0	1	1	0	0
27	23.7.3-23.7.9	70	44	8	12	9	127	1	1	2	1	0	0	0	0
28	23.7.10-23.7.16	70	44	8	12	19	145	2	0	4	0	1	0	0	0
29	23.7.17-23.7.23	70	44	8	12	12	103	1	1	2	0	3	0	0	0
30	23.7.24-23.7.30	70	44	8	12	11	83	2	0	1	0	2	0	0	0
31	23.7.31-23.8.6	70	44	8	12	9	75	2	1	1	0	1	0	0	0
32	23.8.7-23.8.13	69	44	8	12	15	34	1	0	1	0	0	0	0	0
33	23.8.14-23.8.20	70	44	8	12	8	25	0	0	3	0	1	0	0	0
34	23.8.21-23.8.27	70	44	8	12	18	48	0	2	2	0	0	0	0	0
35	23.8.28-23.9.3	70	44	8	12	7	54	3	2	7	0	1	1	0	0
36	23.9.4-23.9.10	70	44	8	12	15	28	1	1	6	0	0	1	0	0
37	23.9.11-23.9.17	70	44	8	12	17	31	2	3	6	0	1	0	0	0
38	23.9.18-23.9.24	70	44	8	12	11	30	0	1	6	0	0	0	0	0
39	23.9.25-23.10.1	70	44	8	12	13	25	2	0	4	1	1	0	0	0
40	23.10.2-23.10.8	70	44	8	12	17	26	3	1	7	0	0	0	0	0
41	23.10.9-23.10.15	70	44	8	12	14	14	0	1	4	0	0	1	0	0
42	23.10.16-23.10.22	70	44	8	12	13	14	2	1	7	0	0	0	0	1
43	23.10.23-23.10.29	70	44	8	12	13	20	1	2	4	1	0	0	0	0
44	23.10.30-23.11.5	70	44	8	12	12	11	0	1	6	2	0	0	0	0
45	23.11.6-23.11.12	70	44	8	12	14	10	0	0	5	0	2	0	0	0
46	23.11.13-23.11.19	70	44	8	12	11	5	1	0	13	0	0	0	0	0
47	23.11.20-23.11.26	70	44	8	12	14	0	1	2	9	0	1	2	0	0
48	23.11.27-23.12.3	70	44	8	12	13	1	0	0	10	0	1	3	0	0
49	23.12.4-23.12.10	70	44	8	12	17	2	0	3	13	1	0	2	0	0
50	23.12.11-23.12.17	70	44	8	12	11	2	2	1	12	0	2	0	0	1
51	23.12.18-23.12.24	70	44	8	12	9	3	0	1	12	0	0	0	0	0
52	23.12.25-23.12.31	70	44	8	12	7	2	1	0	6	0	0	1	0	0
合 計						664	2,598	82	41	219	10	22	21	0	2

感染症週報（定点把握の感染症）推移表 定点あたり患者報告数 長崎県（2023年）

1/2

		定点数				疾患名								
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	インフル エンザ	新型コロナ ウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑
1	23.1.2-23.1.8	70	44	8	12	7.11		0.48	0.16	1.39	3.23	0.25	0.14	0.02
2	23.1.9-23.1.15	70	44	8	12	14.74		0.48	0.07	1.84	4.23	0.14	0.32	0.02
3	23.1.16-23.1.22	70	44	8	12	14.80		0.82	0.11	2.32	5.77	0.09	0.27	0.00
4	23.1.23-23.1.29	70	44	8	12	12.26		0.64	0.02	2.09	5.00	0.05	0.34	0.00
5	23.1.30-23.2.5	70	44	8	12	14.47		0.80	0.14	2.59	4.59	0.07	0.39	0.02
6	23.2.6-23.2.12	70	44	8	12	17.86		0.93	0.07	1.70	5.34	0.07	0.39	0.00
7	23.2.13-23.2.19	70	44	8	12	15.07		1.43	0.20	1.66	4.64	0.16	0.09	0.05
8	23.2.20-23.2.26	70	44	8	12	14.93		0.52	0.20	2.02	3.45	0.05	0.05	0.00
9	23.2.27-23.3.5	70	44	8	12	12.57		0.66	0.32	2.09	3.75	0.09	0.00	0.00
10	23.3.6-23.3.12	70	44	8	12	11.17		0.55	0.18	1.80	3.20	0.00	0.16	0.00
11	23.3.13-23.3.19	70	44	8	12	5.39		0.73	0.30	1.84	2.77	0.09	0.11	0.00
12	23.3.20-23.3.26	70	44	8	12	3.93		1.02	0.34	1.84	3.00	0.07	0.00	0.02
13	23.3.27-23.4.2	70	44	8	12	3.01		1.14	0.34	1.57	2.32	0.11	0.20	0.00
14	23.4.3-23.4.9	70	44	8	12	2.41		1.25	0.11	1.05	2.36	0.11	0.36	0.00
15	23.4.10-23.4.16	70	44	8	12	1.23		1.36	0.09	0.61	3.27	0.27	0.25	0.00
16	23.4.17-23.4.23	70	44	8	12	1.50		1.55	0.18	0.61	3.07	0.05	0.52	0.07
17	23.4.24-23.4.30	70	44	8	12	1.19		2.05	0.27	0.95	3.00	0.05	0.32	0.00
18	23.5.1-23.5.7	70	44	8	12	0.97		1.34	0.14	1.41	2.02	0.05	0.25	0.00
19	23.5.8-23.5.14	70	44	8	12	1.69	1.93	0.86	0.39	2.09	2.64	0.09	0.39	0.00
20	23.5.15-23.5.21	70	44	8	12	2.21	3.96	0.93	0.20	2.34	3.20	0.07	0.30	0.00
21	23.5.22-23.5.28	70	44	8	12	4.14	4.26	1.07	0.39	2.30	3.09	0.00	0.55	0.00
22	23.5.29-23.6.4	70	44	8	12	3.39	4.19	1.00	0.36	1.77	3.70	0.11	0.43	0.00
23	23.6.5-23.6.11	70	44	8	12	4.73	4.46	2.02	0.61	1.43	2.86	0.16	0.75	0.00
24	23.6.12-23.6.18	70	44	8	12	4.47	5.14	1.80	0.48	1.23	2.11	0.05	0.68	0.00
25	23.6.19-23.6.25	70	44	8	12	2.94	5.29	1.75	0.25	1.05	2.59	0.07	0.64	0.00
26	23.6.26-23.7.2	70	44	8	12	5.26	6.93	1.84	0.25	1.80	2.30	0.00	0.73	0.00
27	23.7.3-23.7.9	70	44	8	12	9.13	11.50	1.75	0.18	2.14	2.50	0.16	0.93	0.00
28	23.7.10-23.7.16	70	44	8	12	5.64	17.04	2.09	0.18	2.14	2.34	0.18	1.50	0.00
29	23.7.17-23.7.23	70	44	8	12	4.23	22.94	1.93	0.14	1.48	1.75	0.09	1.32	0.00
30	23.7.24-23.7.30	70	44	8	12	4.80	30.29	2.05	0.25	1.64	2.25	0.05	1.70	0.00
31	23.7.31-23.8.6	70	44	8	12	2.41	28.46	2.48	0.39	1.09	1.45	0.02	1.34	0.00
32	23.8.7-23.8.13	69	44	8	12	2.26	19.99	1.93	0.73	1.05	1.66	0.02	0.98	0.00
33	23.8.14-23.8.20	70	44	8	12	1.44	18.23	0.93	0.66	0.89	1.16	0.11	0.66	0.00
34	23.8.21-23.8.27	70	44	8	12	2.23	19.79	0.98	0.57	1.55	1.18	0.11	1.18	0.02
35	23.8.28-23.9.3	70	44	8	12	3.91	17.97	1.18	1.07	1.82	1.95	0.14	1.68	0.00
36	23.9.4-23.9.10	70	44	8	12	8.80	18.24	0.91	1.73	2.23	1.84	0.02	1.52	0.00
37	23.9.11-23.9.17	70	44	8	12	8.00	14.61	1.09	1.66	2.25	1.34	0.16	2.16	0.00
38	23.9.18-23.9.24	70	44	8	12	8.27	12.29	0.61	1.36	1.73	1.45	0.05	2.32	0.00
39	23.9.25-23.10.1	70	44	8	12	10.23	9.46	0.34	2.02	2.30	2.02	0.11	2.39	0.00
40	23.10.2-23.10.8	70	44	8	12	8.09	4.73	0.34	1.98	2.09	1.82	0.05	1.23	0.05
41	23.10.9-23.10.15	70	44	8	12	8.69	3.30	0.18	2.02	1.70	1.32	0.09	1.70	0.00
42	23.10.16-23.10.22	70	44	8	12	13.09	2.44	0.23	2.59	3.41	1.61	0.07	1.70	0.00
43	23.10.23-23.10.29	70	44	8	12	19.27	1.99	0.23	2.89	3.77	2.14	0.07	1.80	0.00
44	23.10.30-23.11.5	70	44	8	12	16.99	1.36	0.09	3.41	3.20	2.50	0.05	1.27	0.00
45	23.11.6-23.11.12	70	44	8	12	18.03	1.03	0.07	4.05	2.82	3.18	0.09	2.02	0.00
46	23.11.13-23.11.19	70	44	8	12	28.23	1.64	0.11	3.70	3.23	3.93	0.02	1.68	0.02
47	23.11.20-23.11.26	70	44	8	12	43.67	1.39	0.11	3.68	2.48	3.45	0.14	1.09	0.02
48	23.11.27-23.12.3	70	44	8	12	34.90	1.67	0.05	5.00	3.48	4.18	0.05	0.64	0.00
49	23.12.4-23.12.10	70	44	8	12	38.57	2.77	0.02	4.45	3.73	4.14	0.11	0.68	0.00
50	23.12.11-23.12.17	70	44	8	12	30.67	3.07	0.02	4.07	3.95	4.93	0.11	0.73	0.00
51	23.12.18-23.12.24	70	44	8	12	24.63	2.77	0.05	4.14	3.23	4.30	0.09	0.55	0.00
52	23.12.25-23.12.31	70	44	8	12	26.36	4.83	0.00	3.75	2.80	3.52	0.02	0.55	0.00

		定点数				疾患名									
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性胃腸 炎（ロタウ イルス）
1	23.1.2-23.1.8	70	44	8	12	0.20	0.02	0.02	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	23.1.9-23.1.15	70	44	8	12	0.25	0.05	0.00	0.13	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	23.1.16-23.1.22	70	44	8	12	0.30	0.09	0.14	0.25	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	23.1.23-23.1.29	70	44	8	12	0.11	0.11	0.05	0.13	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	23.1.30-23.2.5	70	44	8	12	0.20	0.11	0.09	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	23.2.6-23.2.12	70	44	8	12	0.23	0.16	0.02	0.00	0.13	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
7	23.2.13-23.2.19	70	44	8	12	0.30	0.16	0.02	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	23.2.20-23.2.26	70	44	8	12	0.23	0.07	0.02	0.13	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	23.2.27-23.3.5	70	44	8	12	0.23	0.00	0.11	0.38	0.13	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
10	23.3.6-23.3.12	70	44	8	12	0.20	0.16	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	23.3.13-23.3.19	70	44	8	12	0.32	0.14	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	23.3.20-23.3.26	70	44	8	12	0.18	0.18	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00
13	23.3.27-23.4.2	70	44	8	12	0.20	0.84	0.00	0.00	0.38	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
14	23.4.3-23.4.9	70	44	8	12	0.34	1.05	0.00	0.13	0.38	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
15	23.4.10-23.4.16	70	44	8	12	0.36	2.00	0.02	0.13	0.63	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
16	23.4.17-23.4.23	70	44	8	12	0.45	3.32	0.02	0.00	0.13	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
17	23.4.24-23.4.30	70	44	8	12	0.34	3.32	0.09	0.00	0.13	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
18	23.5.1-23.5.7	70	44	8	12	0.34	2.14	0.02	0.00	0.25	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
19	23.5.8-23.5.14	70	44	8	12	0.36	1.48	0.07	0.00	0.50	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00
20	23.5.15-23.5.21	70	44	8	12	0.20	2.55	0.00	0.00	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21	23.5.22-23.5.28	70	44	8	12	0.41	4.64	0.18	0.00	0.38	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
22	23.5.29-23.6.4	70	44	8	12	0.50	3.48	0.02	0.00	0.38	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
23	23.6.5-23.6.11	70	44	8	12	0.48	3.82	0.02	0.13	0.75	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
24	23.6.12-23.6.18	70	44	8	12	0.32	3.07	0.05	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
25	23.6.19-23.6.25	70	44	8	12	0.20	2.73	0.02	0.00	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
26	23.6.26-23.7.2	70	44	8	12	0.34	2.52	0.11	0.13	0.25	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00
27	23.7.3-23.7.9	70	44	8	12	0.20	2.89	0.02	0.13	0.25	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
28	23.7.10-23.7.16	70	44	8	12	0.43	3.30	0.05	0.00	0.50	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
29	23.7.17-23.7.23	70	44	8	12	0.27	2.34	0.02	0.13	0.25	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
30	23.7.24-23.7.30	70	44	8	12	0.25	1.89	0.05	0.00	0.13	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
31	23.7.31-23.8.6	70	44	8	12	0.20	1.70	0.05	0.13	0.13	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
32	23.8.7-23.8.13	69	44	8	12	0.34	0.77	0.02	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
33	23.8.14-23.8.20	70	44	8	12	0.18	0.57	0.00	0.00	0.38	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
34	23.8.21-23.8.27	70	44	8	12	0.41	1.09	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
35	23.8.28-23.9.3	70	44	8	12	0.16	1.23	0.07	0.25	0.88	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00
36	23.9.4-23.9.10	70	44	8	12	0.34	0.64	0.02	0.13	0.75	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
37	23.9.11-23.9.17	70	44	8	12	0.39	0.70	0.05	0.38	0.75	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00
38	23.9.18-23.9.24	70	44	8	12	0.25	0.68	0.00	0.13	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
39	23.9.25-23.10.1	70	44	8	12	0.30	0.57	0.05	0.00	0.50	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00
40	23.10.2-23.10.8	70	44	8	12	0.39	0.59	0.07	0.13	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
41	23.10.9-23.10.15	70	44	8	12	0.32	0.32	0.00	0.13	0.50	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
42	23.10.16-23.10.22	70	44	8	12	0.30	0.32	0.05	0.13	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
43	23.10.23-23.10.29	70	44	8	12	0.30	0.45	0.02	0.25	0.50	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
44	23.10.30-23.11.5	70	44	8	12	0.27	0.25	0.00	0.13	0.75	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00
45	23.11.6-23.11.12	70	44	8	12	0.32	0.23	0.00	0.00	0.63	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
46	23.11.13-23.11.19	70	44	8	12	0.25	0.11	0.02	0.00	1.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
47	23.11.20-23.11.26	70	44	8	12	0.32	0.00	0.02	0.25	1.13	0.00	0.08	0.17	0.00	0.00
48	23.11.27-23.12.3	70	44	8	12	0.30	0.02	0.00	0.00	1.25	0.00	0.08	0.25	0.00	0.00
49	23.12.4-23.12.10	70	44	8	12	0.39	0.05	0.00	0.38	1.63	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00
50	23.12.11-23.12.17	70	44	8	12	0.25	0.05	0.05	0.13	1.50	0.00	0.17	0.00	0.00	0.08
51	23.12.18-23.12.24	70	44	8	12	0.20	0.07	0.00	0.13	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
52	23.12.25-23.12.31	70	44	8	12	0.16	0.05	0.02	0.00	0.75	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00

感染症月報推移表 患者報告数 長崎県 (2023 年)

月	S T D 定 点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 器 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス 感 染 症	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症
1 月	10	20	6	-	13
2 月	10	23	8	1	8
3 月	10	29	7	-	6
4 月	10	27	5	1	10
5 月	10	21	7	1	4
6 月	10	19	8	3	7
7 月	10	30	6	2	7
8 月	10	23	4	2	8
9 月	10	16	9	-	5
10 月	10	20	4	1	7
11 月	10	16	4	1	4
12 月	10	18	6	-	5
合 計		262	74	12	84

月	基 幹 定 点 数	黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症 メ シ チ リ ン 耐 性	肺 炎 球 菌 感 染 症 ペ ニ シ リ ン 耐 性	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症
1 月	12	64	3	-
2 月	12	41	4	-
3 月	12	46	4	-
4 月	12	47	3	-
5 月	12	49	5	1
6 月	12	59	-	-
7 月	12	41	5	-
8 月	12	57	2	1
9 月	12	50	3	1
10 月	12	58	3	-
11 月	12	50	4	-
12 月	12	52	5	-
合 計		614	41	3

感染症月報推移表 定点あたり患者報告数 長崎県 (2023 年)

月	S T D 定 点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 器 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス 感 染 症	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症
1 月	10	2.00	0.60	-	1.30
2 月	10	2.30	0.80	0.10	0.80
3 月	10	2.90	0.70	-	0.60
4 月	10	2.70	0.50	0.10	1.00
5 月	10	2.10	0.70	0.10	0.40
6 月	10	1.90	0.80	0.30	0.70
7 月	10	3.00	0.60	0.20	0.70
8 月	10	2.30	0.40	0.20	0.80
9 月	10	1.60	0.90	-	0.50
10 月	10	2.00	0.40	0.10	0.70
11 月	10	1.60	0.40	0.10	0.40
12 月	10	1.80	0.60	-	0.50

月	基 幹 定 点 数	黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症 メ シ チ リ ン 耐 性	肺 炎 球 菌 感 染 症 ペ ニ シ リ ン 耐 性	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症
1 月	12	5.33	0.25	-
2 月	12	3.42	0.33	-
3 月	12	3.83	0.33	-
4 月	12	3.92	0.25	-
5 月	12	4.08	0.42	0.08
6 月	12	4.92	-	-
7 月	12	3.42	0.42	-
8 月	12	4.75	0.17	0.08
9 月	12	4.17	0.25	0.08
10 月	12	4.83	0.25	-
11 月	12	4.17	0.33	-
12 月	12	4.33	0.42	-